

AD-5626

BLE 防水デジタル温度計

取扱説明書

ご注意

- (1)この取扱説明書は、株式会社エー・アンド・デイの書面による許可なく、複製・改変・翻訳を行うことはできません。本書の内容の一部、または全部の無断転載は禁止されています。
- (2)この取扱説明書の記載事項および製品の仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- (3)本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4)運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

©2021 株式会社エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

目次

| | | |
|------|-------------------------------|----|
| 1. | はじめに | 6 |
| 2. | 使用許諾契約 | 7 |
| 3. | 安全にお使いいただくために | 8 |
| 4. | 取り扱い上の注意 | 9 |
| 5. | 本製品の概要 | 11 |
| 5-1. | ログモード(初期設定) | 11 |
| 5-2. | ワイヤレス通信モード | 11 |
| 5-3. | 記録なしモード | 11 |
| 6. | 各部の名称 | 12 |
| 6-1. | 正面／裏面 | 12 |
| 6-2. | 表示部 | 13 |
| 7. | 電池について | 14 |
| 8. | ご使用方法 | 16 |
| 8-1. | 温度の測定方法 | 16 |
| 8-2. | シースホルダの使い方 | 18 |
| 9. | ご使用方法(初めてお使いになる方へ) | 19 |
| 9-1. | 専用アプリ「Probe Log」のインストール | 19 |
| 9-2. | 端末の設定 | 19 |
| 9-3. | 電源オン | 19 |
| 9-4. | アプリの起動 | 20 |
| 9-5. | アプリでの設定 | 20 |
| 9-6. | AD-5626 の設定 | 21 |
| 9-7. | モードの設定 | 23 |
| 9-8. | インターバル間隔の設定 | 25 |

| | | |
|---------|---------------------------------|----|
| 9-9. | データログの開始..... | 31 |
| 9-10. | データログの終了..... | 31 |
| 9-11. | 記録したデータの送信..... | 32 |
| 9-12. | データ消去..... | 35 |
| 10. | 機能..... | 39 |
| 10-1. | オートパワーオフ機能..... | 39 |
| 10-2. | Hi/Lo アラーム機能..... | 40 |
| 10-3. | データ記録機能..... | 41 |
| 10-4. | 最高値／最低値表示機能..... | 41 |
| 10-5. | 機器番号(ID 番号)の機能..... | 42 |
| 10-6. | 機器名称の機能..... | 42 |
| 10-7. | パスワードの設定..... | 43 |
| 11. | 内部設定..... | 45 |
| 11-1. | データ記録モードの設定..... | 46 |
| 11-2. | ログモードの設定..... | 47 |
| 11-3. | ワイヤレス通信モードの設定..... | 48 |
| 11-4. | モード共通設定..... | 49 |
| 11-5. | 内部設定一覧..... | 51 |
| 11-5-1. | ログモード..... | 51 |
| 11-5-2. | ワイヤレス通信モード..... | 52 |
| 11-5-3. | 記録なしモード..... | 53 |
| 11-5-4. | 共通設定..... | 53 |
| 12. | データ通信について..... | 57 |
| 12-1. | <i>Bluetooth</i> ®..... | 57 |
| 12-2. | <i>Bluetooth</i> ®通信..... | 57 |
| 12-3. | 本製品の <i>Bluetooth</i> ®の通信..... | 58 |
| 13. | ワイヤレス通信モードの使用方法..... | 59 |
| 13-1. | 出力データのフォーマット..... | 59 |

| | | |
|---------|--------------------------------------|-----|
| 13-2. | Windows 10 の設定 | 61 |
| 13-3. | iOS の設定 | 67 |
| 13-4. | Android の設定 | 73 |
| 13-5. | Mac OS の設定 | 79 |
| 13-6. | ワイヤレス通信でデータ記録する | 83 |
| 14. | 専用アプリ Probe Log について | 84 |
| 14-1. | アプリの対応 OS | 84 |
| 14-2. | アプリのインストール | 84 |
| 14-3. | 端末の設定 | 84 |
| 14-4. | アプリの起動 | 85 |
| 14-5. | 操作メニュー | 92 |
| 14-5-1. | データロガーの設定 | 94 |
| a. | 機器番号 | 97 |
| b. | 機器名称 | 98 |
| c. | パスワード | 99 |
| d. | モード | 101 |
| d-1. | データログ | 102 |
| d-2. | 何もしない | 103 |
| e. | タイマー時間 | 104 |
| f. | インターバル時間 | 106 |
| g. | HI/LO アラーム | 108 |
| 14-5-2. | データの出力 | 112 |
| 14-5-3. | データ消去 | 115 |
| 14-5-4. | 情報 | 118 |
| 14-5-5. | 言語切り替え | 119 |
| 15. | 便利な使用方法 | 120 |
| 15-1. | DATA ボタンを押すごとにデータを記録したい | 120 |
| 15-2. | 一定間隔でデータを記録したい | 121 |
| 15-3. | 一定期間、一定間隔でデータを記録したい | 122 |

| | |
|---|-----|
| 15-4. Hi/Lo アラームを使用したい | 123 |
| 15-5. Hi/Lo アラームを使用して、一定期間、一定間隔でデータを記録したい | 123 |
| 15-6. Hi/Lo アラーム発生時に自動的にデータ記録を開始したい | 125 |
| 15-7. Hi/Lo アラーム発生時に自動的にデータ記録を開始し、アラーム発生 の積算時間を記録したい | 126 |
| 16. 本製品のお手入れ | 127 |
| 17. エラー表示 | 127 |
| 18. こんなときには | 128 |
| 19. 仕様 | 130 |

1. はじめに

このたびは、AD-5626 BLE 防水デジタル温度計をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品をより効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

注意

- ・ (株) エー・アンド・デイは、本製品の欠陥により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にデータの損失の責任を一切負いません。

2. 使用許諾契約

- ・「Probe Log」を弊社に無断で複製する事は禁じます。
- ・「Probe Log」は予告なく仕様を変更することがあります。
- ・「Probe Log」の著作権は、(株)エー・アンド・デイに有ります。
- ・「Probe Log」はエー・アンド・デイ製、BLE 防水デジタル温度計(AD-5626)からスマートフォン端末へのデータ転送に使用します。
- ・「Probe Log」は、BLE 防水デジタル温度計(AD-5626)と接続するスマートフォン端末に限りインストールして使用できます。
- ・(株) エー・アンド・デイは、「Probe Log」またはこの「BLE 防水デジタル温度計 取扱説明書」の欠陥により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にデータの損失の責任を一切負いません。

Apple、Apple ロゴ、iPhone、iPad、iPod Touch は、米国およびその他の国における Apple Inc.の登録商標または商標です。

Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴは Google LLC の商標または登録商標です。

Microsoft Windows および Excel は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の 登録商標または商標です。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、(株) エー・アンド・デイはこれらのマークをライセンスに基づき使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

2021年4月

(株)エー・アンド・デイ

3. 安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他の人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次のようなマークを表示しています。マークの意味は次の通りです。

| | |
|------|---|
| ⚠ 警告 | この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。 |
| ⚠ 注意 | この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。 |

この機器を操作するときは、下記の点にご注意ください。

⚠ 注意

・修理

ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。保証の対象外になるばかりか機器を損傷および機能を消失する恐れがあります。

・機器の異常

機器の異常が認められた場合には、速やかに使用をやめ、「故障」中であることを示す貼紙を機器に付けるか、あるいは誤って使用されることのない場所に移動してください。そのまま使用を続けることは大変危険です。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問い合わせください。

4. 取り扱い上の注意

- 高温(50℃以上)または低温(0℃以下)の温度を測定した後、プローブはすぐには安全な温度にはならないので、常温に戻るまでは、手等に触れないように取り扱ってください。火傷や凍傷の恐れがあります。
- プローブのシース部(金属部分)は、+260℃までの使用に耐えますが、表示部(プラスチック部)の耐熱は 60℃です。高温を測定する場合には、表示部を高温にさらさないでください。変形や破損する場合があります。
- 本製品は手で持って測定してください。固定したり刺したままご使用にならないでください。
- シースの先端は尖っており、人や物に刺さる危険があります。持ち運ぶ時や保管する時には、シースホルダに入れてください。
- 強い衝撃や振動、電氣的ショックを与えないでください。故障の原因になります。
- 長時間直射日光を受ける場所や、密閉された車内、ストーブなどの暖房器具の近くではご使用にならないでください。本製品の動作温度範囲は 0～40℃です。この温度範囲を超えて使用した場合は故障の原因になります。
- 急激な温度変化のある所、高温、多湿やホコリの多い所での使用は避けてください。
- 本製品は防水構造になっておりますが、長時間水に濡れるような場所や水中に設置をしないでください。
- 本製品の防水性能は JIS C 0920 の保護等級 7 級に相当し、常温で水深 1m の静水において 30 分間防水性能を保持します。
- 電池容量の少ない電池を入れたときや使用中に電池容量が少なくなってくると、ボタンを押しても、動作しなかったり、正常な表示ができないなどの現象が出る場合があります。このような場合、「[7. 電池の交換方法](#)」の手順で電池を交換してください。
- 強い磁場や電界のある場所(テレビや IH 調理器具、電子レンジなど)では、機器に影響を与える恐れがあります。そのような場

所でのご使用は避けてください。

- ・危険防止のため、引火性のガスがある場所でのご使用は避けてください。

無線機能

⚠ 警告

- ・使用を禁止された区域では、使用しないでください。電子機器や医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。
- ・植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器を使用している人がいる所では、使用しないでください。使用する場合には、電波の影響について個別に医用電子機器メーカーなどにご確認ください。

⚠ 注意

- ・本製品には、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。そのため、本設備の無線機能を使用するとき無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内でのみ使用できます。
- ・本設備は工事設計認証を取得していますので、本設備を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- ・2.4GHz 付近の電波を通信している無線装置などの近くで本設備を使用した通信をすると、双方の処理速度が落ちる場合があります。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところでは使用しないでください。（環境により電波が届かない場合があります。）

5. 本製品の概要

AD-5626 には温度データの記録機能、タイマー機能、Hi/Lo アラーム機能、最高値／最低値表示機能、オートパワーオフ機能があります。

温度データの記録機能には次の 3 つの記録モードがあります。

5-1. ログモード(初期設定)

AD-5626 の本体内部のメモリーに測定値を記録して、スマートフォン端末の専用アプリ「Probe Log」(以降 専用アプリ「Probe Log」)によって、データを取り出すことができます。データを消去(「[14-5-3.データ消去](#)」を参照)するまでは設定を変更しても追加で記録が可能です。

電池の交換を行っても、本体内部のメモリーのデータは消えません。

5-2. ワイヤレス通信モード

ワイヤレス通信で繋がったパソコンやスマートフォンに直接データを送信します。

AD-5626 はキーボードとして認識され、Microsoft Excel のアプリケーションのカーソル位置に直接温度測定データの入力を行うことができます。

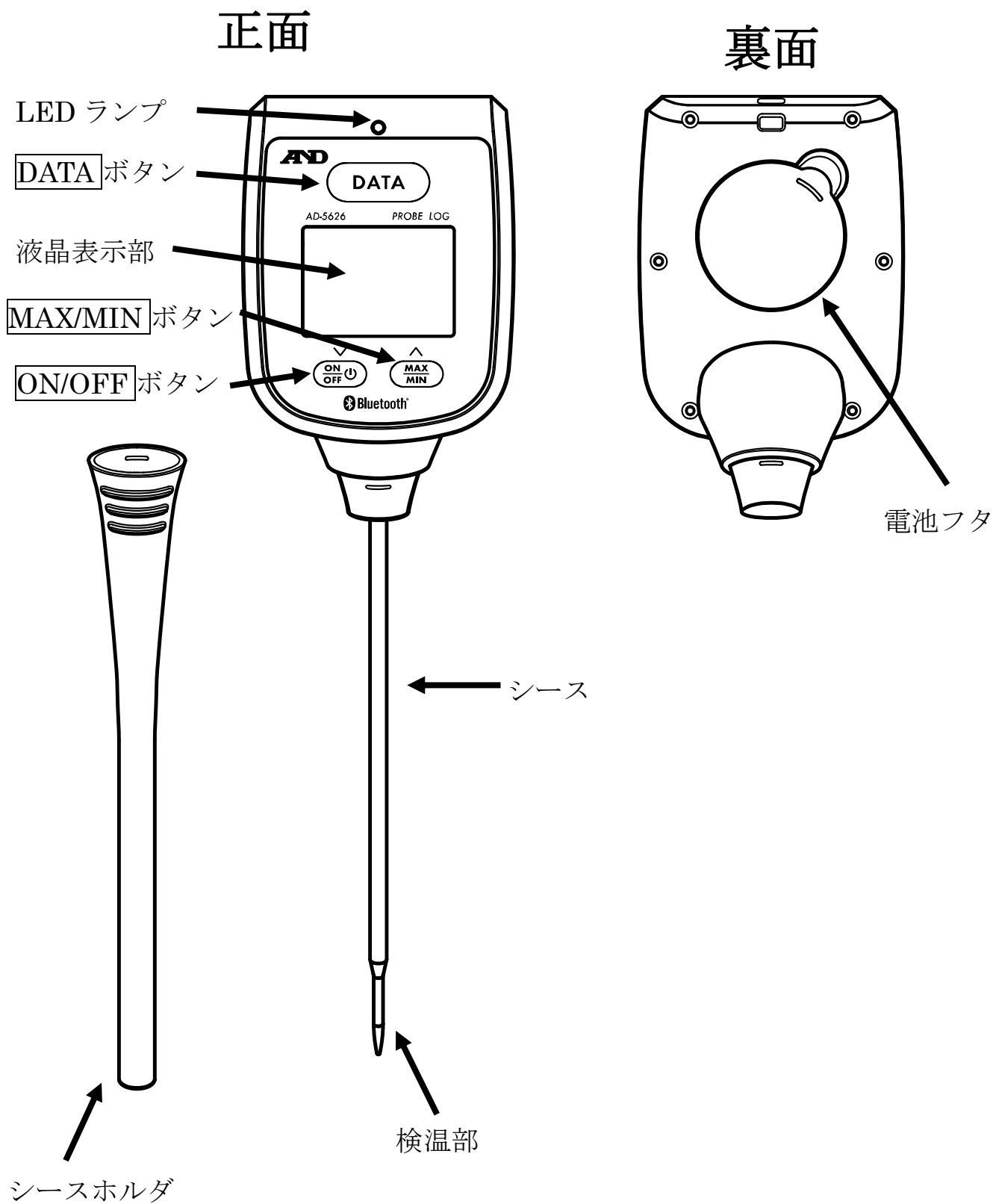
5-3. 記録なしモード

データの記録は行いません。

専用アプリ「Probe Log」又は AD-5626 の操作で各種機能などの設定を行うことができます。

6. 各部の名称

6-1. 正面／裏面




6-2. 表示部



| 表示マーク | 説明 |
|---------------------|----------------------------|
| LED ランプ | データ記録時、通信時、アラーム時に点滅 |
| REC | データ記録中に点滅 |
| S (SEND) | 送信モード時に点灯 |
| L (Log) | ログモード時に点灯 |
| T (Timer) | タイマーカウント設定時に点灯 |
| I (Interval) | インターバル時間設定時に点灯 |
| H (Alarm H) | 高温アラーム機能を使用時に点灯、高温アラーム時に点滅 |
| L (Alarm L) | 低温アラーム機能を使用時に点灯、低温アラーム時に点滅 |
| AH (Auto H) | 高温アラーム自動記録機能使用時に点灯 |
| AL (Auto L) | 低温アラーム自動記録機能使用時に点灯 |
| PH (Pause H) | 高温アラーム一時停止機能使用時に点灯 |
| PL (Pause L) | 低温アラーム一時停止機能使用時に点灯 |
| AUTO | オートパワーオフ機能が動作時に点灯 |
| MAX | 最高値表示時に点灯 |
| MIN | 最低値表示時に点灯 |
| | 電池電圧低下時に点灯 |
| °C | 温度測定値の表示時に点灯 |
| | 通信機器と接続された時に点灯 |

7. 電池について

ご購入時、本体に電池は入っていません。以下の手順で電池を正しく入れてください。

また表示の右下に「」が表示された場合は、以下の手順で電池を交換してください。

※電池は、お近くのホームセンター、電器店でお求めになれます。

※本体が濡れている場合は、水気を十分拭き取ってから電池を交換してください。本体内部に水が入ると故障の原因になります。

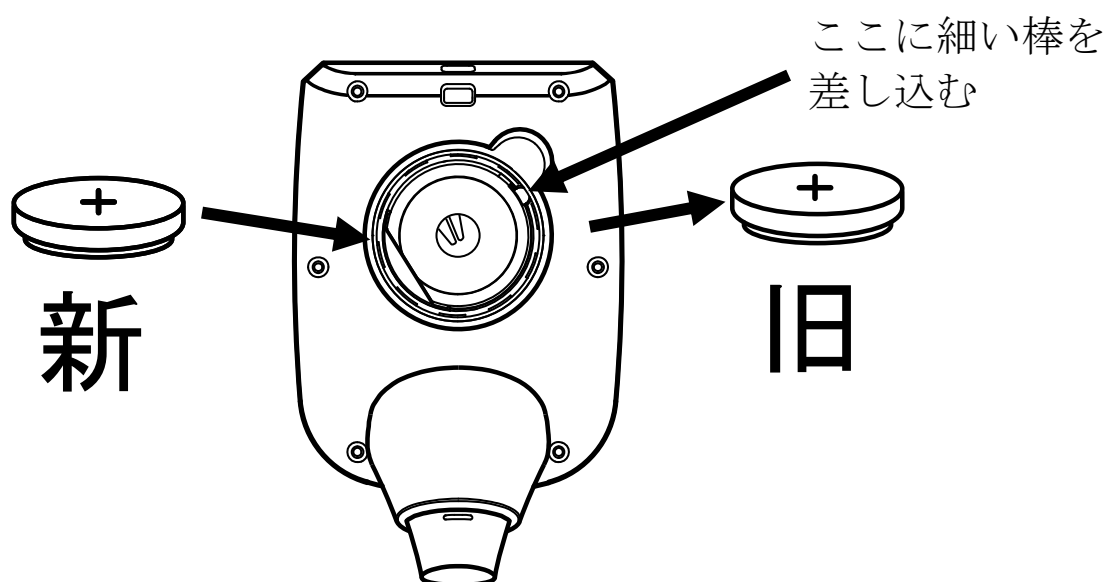
※電池の交換を行うと、内部設定および年月日が初期化されます。

「[11.内部設定](#)」または、「[14.専用アプリ Probe Log について](#)」を参照して再設定を行ってください。

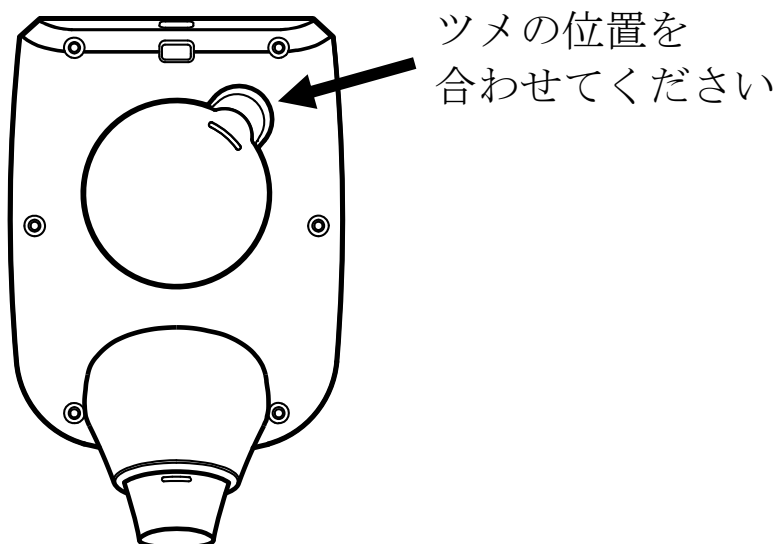
※ログモードで本体内部のメモリーに記録したデータは、電池を交換してもデータは保持されます。

電池の交換方法

- ① 本体裏面の電池フタを取り外します。
- ② 古い電池を取り出します。
- ③ 新しい CR2450 コイン型電池を+側を上にして入れます。



- ④ 電池フタを元に戻します。このとき、下図のように、電池フタの爪の部分に合わせて、中のパッキンがはみ出ていないことを確認してください。電池フタがきちんと取り付けられていないと、内部に水が入り故障の原因になります。



電池使用上の注意

- ・ 付属の電池はモニタ用ですので、電池寿命が短い場合があります。
- ・ 本製品を長時間ご使用にならない場合は、電池を取り外して保管してください。
- ・ 電池は必ず指定のもの（CR2450 コイン型電池 1個）をご使用ください。
- ・ 電池は極性を間違えないようにセットしてください。電池を逆に入れると正常に動作しないばかりか、故障の原因になります。
- ・ 破裂や液漏れの恐れがありますので、充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。
- ・ 電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一誤って飲み込んでしまった場合には、直ちに医師の指示を受けてください。
- ・ 環境保全のため、使用済み電池は、市町村の条例に基づいて処理するようお願いします。



8. ご使用方法

本製品は、必ず手に持ってご使用ください。固定してお使いにならないでください。

測定時は、シースホルダを外してからお使いください。

測定値を記録する場合は、先に「[11.内部設定](#)」を参照して、AD-5626 の内部設定を行ってください。

8-1. 温度の測定方法

- ①  ボタンを押して、電源を入れます。
オートパワーオフ機能を使用する場合、 ボタンを押して、電源を入れます。
- ② シースにシースホルダが付けられている場合、シースホルダを外します。
- ③ 測定するものに合わせて、次のように測定します。

液体の場合

センサ部を測定したい所に浸します。湯気などがある場合は、表示部に湯気が掛からないようにしてください。湯気により破損する場合があります。



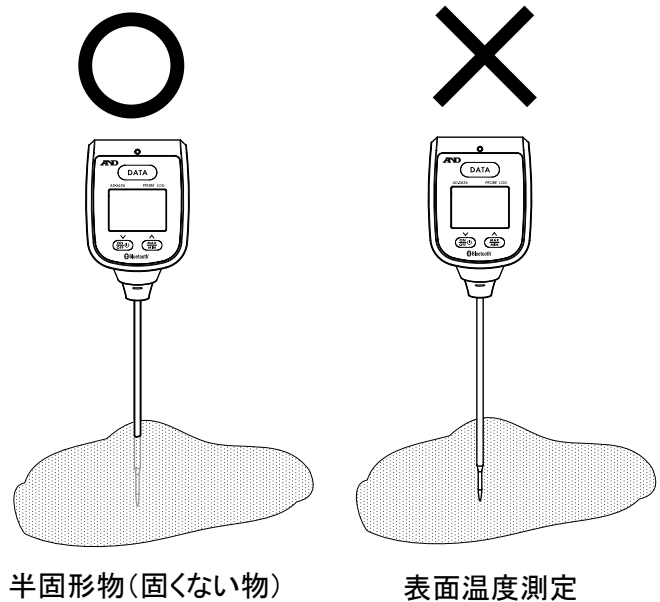
湯気(水蒸気)が出ていない液体



湯気(水蒸気)の出ている液体

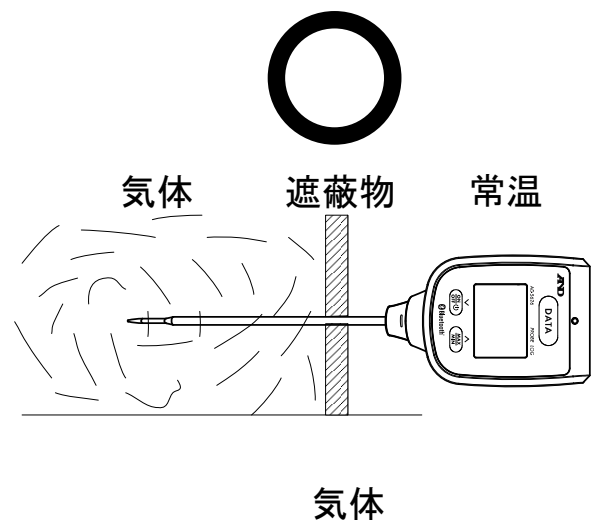
半固形物の場合

センサ部を測定したい深さまで突き刺します。測定物が固い場合、無理に刺そうとすると、シースが破損しますので、センサが内部に入るような工夫が必要です。



気体の場合

センサ部を測定したい所に置き、表示が安定するまでしばらく待ちます。湯気などの高温雰囲気の場合には、表示部を高温から守るため、遮蔽物などをご使用ください。

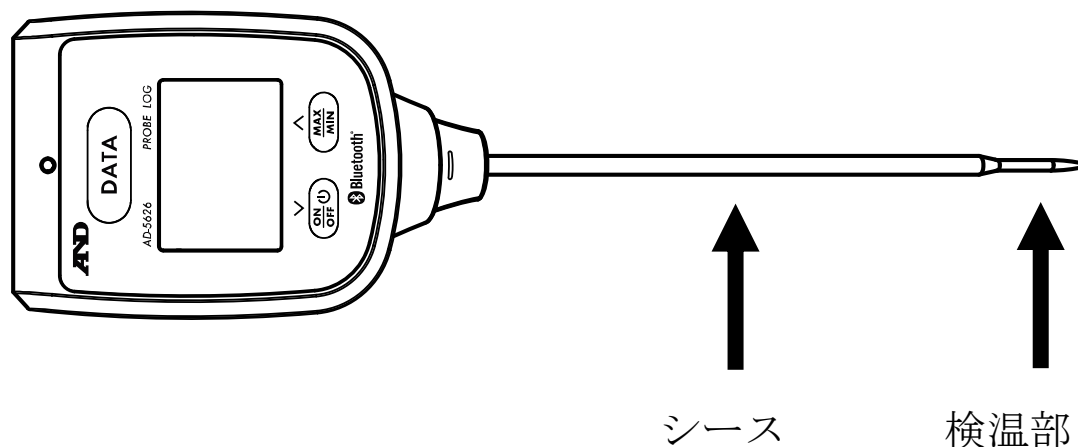


④ 測定が終了したら、電源をオフします。

⚠ 注意

温度を検知する部分は、シース部の先端です。破損防止のため、シース部以外の部分を測定対象の高温や低温にさらさないように注意してください。

260°C付近の温度を測定する場合、シースを通して本体に熱が伝わると正しく測定できないことがありますので、長時間の測定や連続測定を行う時は注意してください。

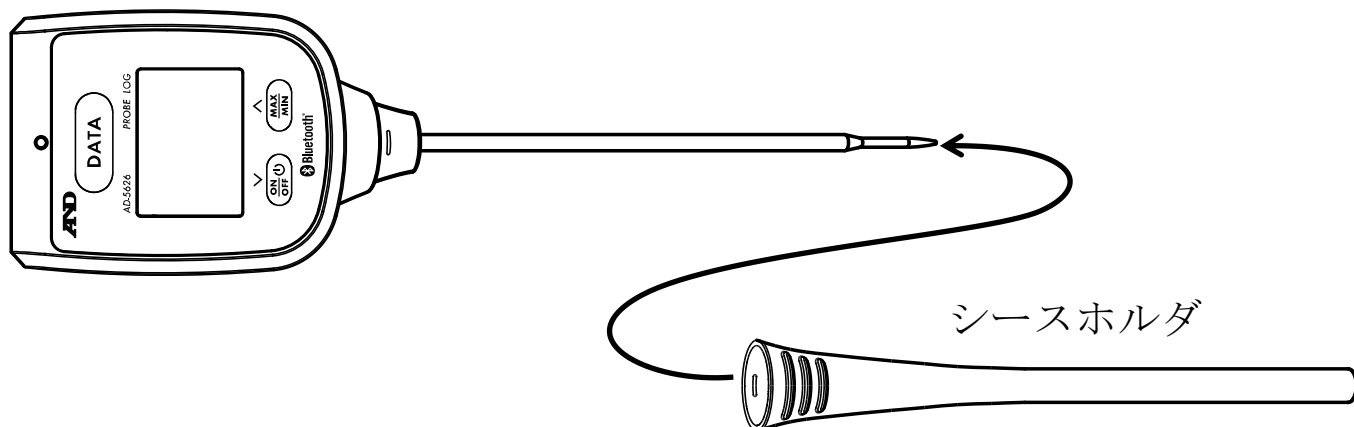


8-2. シースホルダの使い方

シースホルダは、AD-5626 を持ち運ぶときなどにシースを入れてお使いください。

測定する際には、必ずシースホルダを外してください。

高温や低温を測定後は、シースホルダの変形や破損の恐れがあるため、シースの温度が常温に戻ってからシースホルダに入れてください。



9. ご使用方法(初めてお使いになる方へ)

ここでは、AD-5626 の基本的な使い方を説明します。初めて使用される方はこちらをご覧ください。

高度な機能につきましては、本取扱説明書の「[10.機能](#)」及び「[11. 内部設定](#)」、「[14-5. 操作メニュー](#)」、「[15. 便利な使用方法](#)」をご参照ください。

9-1. 専用アプリ「Probe Log」のインストール

お使いになる端末(iPhone、iPad、iPod Touch、Android)で、App Store 又は Google Play から「Probe Log」を検索し、端末にアプリをインストールしてください。(製品情報ページからもダウンロードできます。)



AD-5626 製品情報ページ

9-2. 端末の設定

アプリを起動する前に、端末の Bluetooth 機能を ON にしてください。

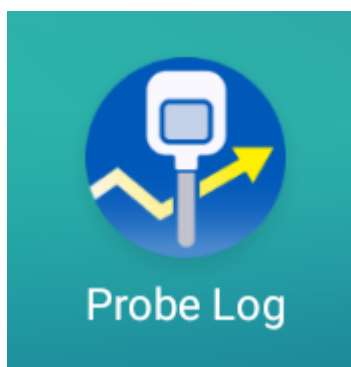
設定方法は、端末の取扱説明書をご参照ください。

9-3. 電源オン

AD-5626 の **ON/OFF** ボタンを押して、AD-5626 を電源オンします。

9-4. アプリの起動

「Probe Log」のアイコンをタップして、アプリを起動させてください。



9-5. アプリでの設定

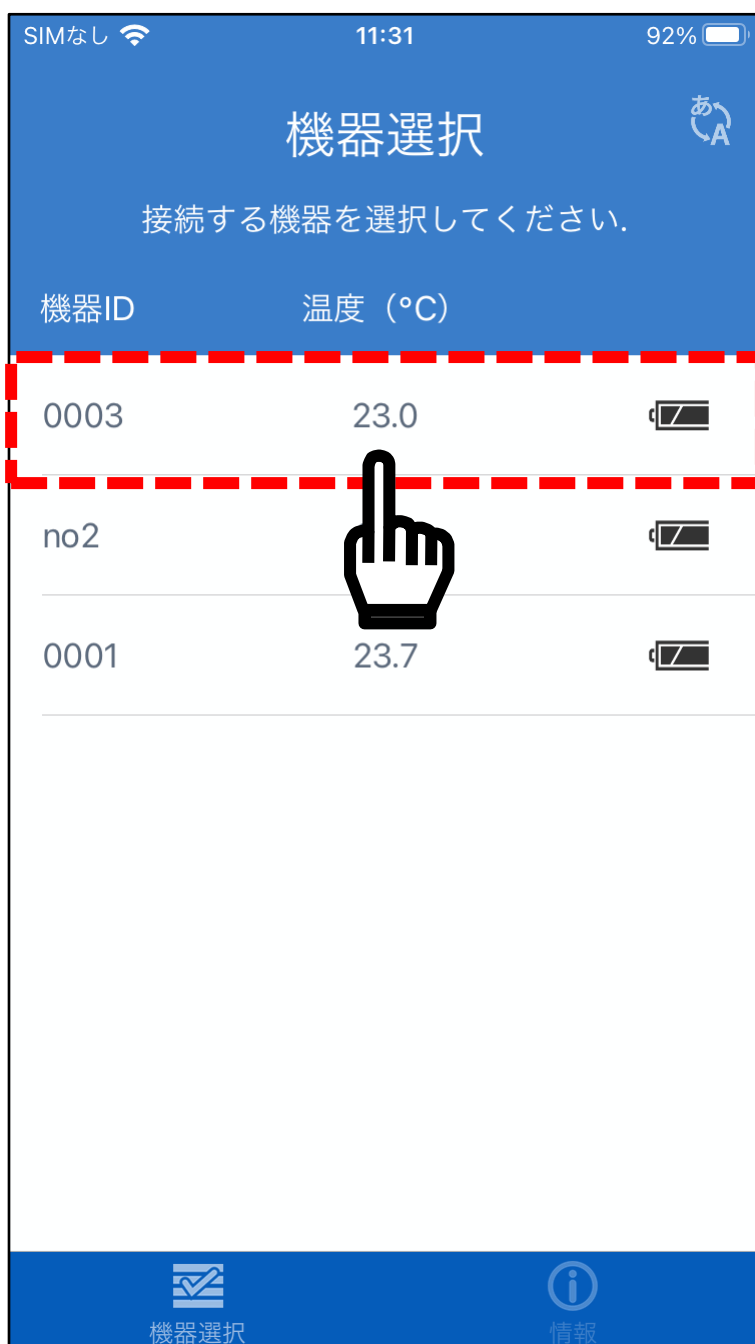
アプリを起動すると約 15 秒間 AD-5626 を検索します。近くに電源の入った AD-5626 があれば、その機器 ID と測定値が表示されます。



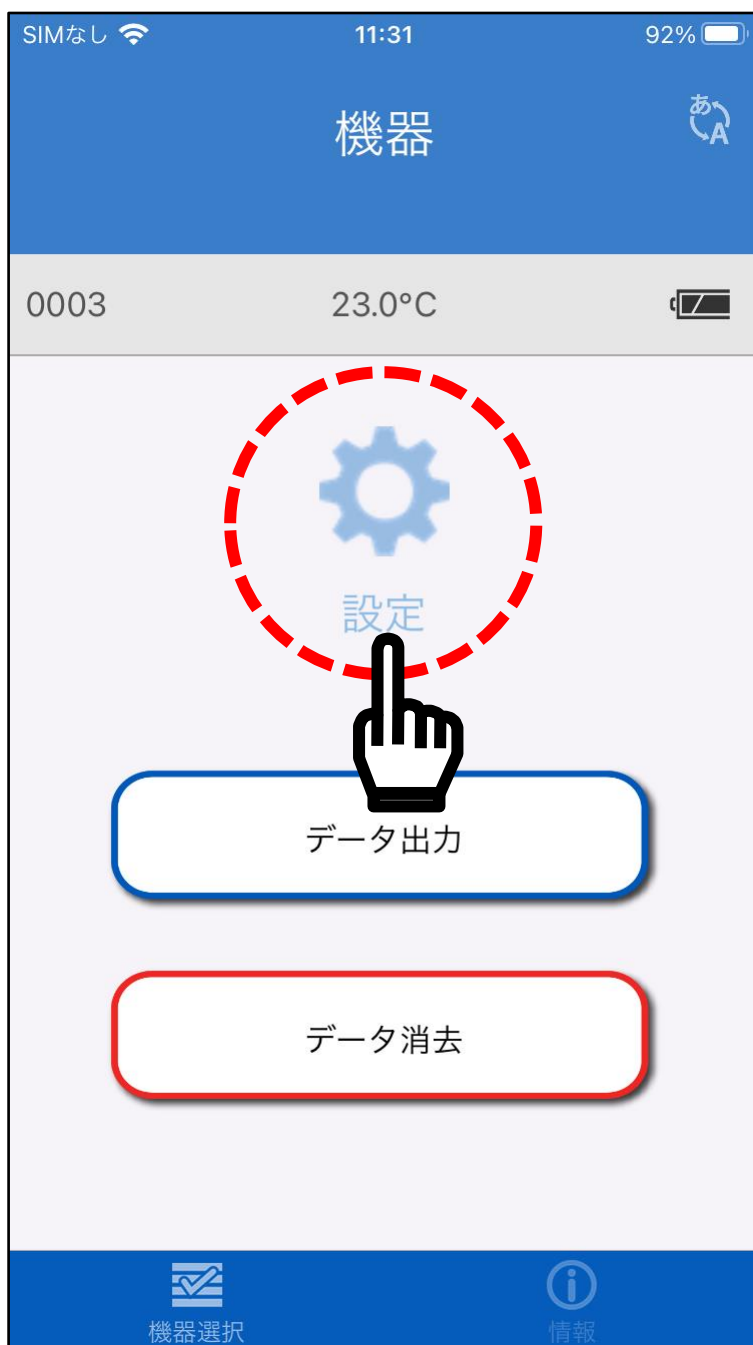
| 機器ID | 温度 (°C) | |
|------|---------|---|
| 0003 | 23.0 |  |
| no2 | 14.9 |  |
| 0001 | 23.7 |  |

9-6. AD-5626 の設定

機器 ID が表示されたエリアをタップすると、その機器のメニューが表示されます。



機器メニュー「設定」をタップすると、設定メニューが表示されます。

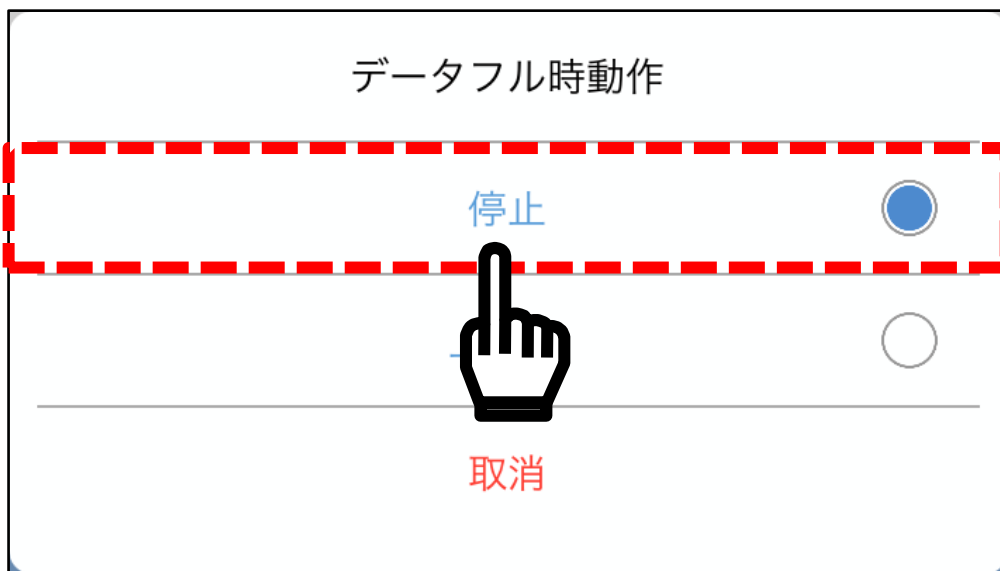
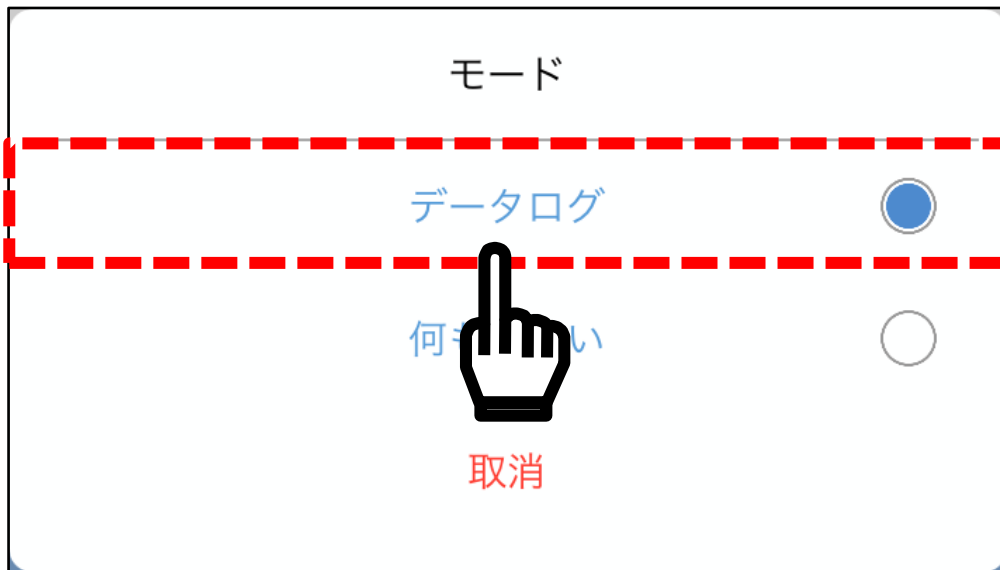


9-7. モードの設定

「モード」の部分をクリックします。





選択画面が表示されますので、「データログ」をタップし、「停止」をタップしてください。



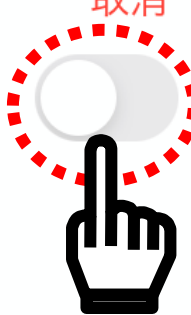
9-8. インターバル間隔の設定

「インターバル時間」の部分をクリックします。



インターバル時間の入力画面が表示されます。「取消」ボタンの下にある「」マークをタップして「」にしてください。

完了 インターバル時間 取消



| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 0 | M | 0 | 0 | S |
| 1 | 1 | | 1 | 1 | |
| 2 | 2 | | 2 | 2 | |
| 3 | 3 | | 3 | 3 | |
| 4 | 4 | | 4 | 4 | |

完了 インターバル時間 取消



| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 0 | M | 0 | 0 | S |
| 1 | 1 | | 1 | 1 | |
| 2 | 2 | | 2 | 2 | |
| 3 | 3 | | 3 | 3 | |
| 4 | 4 | | 4 | 4 | |

今回はインターバル時間を「10秒」に設定します。



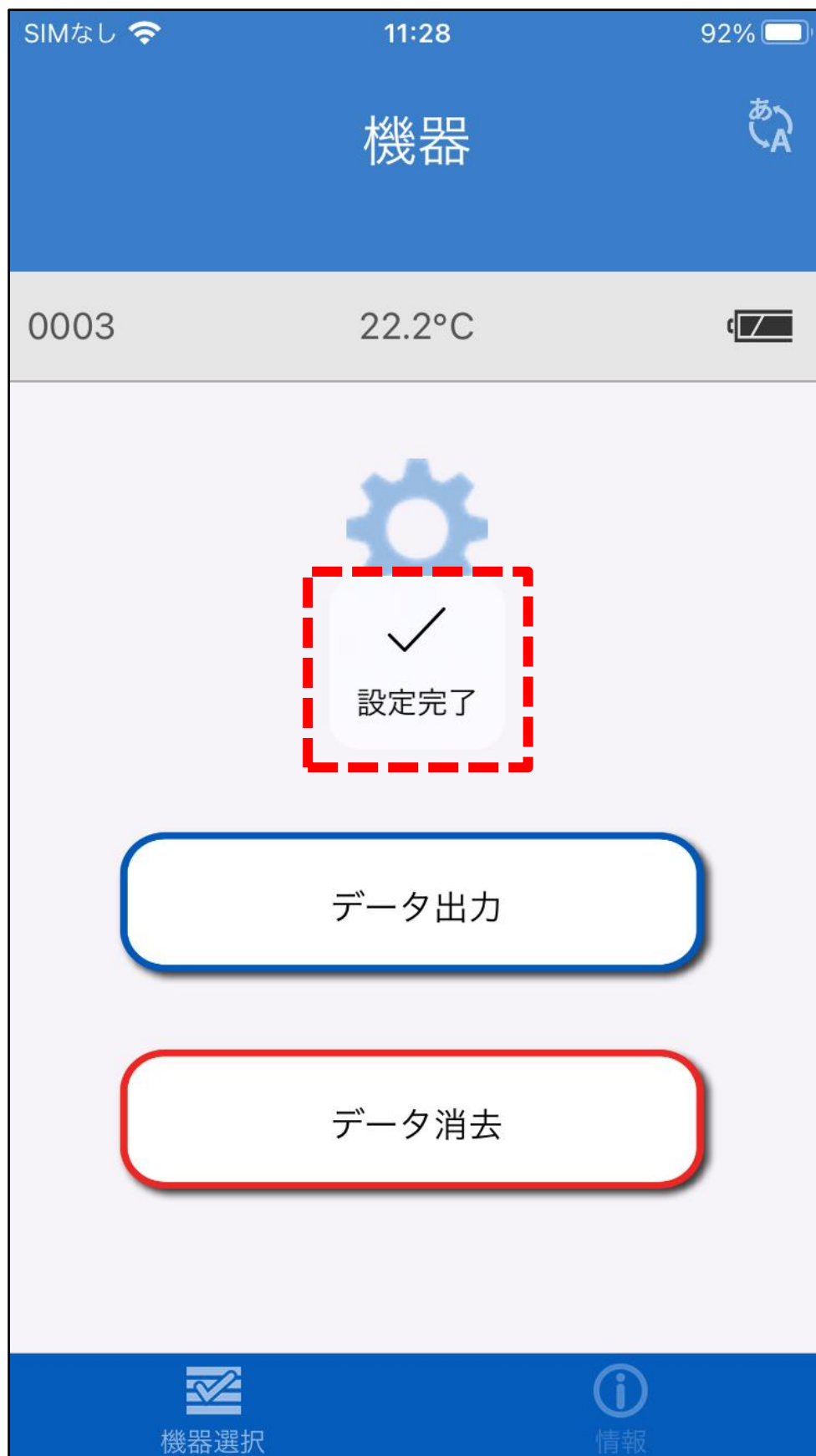
設定したら左上の完了をタップします。



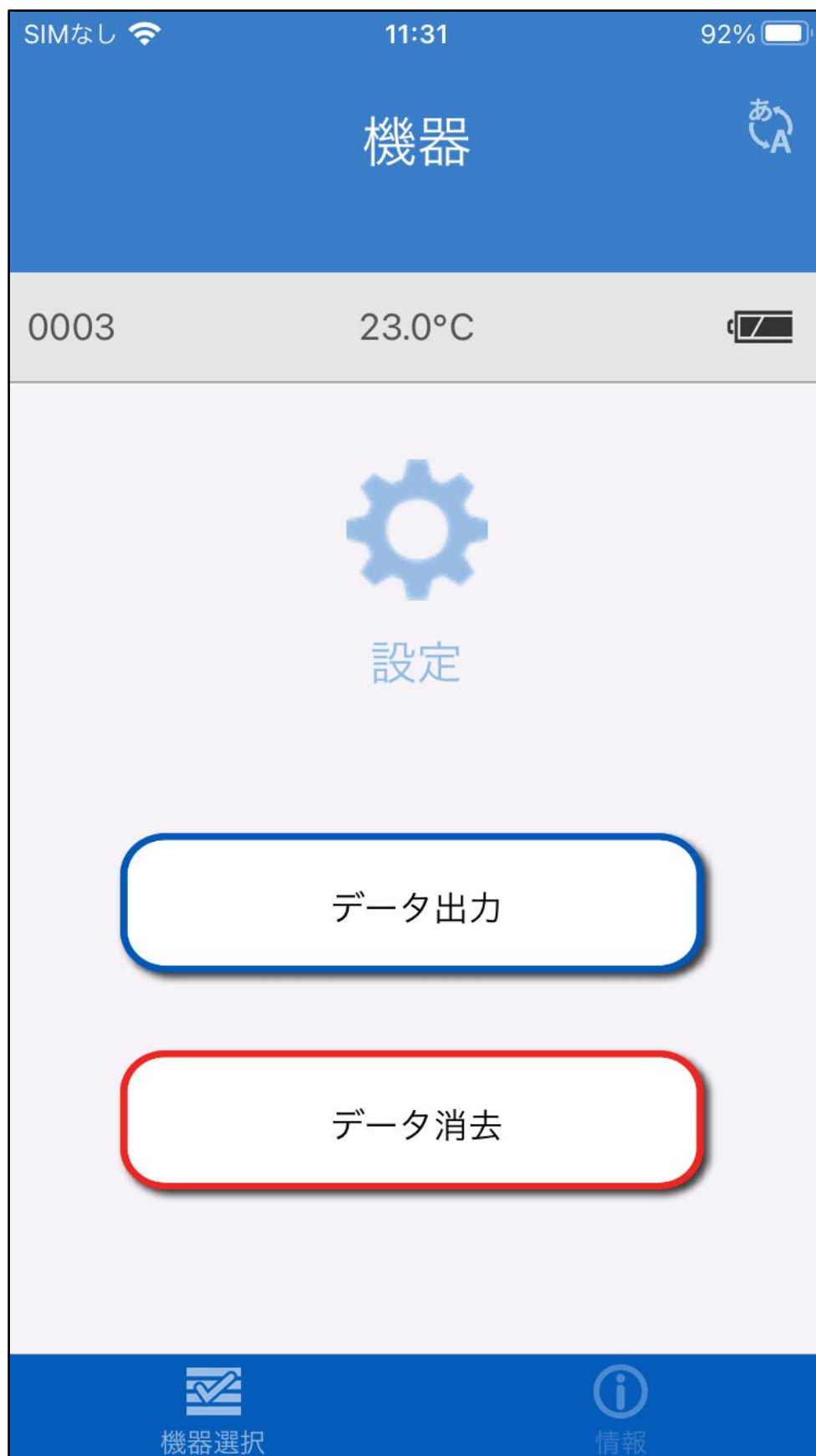
設定画面の左上の「保存」をタップします。



「設定完了」と表示されます。

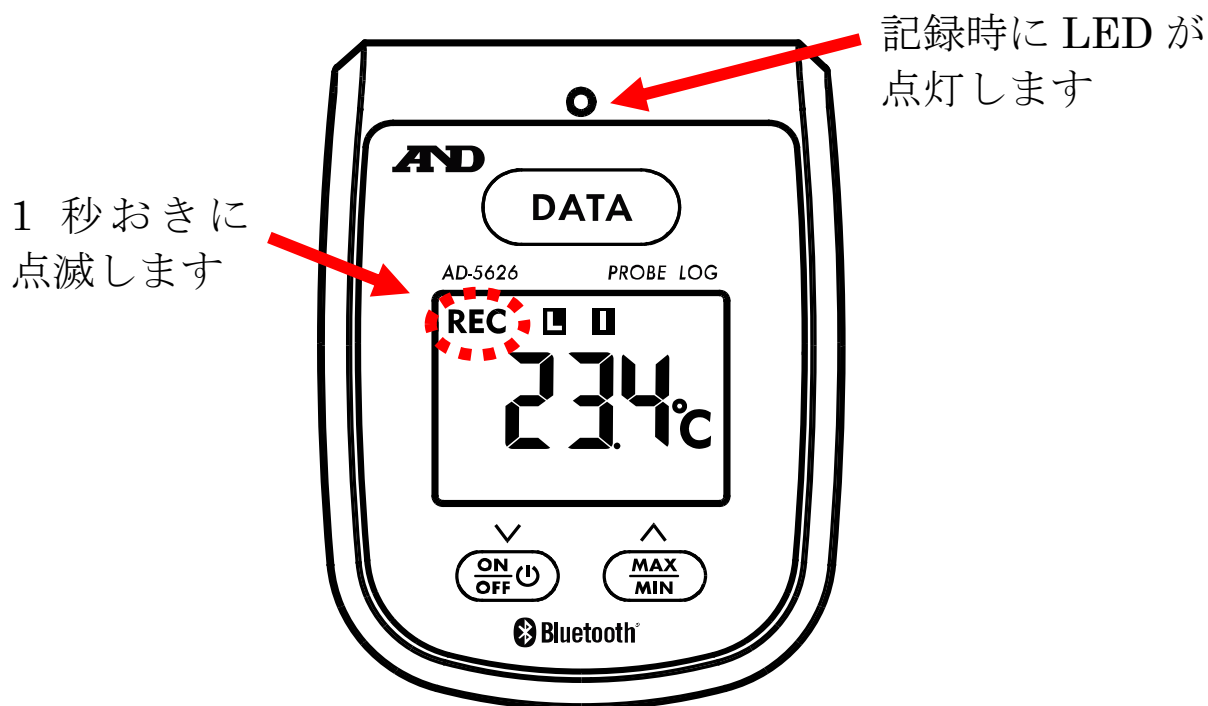


自動で機器メニューの画面に戻ります。



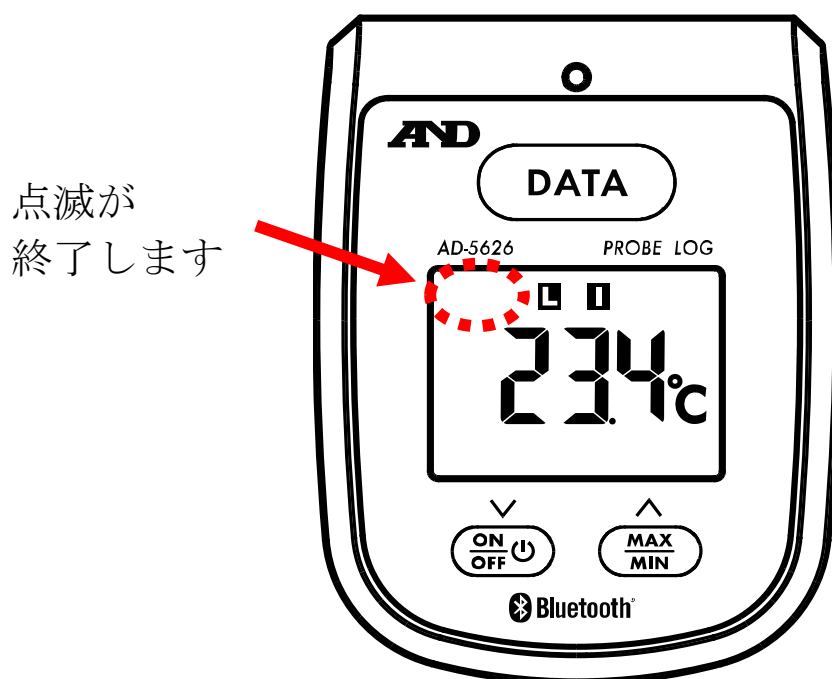
9-9. データログの開始

AD-5626 の **DATA** ボタンを押すと、液晶に「REC」マークが 1 秒おきに点滅し、データログが開始されます。この設定では 10 秒ごとにデータの記録を行い、LED が記録時に点灯します。



9-10. データログの終了

AD-5626 の **DATA** ボタンを押すと、液晶の「REC」マークが消灯し、LED の点滅も消灯し、データの記録が終了します。

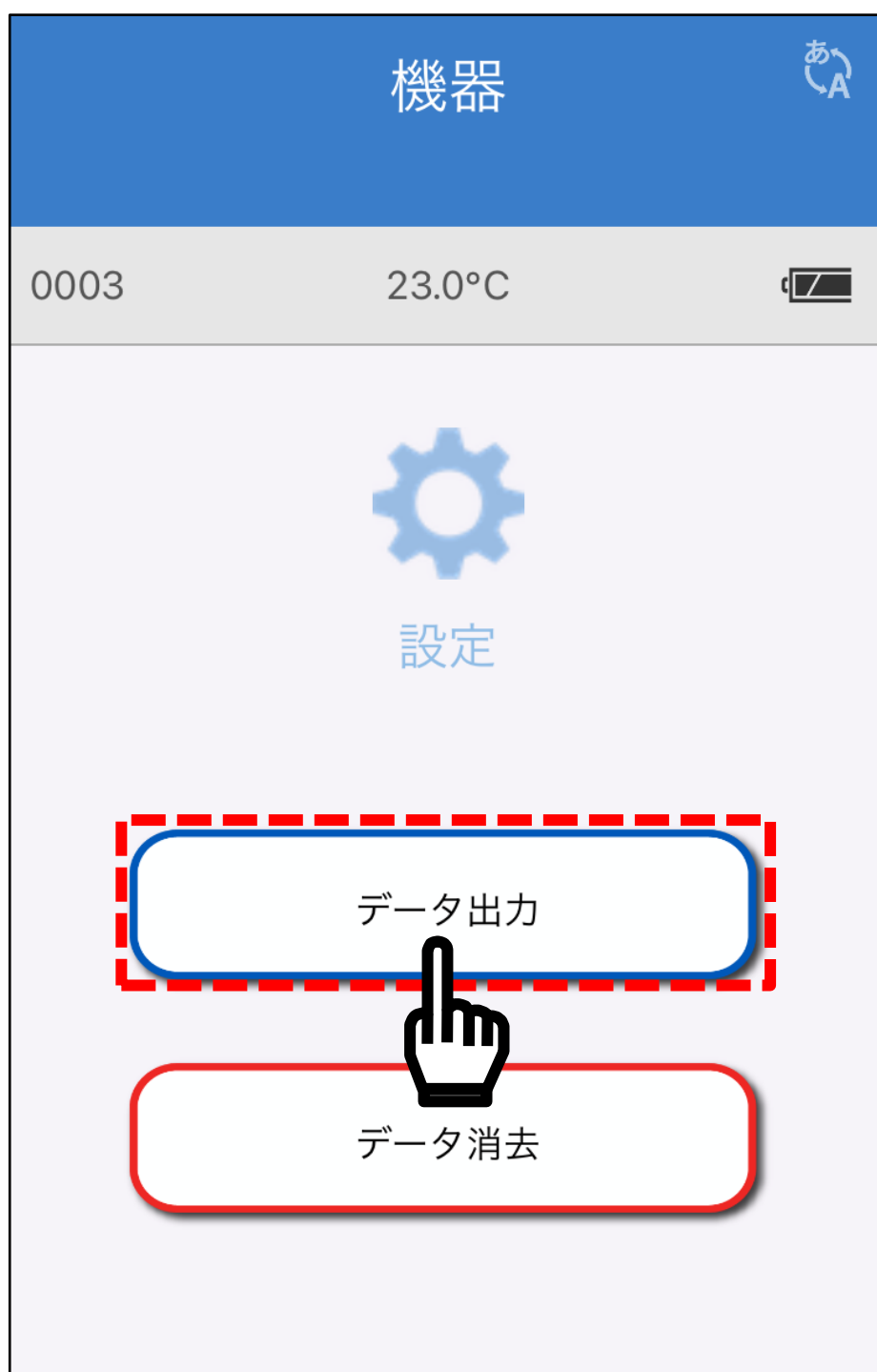


9-11. 記録したデータの送信

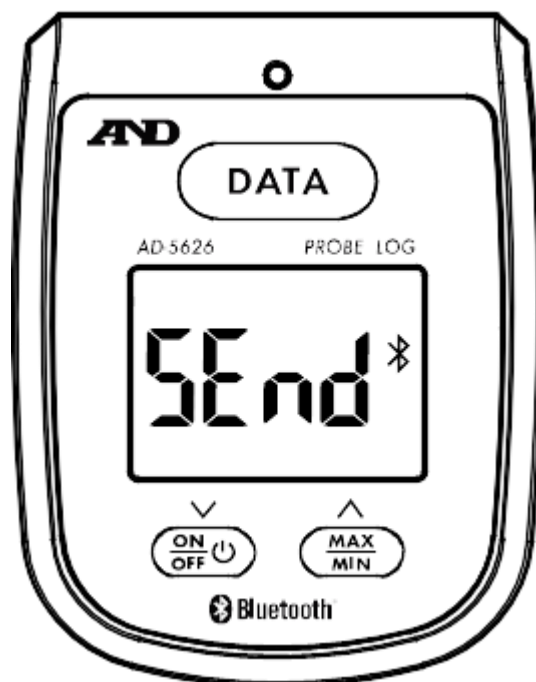
端末で「Probe Log」のアプリを起動して、「機器のメニュー」の表示されている画面まで操作してください。

データの記録中はデータの出力ができませんので、データの記録を停止させてから操作を行ってください。

「データ出力」をタップすると、AD-5626の液晶表示が「5End」と表示され記録したデータが送信されます。送信データが多い場合、送信に数分かかる場合があります。



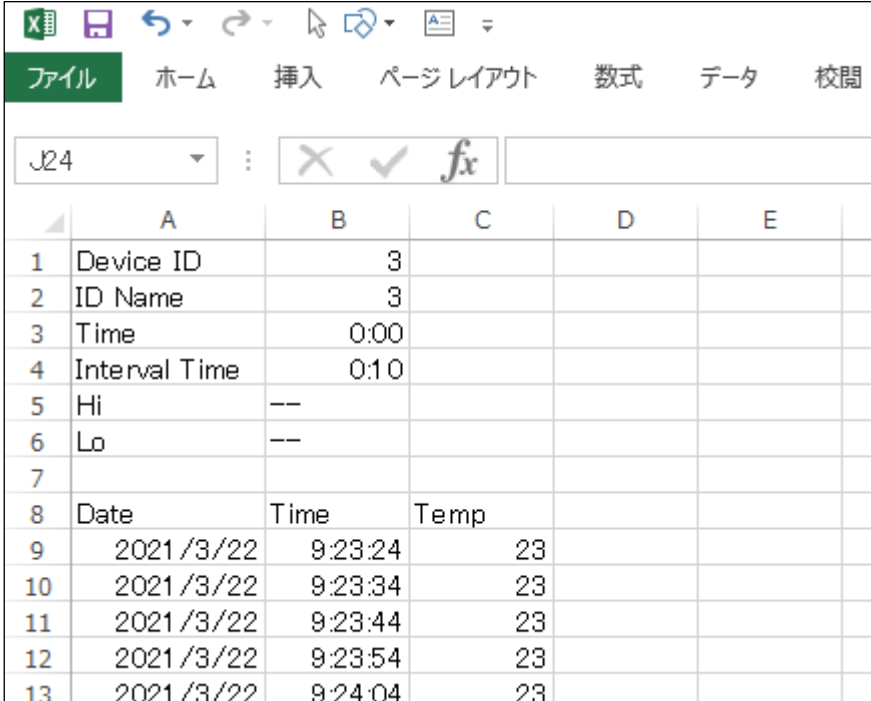
データの送信中は AD-5626 の液晶表示が「SEnd」と表示されます。



送信が完了すると、保存方法の選択が画面に表示され、スマホ本体に保存や、クラウド保存、メールで送信などがあります。



パソコンに記録データを送信して、Excel でファイルを開くと以下ようになります。



The screenshot shows the Microsoft Excel interface with the following data table:

| | A | B | C | D | E |
|----|---------------|---------|------|---|---|
| 1 | Device ID | 3 | | | |
| 2 | ID Name | 3 | | | |
| 3 | Time | 0:00 | | | |
| 4 | Interval Time | 0:10 | | | |
| 5 | Hi | -- | | | |
| 6 | Lo | -- | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | Date | Time | Temp | | |
| 9 | 2021/3/22 | 9:23:24 | 23 | | |
| 10 | 2021/3/22 | 9:23:34 | 23 | | |
| 11 | 2021/3/22 | 9:23:44 | 23 | | |
| 12 | 2021/3/22 | 9:23:54 | 23 | | |
| 13 | 2021/3/22 | 9:24:04 | 23 | | |

9-12. データ消去

ログモードで本体内部のメモリーに記録した測定値を消去します。本体内部のメモリーは、このデータ消去の操作を行わない限りデータが保存されています。

端末で「Probe Log」のアプリを起動して、「機器のメニュー」の表示されている画面まで操作してください。

「データ消去」をタップすると、消去の確認画面が表示されます。



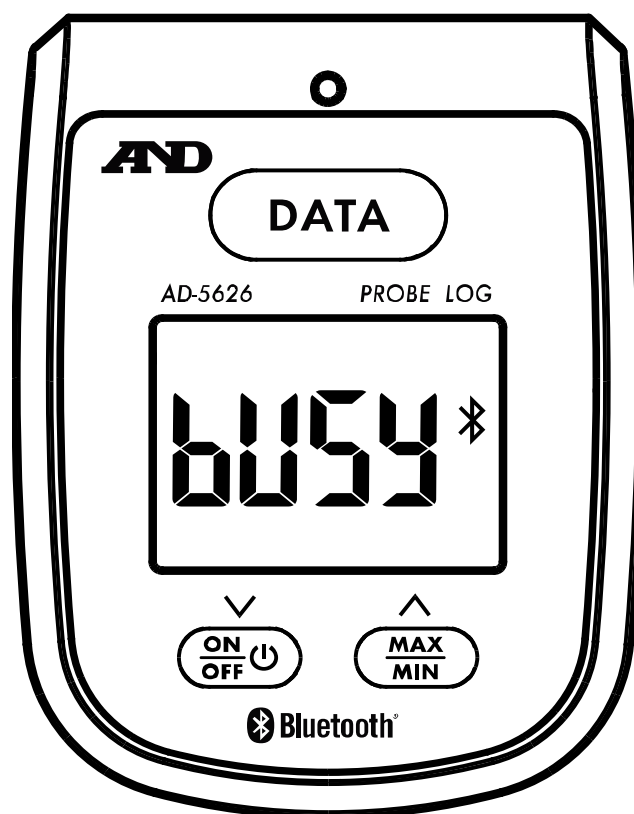
消去の確認画面が表示されますので、「はい」を選択してください。なお、一度消去してしまいますと、データの復元はできませんので注意してください。



データの消去が完了すると、「削除完了」と表示され、本体内部のメモリーの保存データ消去が完了します。



消去のデータが多い場合、本体の液晶表示に「bU54」と表示されます。

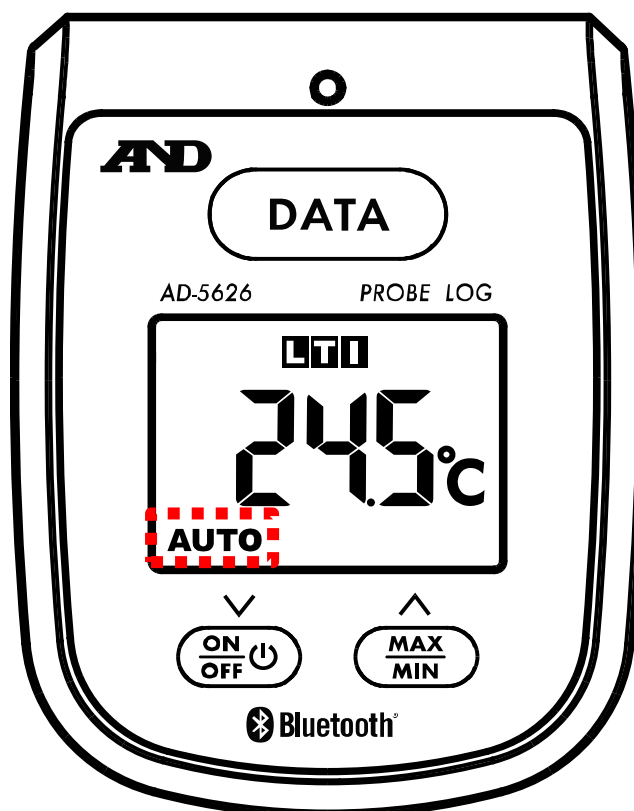


10. 機能

10-1. オートパワーオフ機能

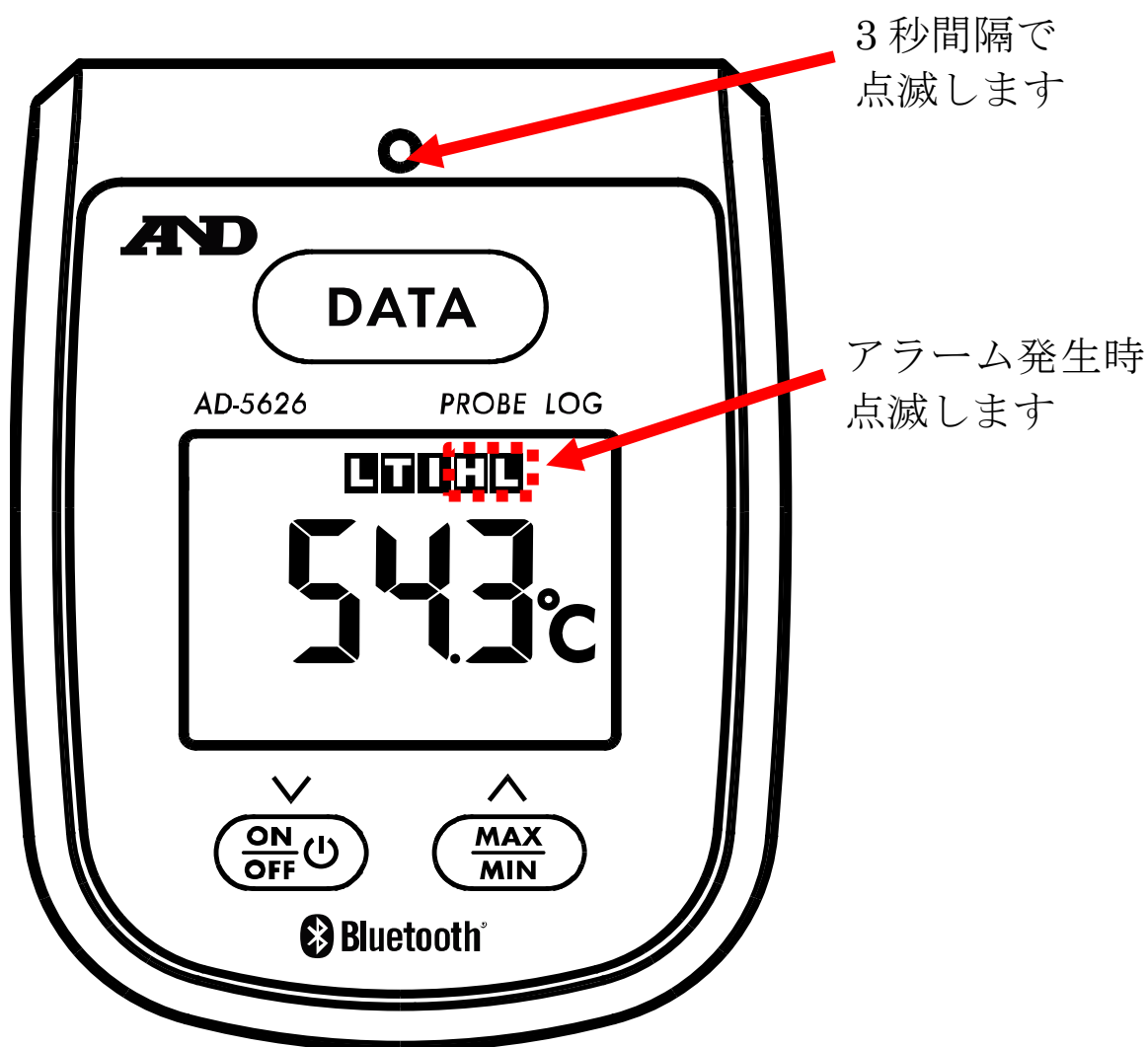
AD-5626 には、オートパワーオフ機能があります。

MAX/MIN ボタンを押して電源を入れると、液晶表示部の左下に「AUTO」と表示され、オートパワーオフ機能が有効になります。約 10 分間ボタン操作が無いと自動で電源が切れます。オートパワーオフ機能を無効にするには、電源を **ON/OFF** ボタンで入れ直して下さい。



10-2. Hi/Lo アラーム機能

AD-5626 には、アラーム機能があります。「[11-4. モード共通設定](#)」の手順又は、専用アプリ「Probe Log」で、アラーム温度を設定できます。アラーム温度を設定すると、アラーム発生時に「**H**」や「**L**」のマークが点滅し、LED が 3 秒間隔で点滅します。また自動タイマー機能をオンにすると、アラーム発生時に自動的にタイマーが動作します。アラームが止まるか設定したタイマー時間が経過した時に自動的に停止します。**DATA** ボタンで停止することもできます。



10-3. データ記録機能

AD-5626 には、データ記録機能があります。記録機能は、ログモードでは「本体内部にデータ保存」、ワイヤレス通信モードでは「PC 等にデータを送信」します。

以下の方法でデータを記録することができます。

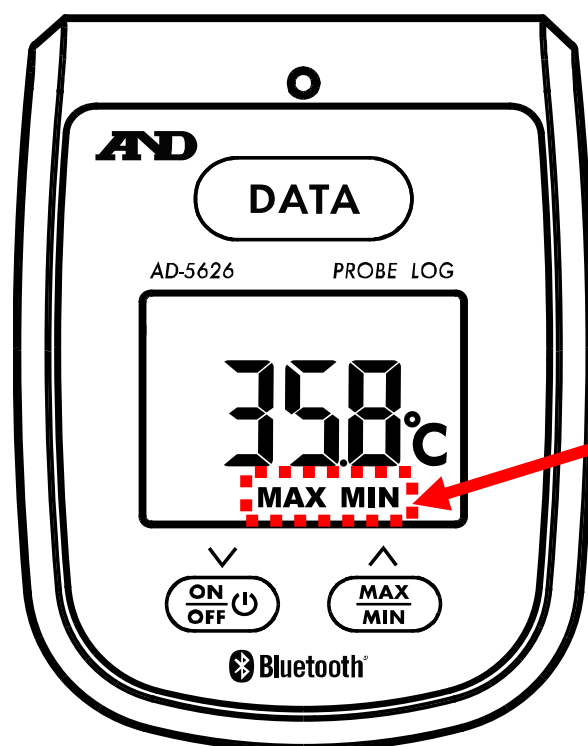
インターバル間隔を 00:00 秒に設定している場合、**DATA** ボタンを押すごとに、データを記録します。

インターバル間隔を設定している場合、インターバル間隔で設定した間隔でデータを記録します。また、タイマーを設定している場合、タイマーの設定した時間が経過すると自動でデータ保存が停止します。

インターバル間隔とタイマー時間は 1 秒～99 分 59 秒で設定することができます。

10-4. 最高値／最低値表示機能

AD-5626 には、最高値／最低値表示機能があります。電源オンをしたらからの最高値／最低値を表示します。電源オフでクリアされます。**MAX/MIN** ボタンを押す毎に、表示の下に「MAX」又は「MIN」と表示され、測定値の最高値／最低値が表示されます。



「MAX」または「MIN」が点灯します

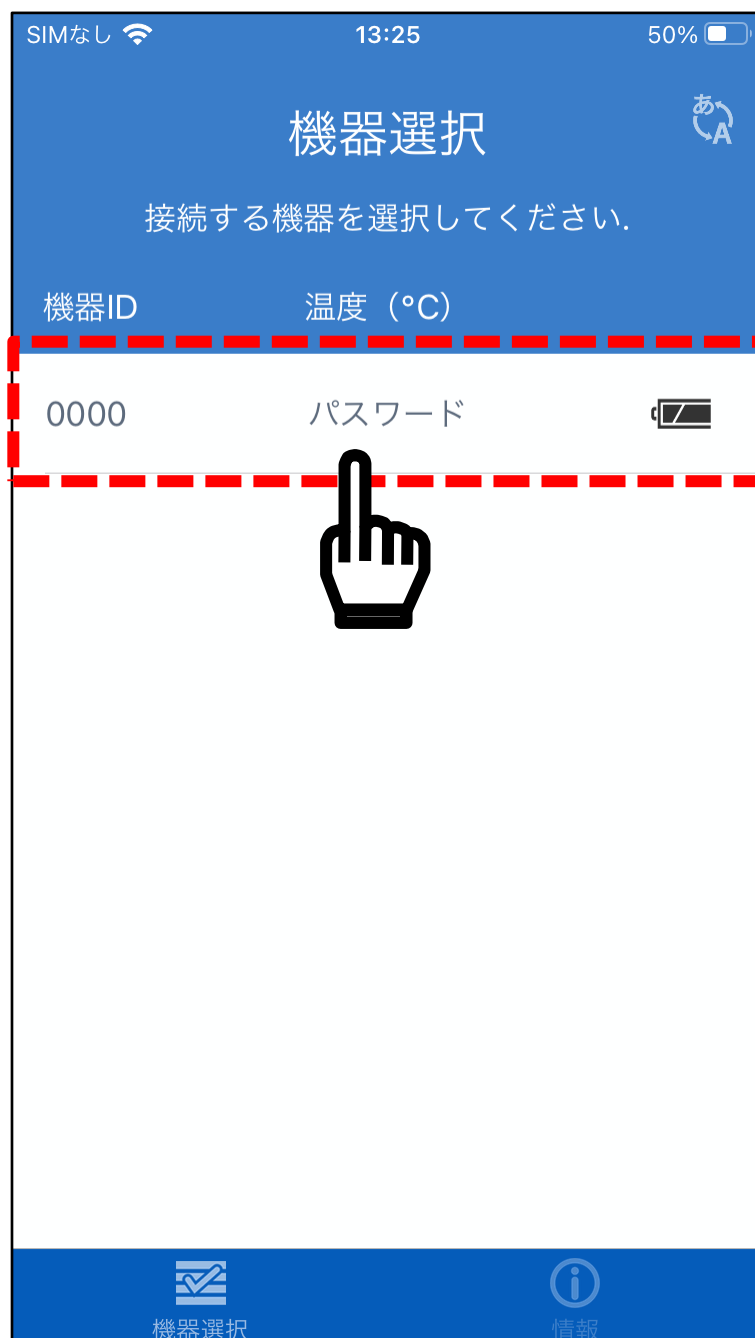
10-5. 機器番号(ID 番号)の機能

4桁の数字で設定が可能です。(初期設定は 0000) 複数台使用するときの識別として使用できます。

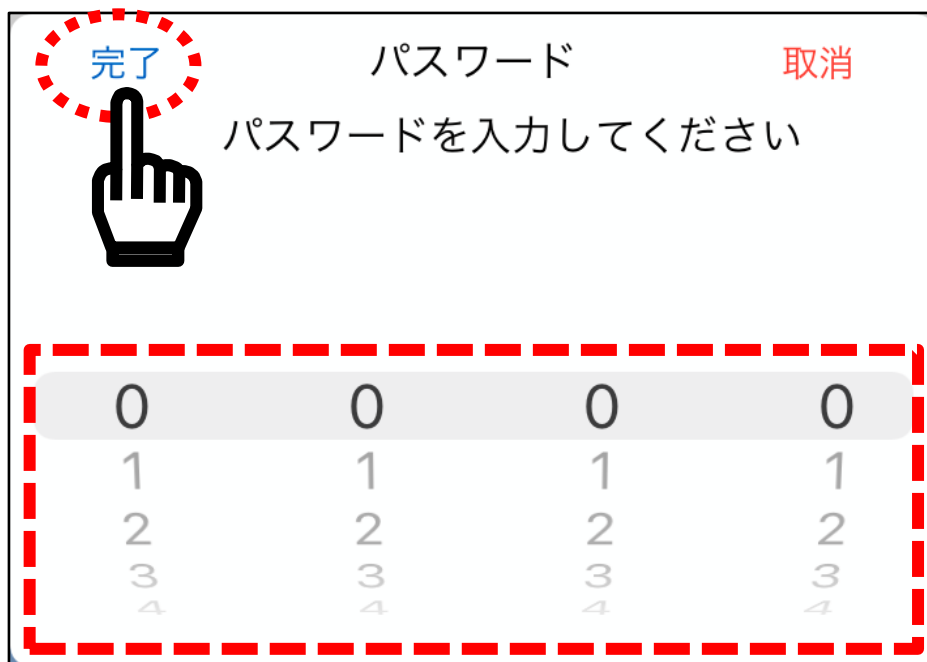
10-6. 機器名称の機能 (ログモード、記録なしモードのみ)

6桁の英数字で設定が可能です。機器番号の代わりに分かりやすい英数字での識別に使用できます。機器名称を設定すると、アプリの機器選択画面で表示される機器 I D の表示が機器名称になります。(機器名称を設定しないと、機器 I D には機器番号が表示されます)

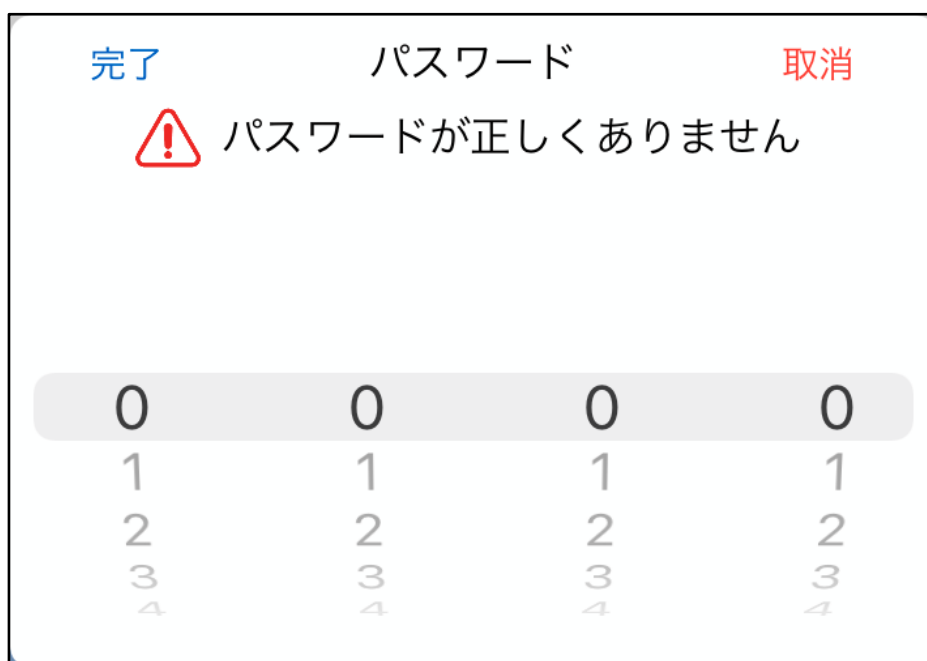
10-7. パスワードの設定（ログモード、記録なしモードのみ）
4桁の数字で設定が可能です。4桁のパスワードを設定すると、パスワードを設定した端末以外は、パスワードの入力をしないと、その機器を専用アプリ「Probe Log」で操作することができなくなります。
パスワードを設定した端末では、パスワードの入力は必要ありません。
パスワードを設定すると、以下の画面のように温度が表示される部分が、「パスワード」となります。



選択するとパスワードの入力画面になりますので、パスワードを入力して、「完了」をタップしてください。








パスワードを間違えると以下の表示になります。正しいパスワードを入力してください。



また、電池を交換すると、パスワード機能も初期化されてパスワード機能が無効になりますので、再度設定を行ってください。

11. 内部設定

電源オフの状態では、**DATA** ボタンを押しながら **ON/OFF** ボタン電源を入れると、内部設定モードになります。現在設定されているデータ記録モードの「Log」、「SEnd」、「noP」のいずれかが表示されます。設定モードでは下記のボタンで操作ができます。

| | |
|---|-------------------------------------|
|  | : 設定項目の内容の決定・次の設定項目へ |
|  | 設定項目の内容を次に送ります。又は、表示されている数字を-1 します。 |
|  | 設定項目の内容を前に戻します。又は、表示されている数字を+1 します。 |
|  +  | ボタンの同時押しで設定項目の初期値になります。 |

設定を変更せずに終了するには、**DATA** ボタンを 3 秒以上長押しすると「Hold」と表示され、設定を変更せずに温度測定の表示になります。

また、30 秒間何もボタン操作がないと、設定を変更せずに温度測定の表示になります。




電池を交換すると、内部設定はすべて初期値になります。

11-1. データ記録モードの設定



AD-5626 はデータ記録モードが 3 種類あり、モード設定内容に違いがあります。下記の表を参考に、設定項目の内容をご確認ください。

初期設定では「LoG」に設定されています。また「LoG」、「noP」のモードでは専用アプリ「Probe Log」で内部設定をすることができます。

「SEnd」モードは、パソコン等とペアリング設定になり、専用アプリ「Probe Log」で内部設定を変更できません。内部設定は本体ボタン操作にて行ってください。

| 設定項目 | 設定内容 | 内容・用途 |
|----------|---|---|
| データ記録モード |  | ログモードの設定および、「 11-4. モード共通設定 」を参照してください。 |
| |  | ワイヤレス通信モードの設定および、「 11-4. モード共通設定 」を参照してください。 |
| |  | 記録なしモード。共通設定の内容のみ設定できます。「 11-4. モード共通設定 」を参照してください。 |

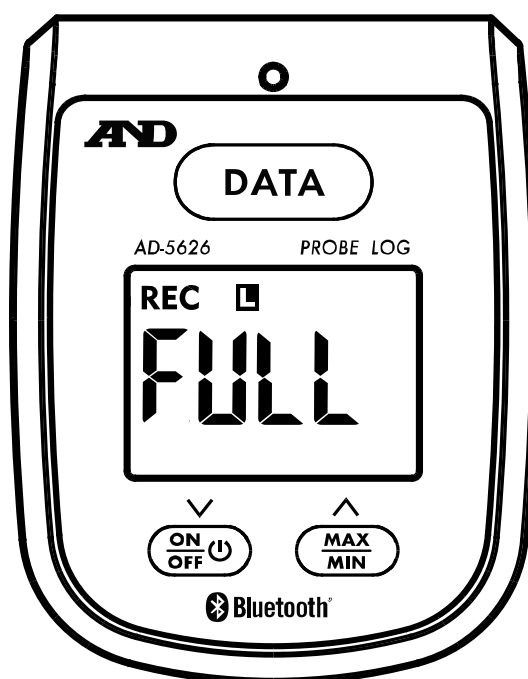
11-2. ログモードの設定

| 設定項目 | 設定内容 | 内容・用途 |
|-----------|---|----------------|
| データフル時の動作 |  | 記録を止めます。 |
| |  | 古いデータから上書きします。 |











以降の設定内容は「[11-4. モード共通設定](#)」の設定内容を参照してください。

データフル時の動作を「STOP」に設定した場合、データがフルになった時、液晶表示に「FULL」と表示され、操作ができなくなります。この場合、「[14-5-3.データ消去](#)」を参照して、データの消去を行ってください。

なお、データ消去する前に必要に応じて「[14-5-2.データの出力](#)」をしてください。データ消去を実行してしまうと、測定したデータが全て消えてしまいますので、ご注意ください。



11-3. ワイヤレス通信モードの設定

| 設定項目 | 設定内容 | 内容・用途 |
|-----------------|---|---|
| ペアリング |  | ペアリングする端末を探します。ペアリングする端末でペアリングの許可をしてください。ペアリングに成功すると自動で次のキーボードの言語設定に進みます。 |
| キーボードの言語設定 |  | 日本語キーボードに設定します。 |
| |  | 英語キーボードに設定します。 |
| <u>送信データの内容</u> |  | 温度データのみ(改行なし) |
| |  | 温度データのみ(改行あり) |
| |  | ID ナンバー、温度データ |
| |  | 年月日、時間、温度データ |
| |  | 年月日、時間、ID ナンバー、温度データ |
| |  | 時間、温度データ |
| |  | 時間、ID ナンバー、温度データ |

以降の設定内容は「[11-4. モード共通設定](#)」の設定内容を参照してください。

11-4. モード共通設定

設定項目(1/2)

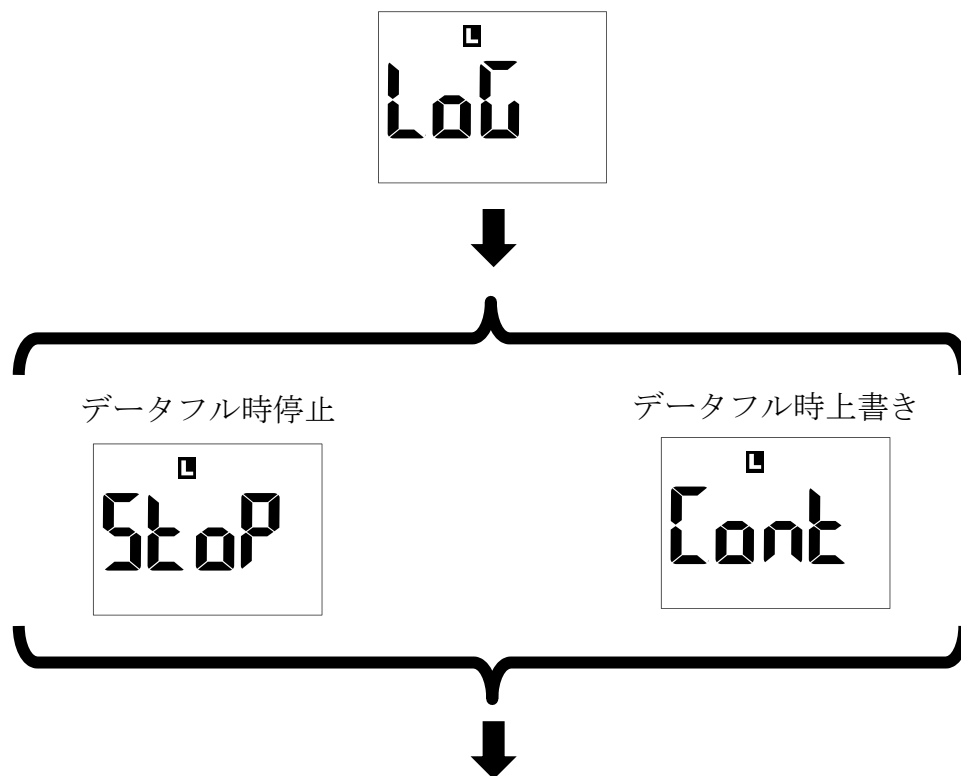
| 設定項目 | 設定内容 | 内容・用途 |
|--|---|---|
| ID 番号の設定 |  | ID 番号を設定します。 |
| タイマーの設定 |  | タイマー時間を設定します。 |
| インターバル 間隔の設定 |  | インターバル間隔を設定します。 |
| 高温アラーム の温度設定 |  | 高温アラームの発生温度を設定します。 |
| 高温アラーム 自動記録設定 注:タイマーの設 定の時間が 00:00 以外の 時に設定でき ます |  | マニュアルモード。 DATA ボタンを押すと、記録を開始します。 |
| |  | 高温アラームが発生したら、自動で記録を開始します。 |
| 高温アラーム 自動記録の停 止条件 注:自動記録設定 が「Auto」の時 に設定できま す |  | 測定温度が高温アラームの設定値を下回ったら、自動記録を停止します。 |
| |  | 測定温度が高温アラームの設定値を下回ったら、自動記録を一時停止します。 測定温度が高温アラームの設定値を上回ったら、自動で記録を再開します。 |

設定項目(2/2)

| 設定項目 | 設定内容 | 内容・用途 |
|--|--|--|
| 低温アラームの温度設定 |  | 低温アラームの発生温度を設定します。 |
| 低温アラーム自動記録設定 注:タイマーの設定の時間が00:00以外の時に設定できません |   | マニュアルモード。 DATA ボタンを押すと、記録を開始します。 低温アラームが発生したら、自動で記録を開始します。 |
| 低温アラーム自動記録の停止条件 注:自動記録設定が「Auto」の時に設定できません |   | 測定温度が低温アラームの設定値を上回ったら、自動記録を停止します。 測定温度が低温アラームの設定値を上回ったら、自動記録を一時停止します。 測定温度が低温アラームの設定値を下回ったら、自動で記録を再開します。 |
| 年月日の設定 |  | 現在の年を入力します。 |
| |  | 現在の月を入力します。 現在の日を入力します。 |
| 時刻の設定 |  | 現在の時を入力します。 |
| | | 現在の分を入力します。 |

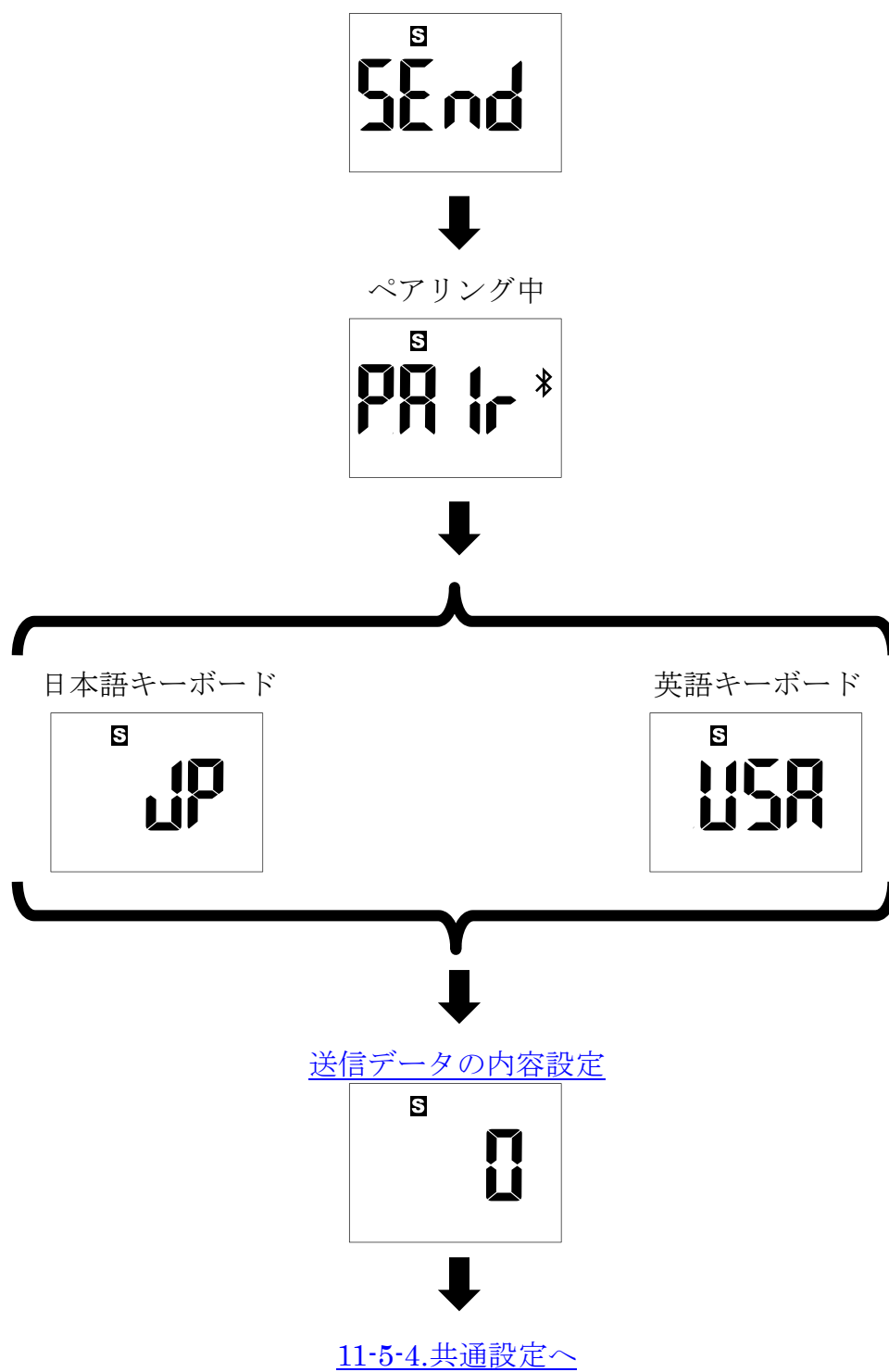
11-5. 内部設定一覧

11-5-1. ログモード



[11-5-4. 共通設定へ](#)

11-5-2. ワイヤレス通信モード



11-5-3. 記録なしモード



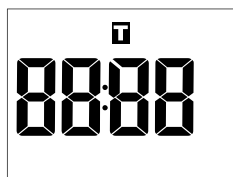
[11-5-4.共通設定へ](#)

11-5-4. 共通設定

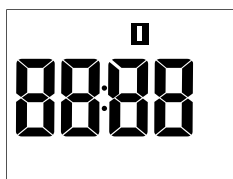
ID の設定



タイマーの設定

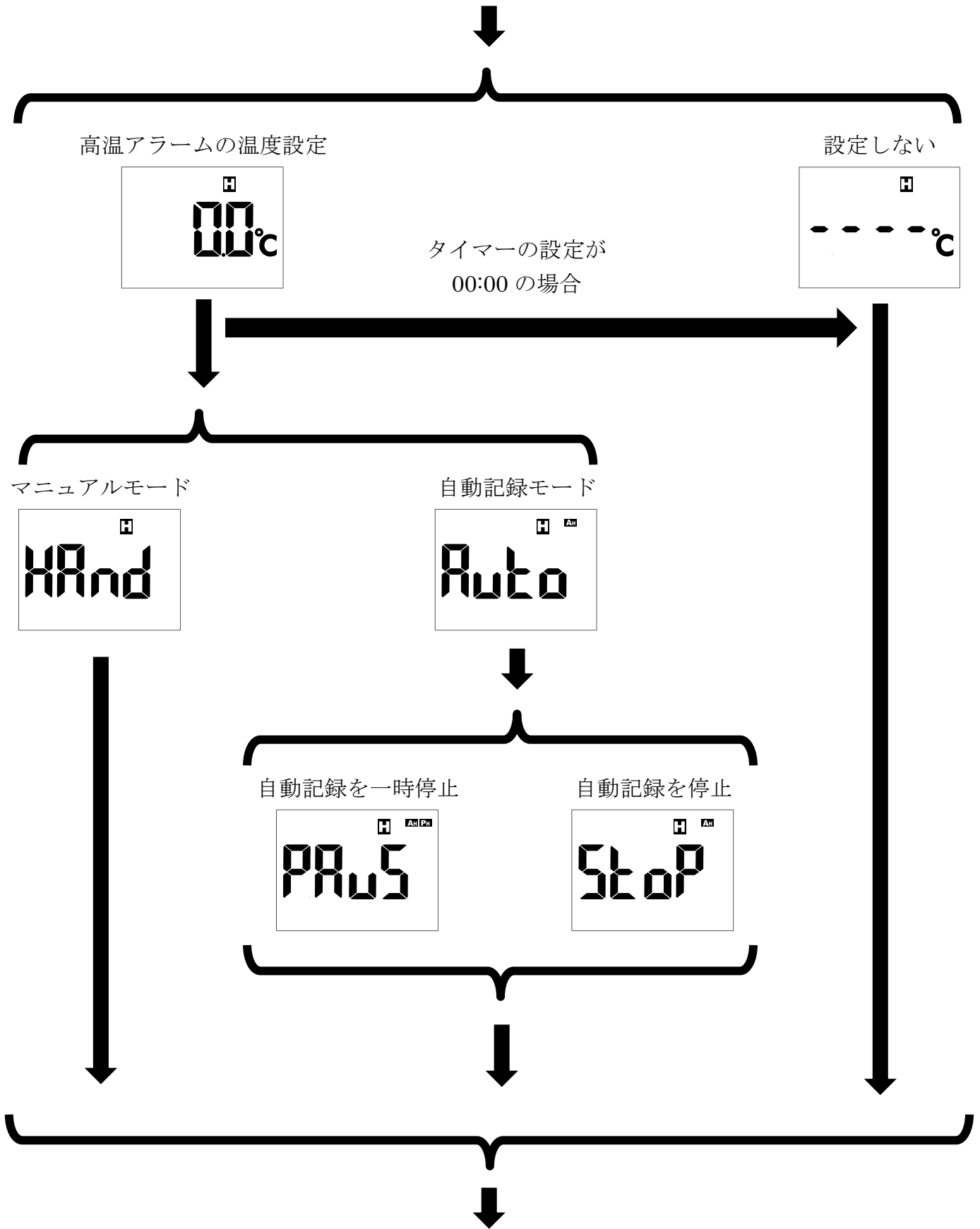


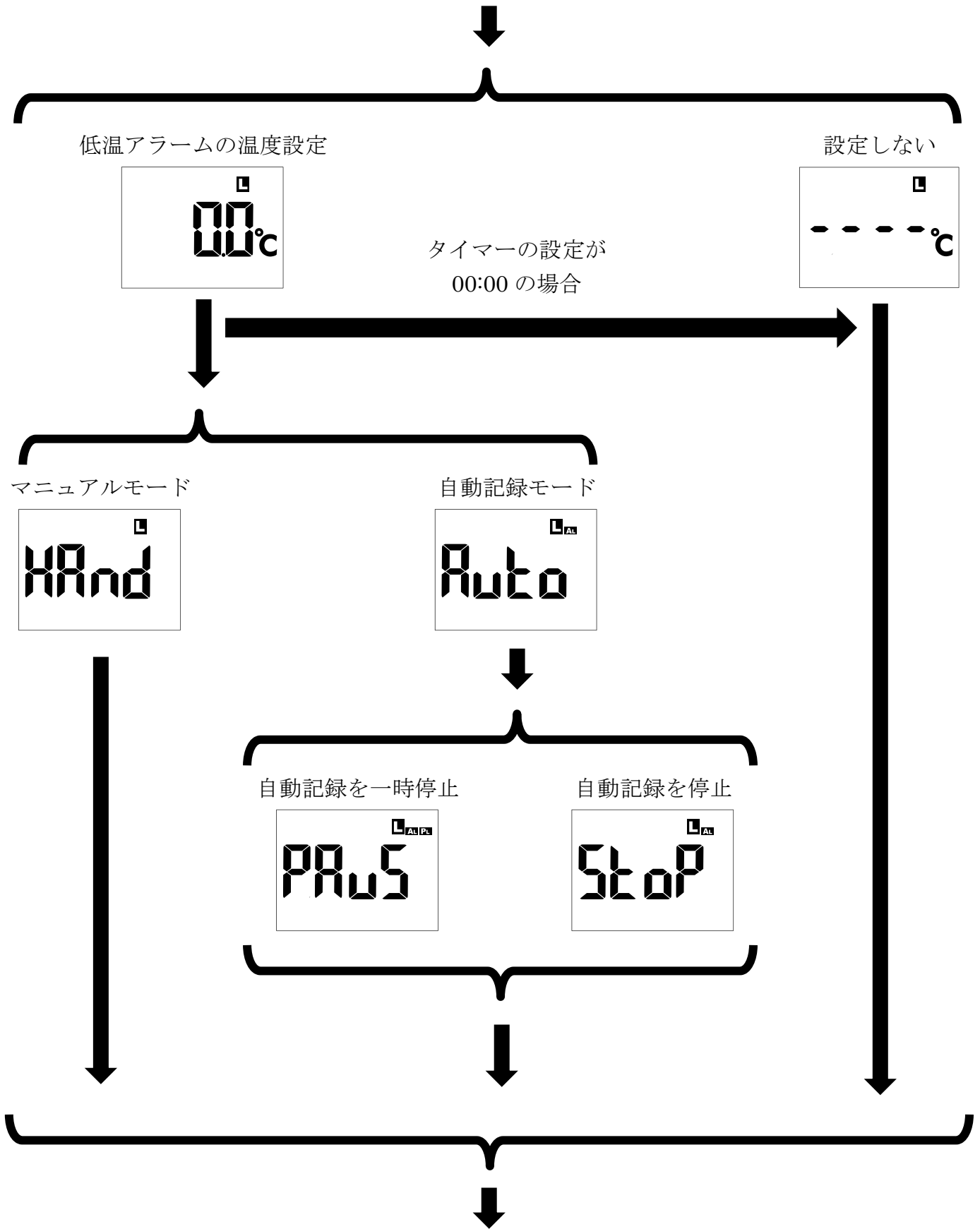
インターバル時間の設定



記録なし
モードの場合









西暦の設定

2021



月日の設定

0101



時間の設定

00:00



設定終了
温度測定表示へ

12. データ通信について

12-1. *Bluetooth*®

- 万一、本製品から他の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに使用をお止めください。
- 本製品は、*Bluetooth*® Ver4.2(*Bluetooth*® low energy)の無線機能を有しています。測定データの通信は、*Bluetooth*® 4.2準拠(*Bluetooth*®)の接続仕様に対応し、専用アプリがインストールされたスマートフォンやタブレットと接続できます。

12-2. *Bluetooth*®通信

良好な通信のために

- 通信相手とは見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと、通信不能な場合があります。
- *Bluetooth*®接続においては、無線 LAN、その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境では使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- IEEE802.11 g / b / n の無線 LAN 機器の近くで使用すると、互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。
この場合は、使用していない機器の電源を切るか、使用場所を変更してください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。
- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は *Bluetooth*®対応の全ての機器との接続動作を保証したものではありません。

12-3. 本製品の *Bluetooth*®の通信

本製品は、*Bluetooth*®無線機能を有し、以下の *Bluetooth*®機器と接続できます。

- iOS 11.0 以降の iPhone、iPad、iPod Touch
- Android OS 6.0 以降
- Windows
- Mac OS

スマートフォンアプリで本製品との通信、機能の設定を行うには、「Probe Log」アプリをダウンロードし、インストールする必要があります。

「Probe Log」は、iOS、Android のスマートフォン端末にインストールできます。

Windows、Mac OS に対応した「Probe Log」アプリはありません。



Bluetooth®機器には *Bluetooth*®のロゴマークが表記されています。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、A&D はこれらのマークをライセンスに基づき使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

13. ワイヤレス通信モードの使用法

ワイヤレス通信モードを使用するには、パソコン又はスマートフォン端末とペアリングをする必要があります。

13-1. 出力データのフォーマット

ワイヤレス通信モードでは、内部設定の「送信データの内容」によって、7種類 of 出力データのフォーマットがあります。用途に合わせて選択してください。

ワイヤレス通信モードは、Microsoft Excel のアプリケーションに最適化されていますので、Microsoft Excel を使用してください。

以下の例は 3 回データ送信した時の出力例です。なお、「0」に設定した場合は、1 データ毎の改行がされないため、Excel では連続して測定値が記録されます。この設定は、お客様にてプログラムを作成するときにご使用ください。

0: 温度データのみ(改行なし)

出力例：

| |
|--------------|
| 26.026.226.2 |
|--------------|

1: 温度データのみ(改行あり)

出力例：

| |
|------|
| 26.0 |
| 26.2 |
| 26.2 |

2: ID ナンバー、温度データ

出力例：

| | |
|------|------|
| 0003 | 26.0 |
| 0003 | 26.2 |
| 0003 | 26.2 |

3 : 年月日、時間、温度データ

出力例 :

| | | |
|------------|----------|------|
| 2021/03/31 | 10:57:27 | 26.0 |
| 2021/03/31 | 10:57:37 | 26.2 |
| 2021/03/31 | 10:57:47 | 26.2 |

4 : 年月日、時間、ID ナンバー、温度データ

出力例 :

| | | | |
|------------|----------|------|------|
| 2021/03/31 | 10:57:27 | 0003 | 26.0 |
| 2021/03/31 | 10:57:37 | 0003 | 26.2 |
| 2021/03/31 | 10:57:47 | 0003 | 26.2 |

5 : 時間、温度データ

出力例 :

| | |
|----------|------|
| 10:57:27 | 26.0 |
| 10:57:37 | 26.2 |
| 10:57:47 | 26.2 |

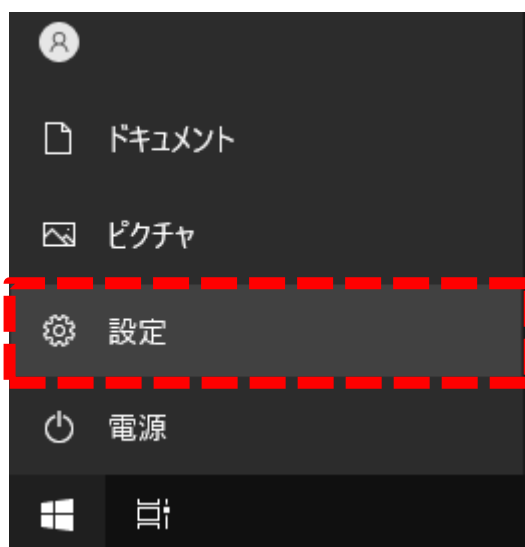
6 : 時間、ID ナンバー、温度データ

出力例 :

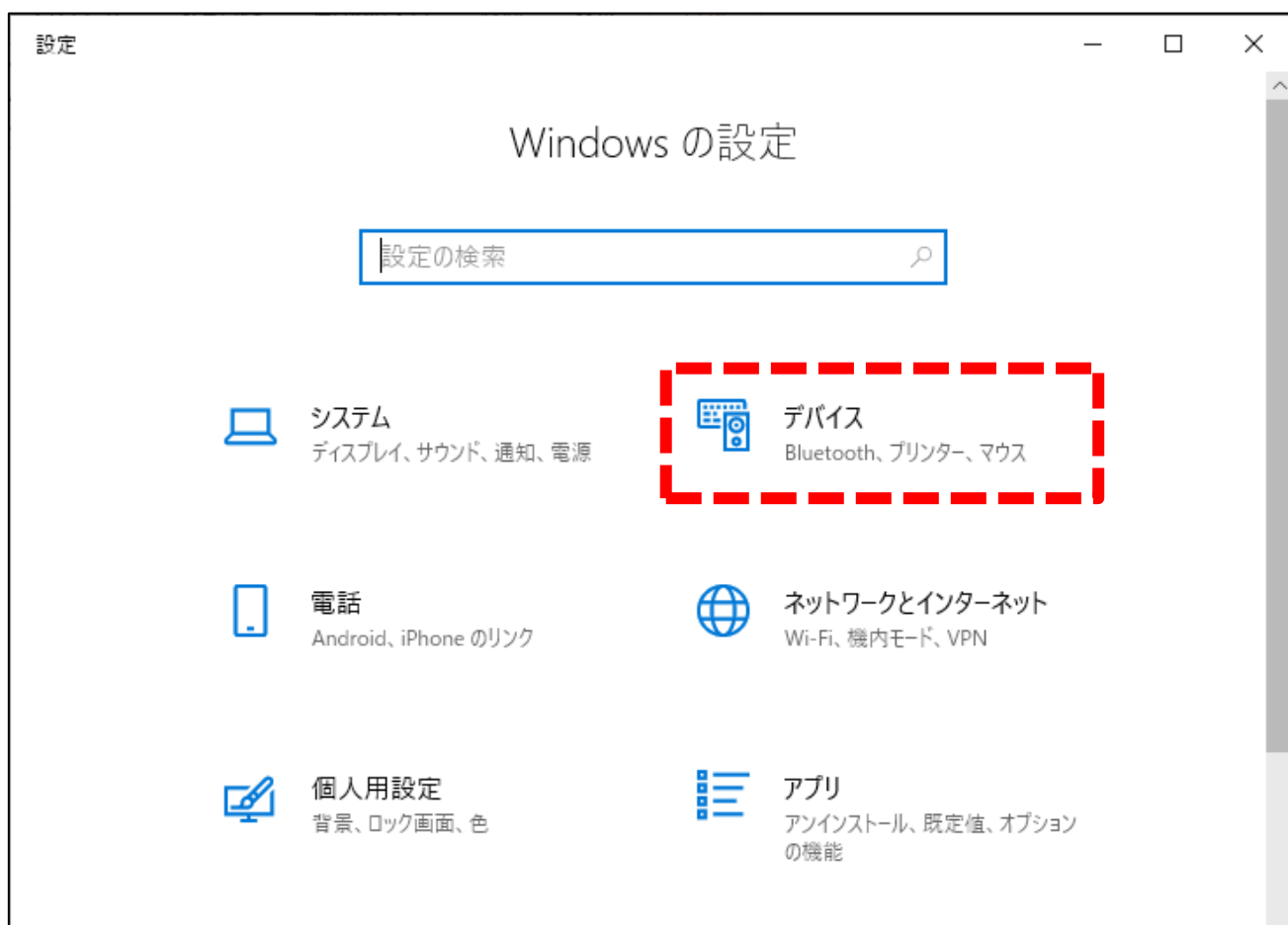
| | | |
|----------|------|------|
| 10:57:27 | 0003 | 26.0 |
| 10:57:37 | 0003 | 26.2 |
| 10:57:47 | 0003 | 26.2 |

13-2. Windows 10 の設定

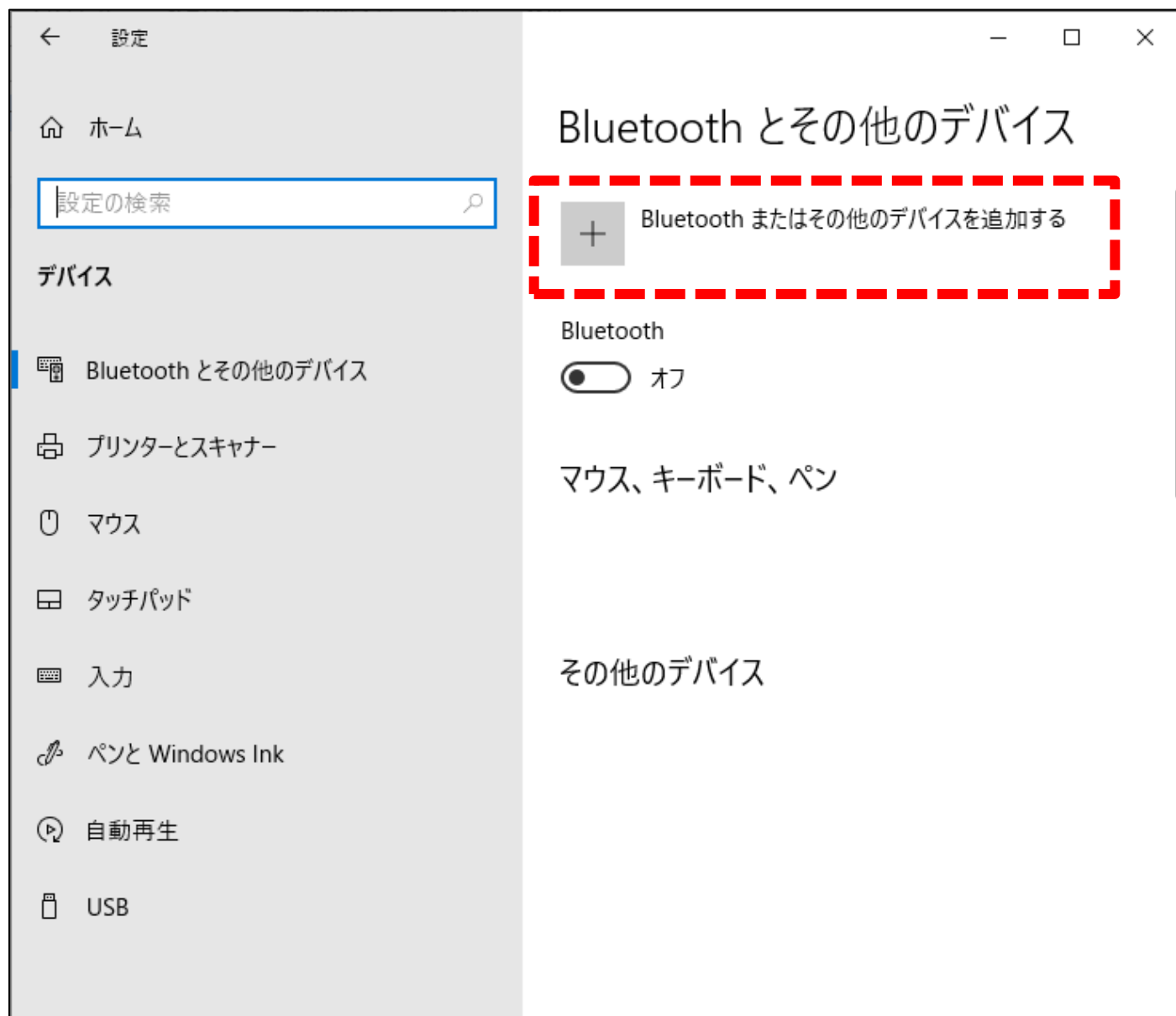
Windows のスタートメニューから「設定」を選択してください。



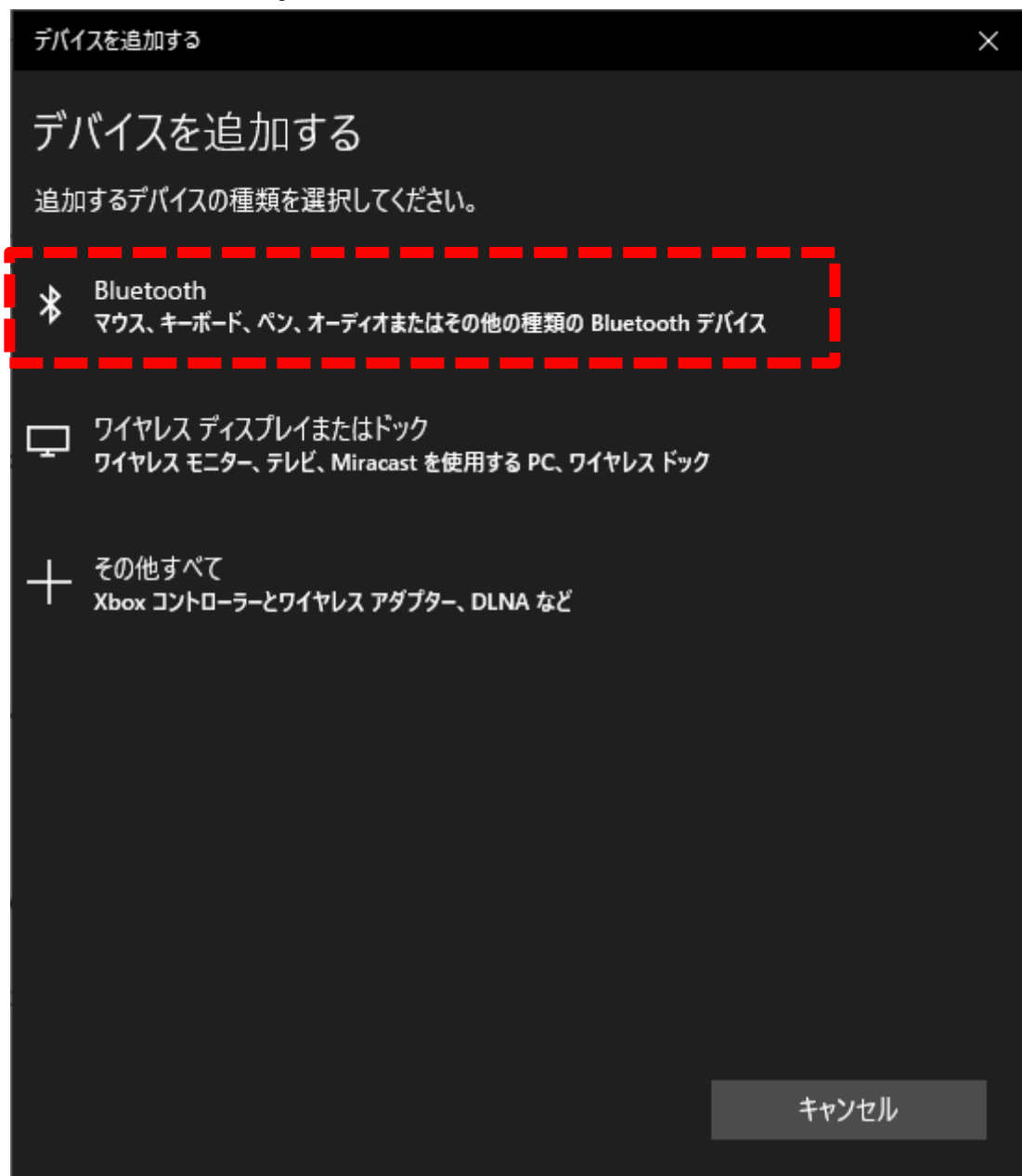
Windows の設定メニューが表示されますので、「デバイス」を選択してください。



Bluetooth とその他のデバイスが表示されますので、「Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」を選択してください。

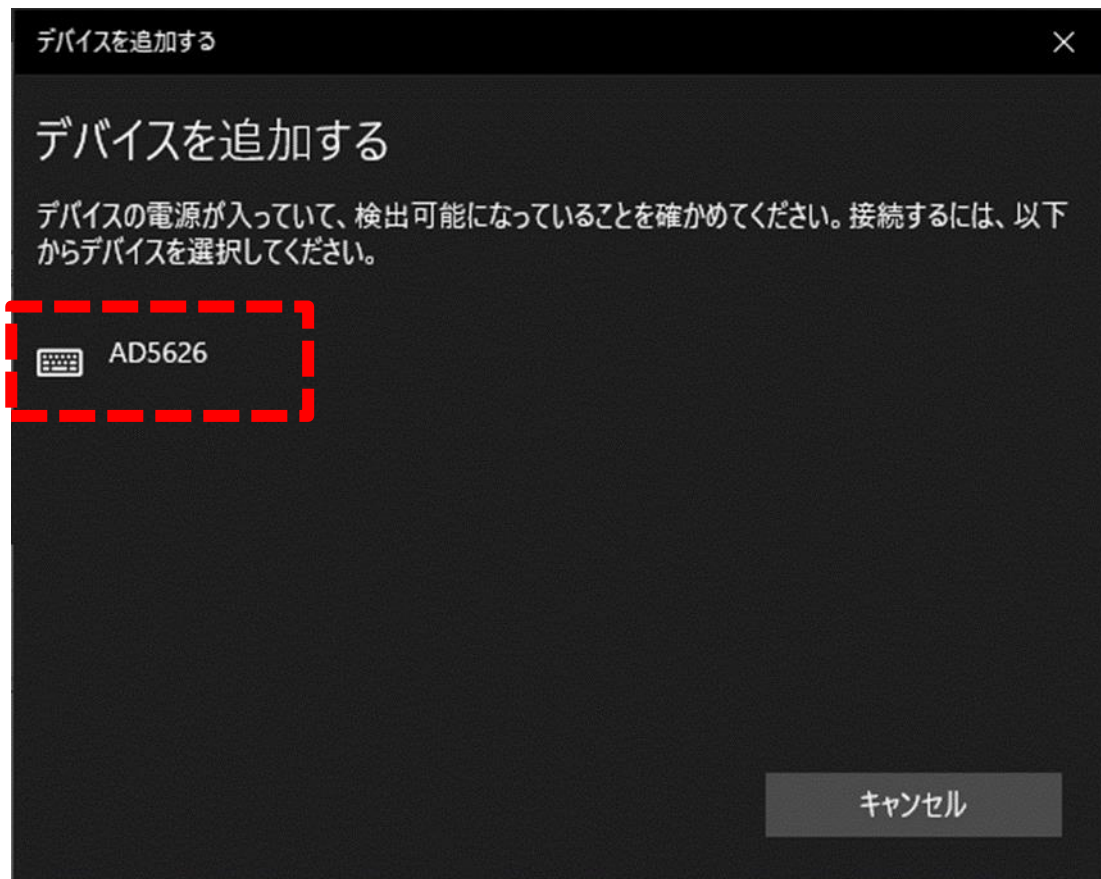


デバイスを追加するが表示されますので、一番上の「Bluetooth」を選択してください。

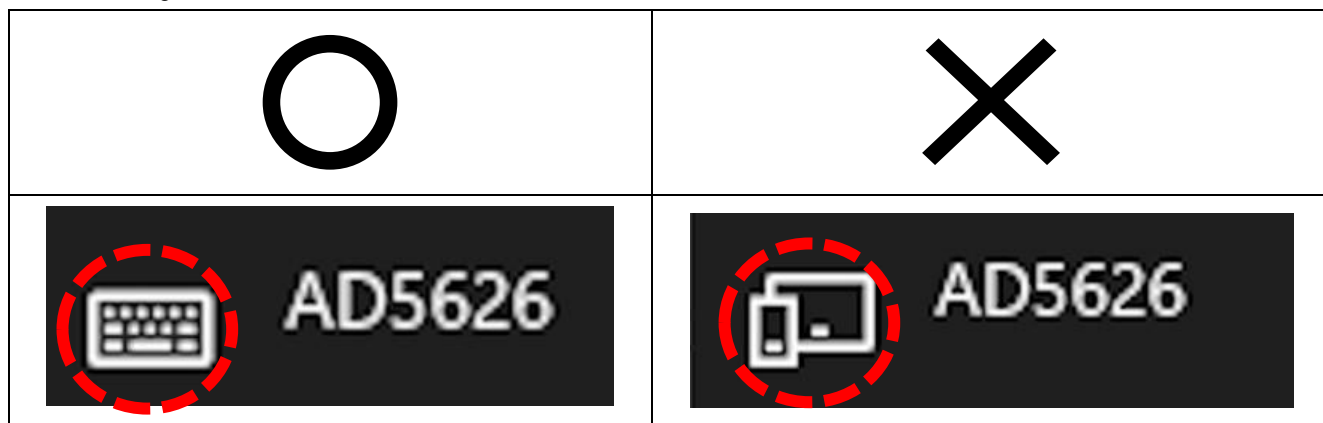


AD-5626 を「[11-3. ワイヤレス通信モードの設定](#)」を参照して、「ペアリング」の設定にしてください。画面に「Pair」と表示されます。

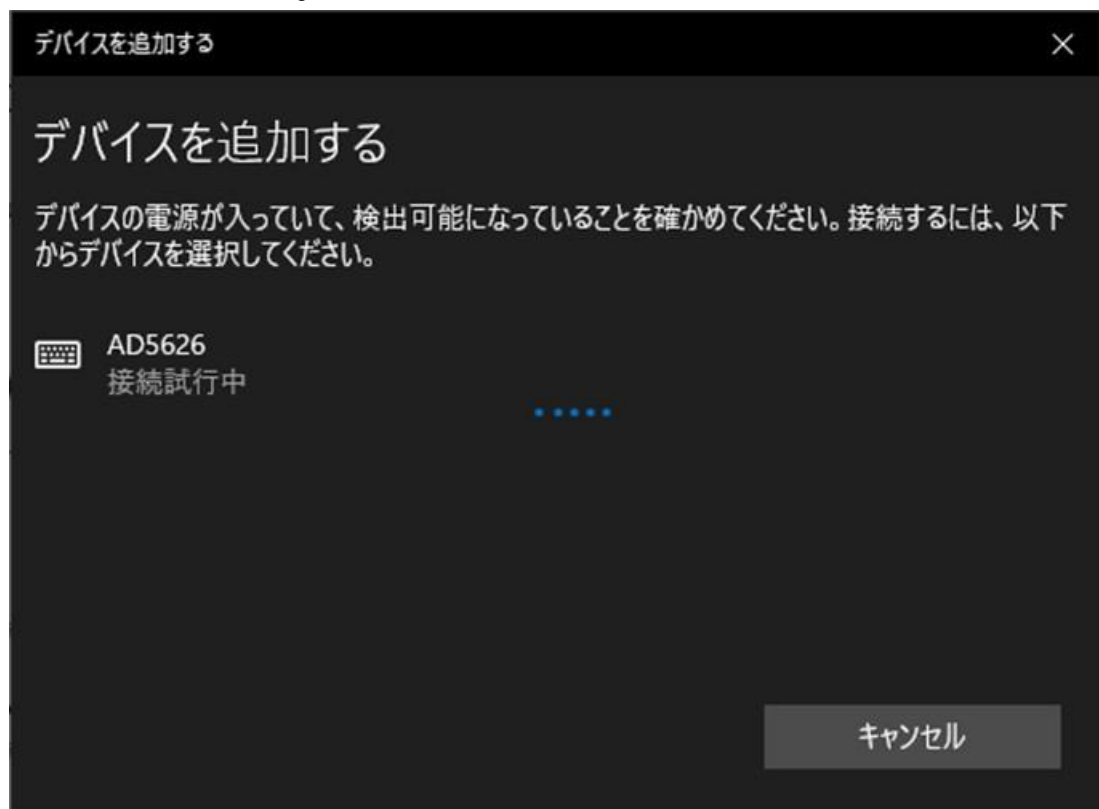
しばらくすると、下の図のように「AD5626」が表示されますので、「AD5626」を選択してください。



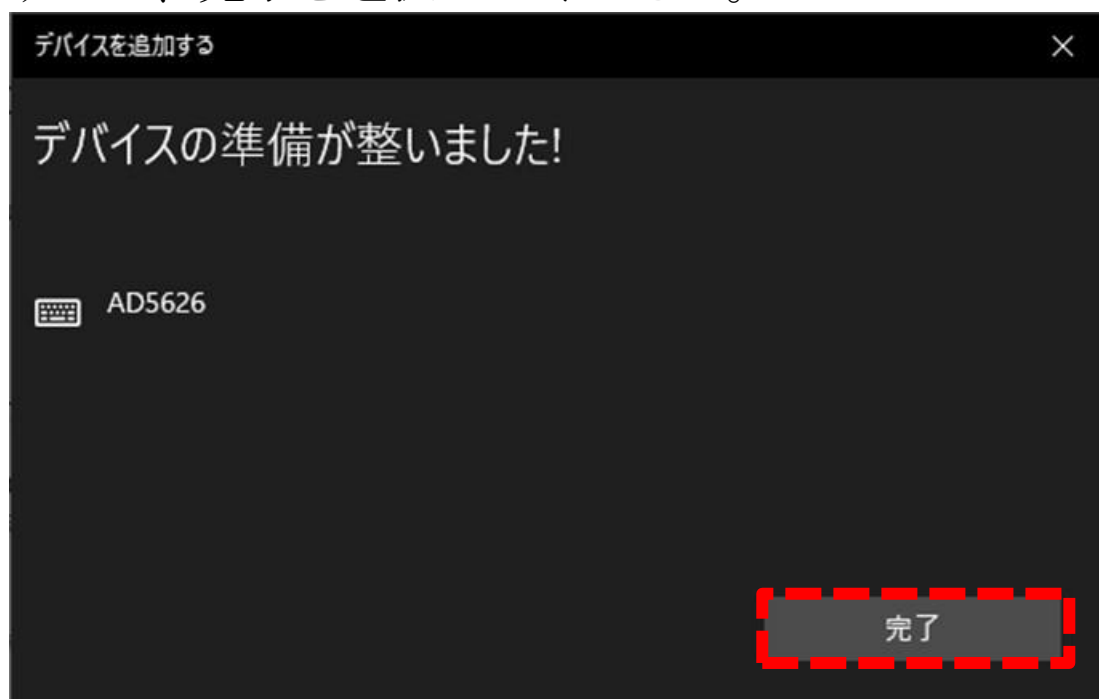
注意：ペアリングする時に、検出された AD5626 のアイコンが、以下の図のように 2 種類表示されることがあります。必ず左のキーボードアイコンの AD5626 を選択してください。



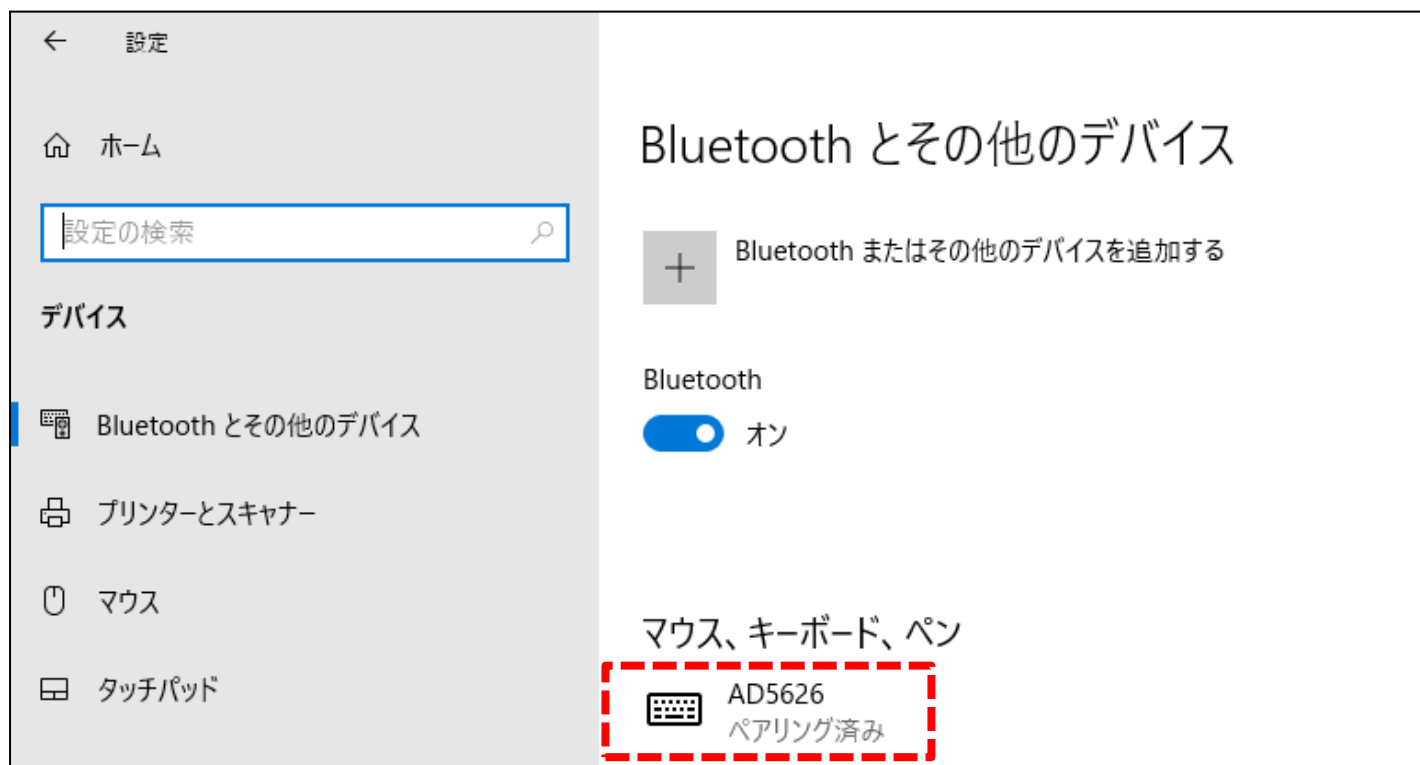
「AD5626」を選択すると接続試行中になります。しばらくそのままお待ちください。



ペアリングに成功すると「デバイスの準備が整いました!」と表示されますので、完了を選択してください。



マウス、キーボード、ペンの部分に「AD5626 ペアリング済み」と表示されているのを確認してください。

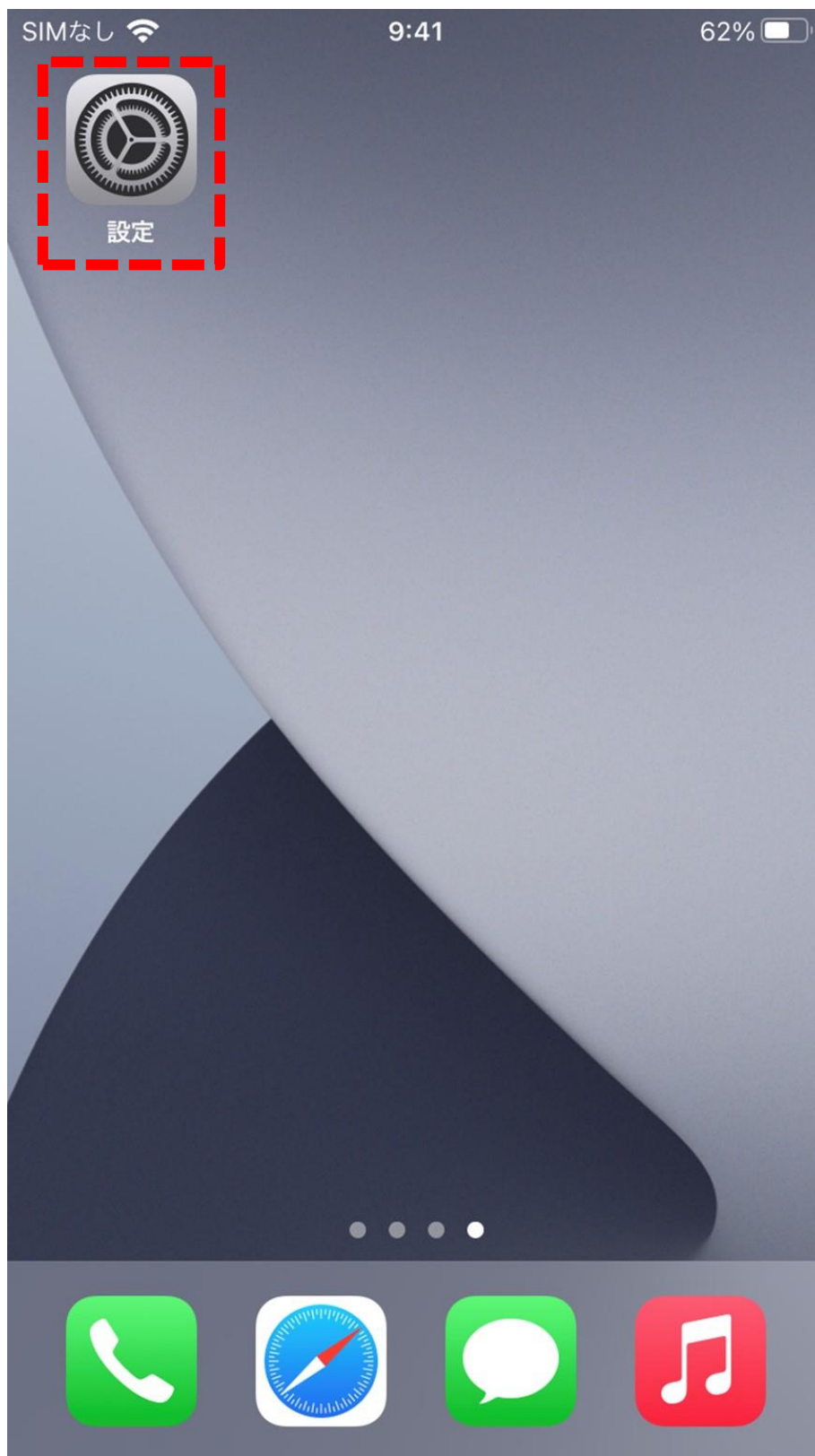


以上でペアリングの設定は終了です。

AD-5626 で、「[11-3. ワイヤレス通信モードの設定](#)」のキーボードの言語設定以降の内部設定をしてください。

13-3. iOS の設定

「設定」のアイコンをタップしてください



iOS の設定メニューが表示されますので、「Bluetooth」を選択してください。

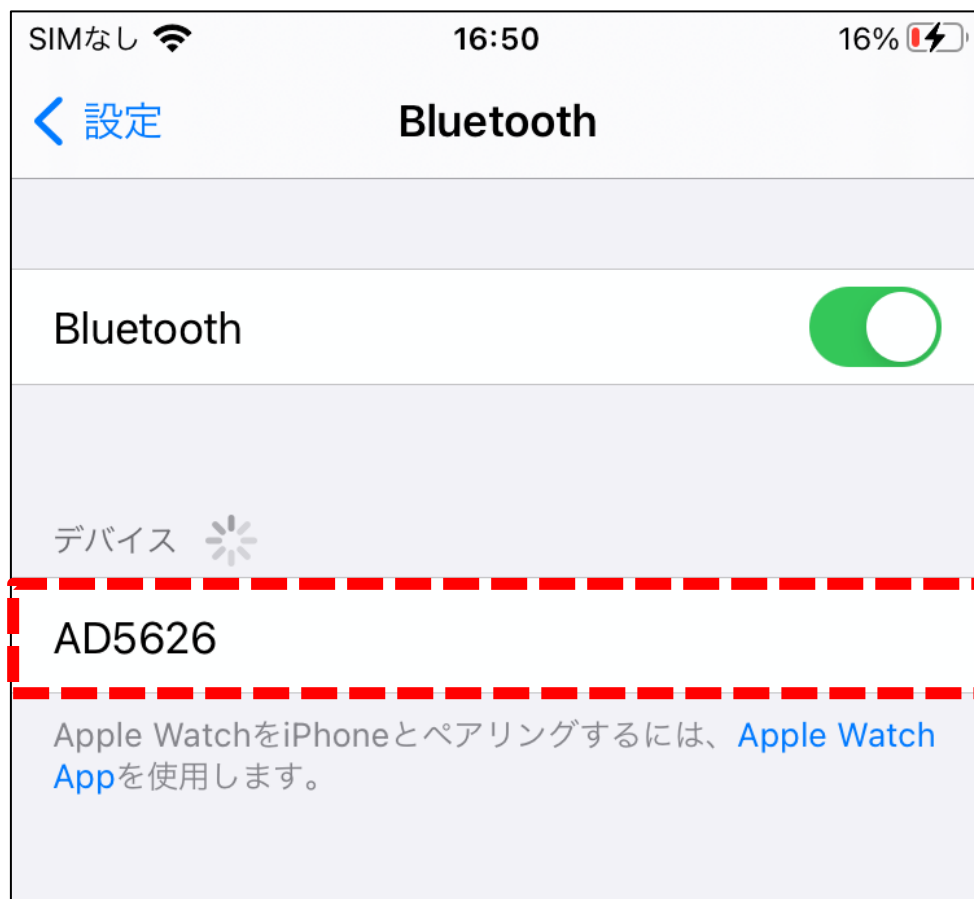


Bluetooth の設定画面が表示されますので、Bluetooth がオンになっていない場合、「Bluetooth」をオンしてください。



AD-5626 を「[11-3. ワイヤレス通信モードの設定](#)」を参照して、「ペアリング」の設定にしてください。画面に「PART」と表示されます。

しばらくすると、下の図のように「AD5626」が表示されますので、「AD5626」を選択してください。



「AD5626」を選択すると接続試行します。しばらくそのままお待ちください。

途中で「Bluetooth ペアリングの要求」の画面が出る場合があります。「ペアリング」を選択してください。



ペアリングに成功すると「接続済み」と表示されます。

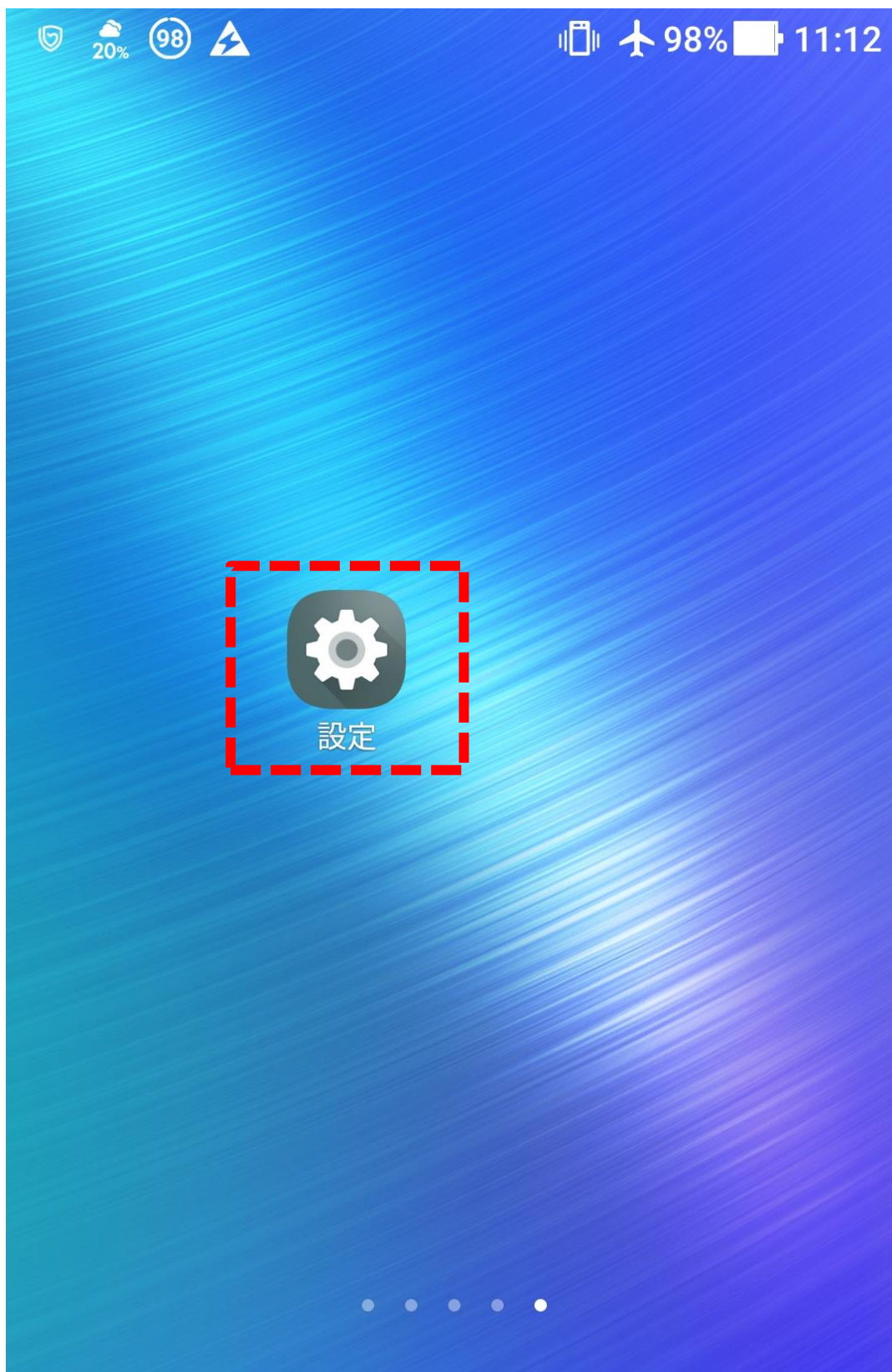


以上でペアリングの設定は終了です。

AD-5626 で、「[11-3. ワイヤレス通信モードの設定](#)」のキーボードの言語設定以降の内部設定をしてください。

13-4. Android の設定

「設定」のアイコンをタップしてください。



Android の設定メニューが表示されますので、「Bluetooth」を選択してください。

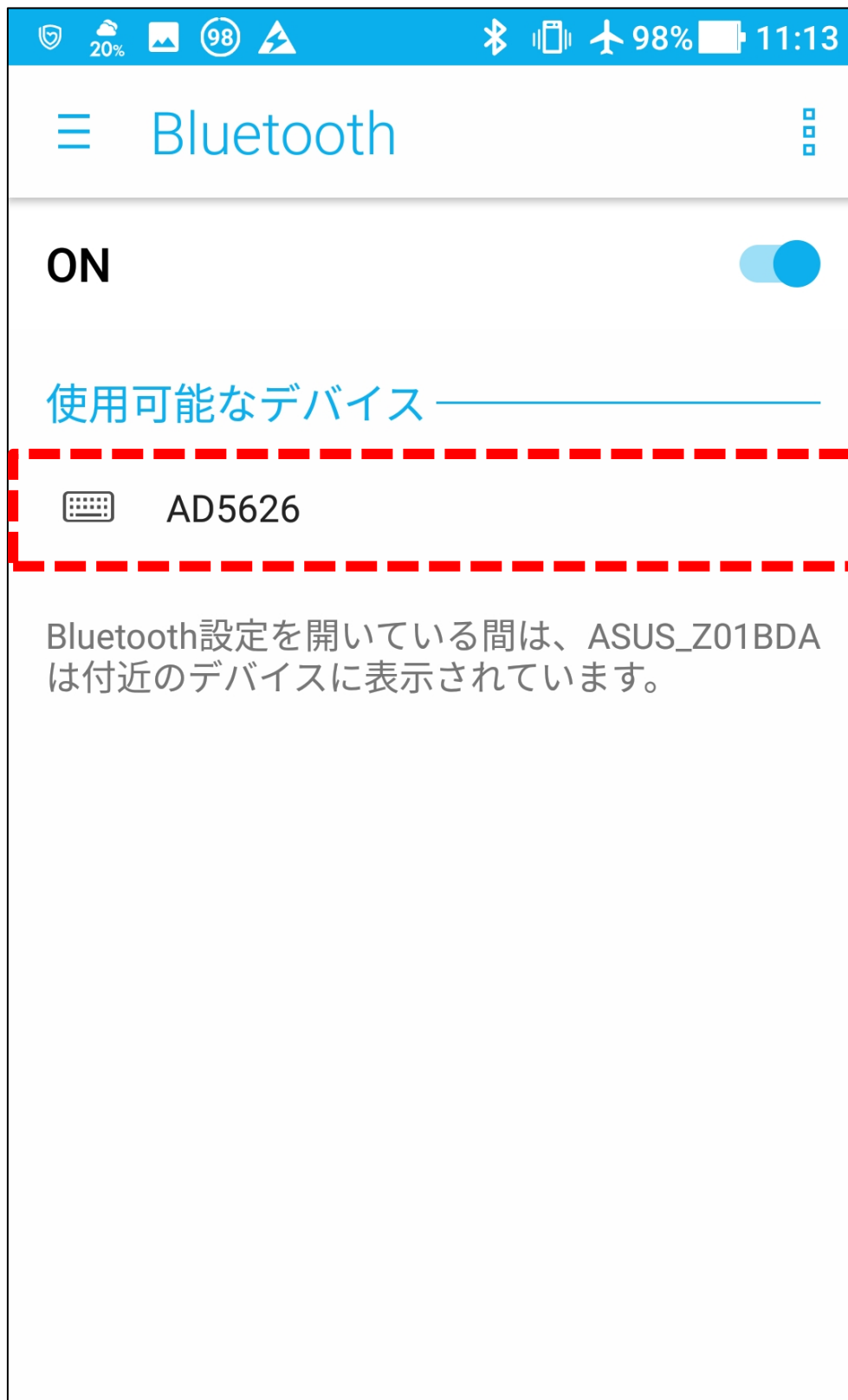


Bluetooth の設定画面が表示されますので、Bluetooth がオンになっていない場合、「Bluetooth」をオンしてください。

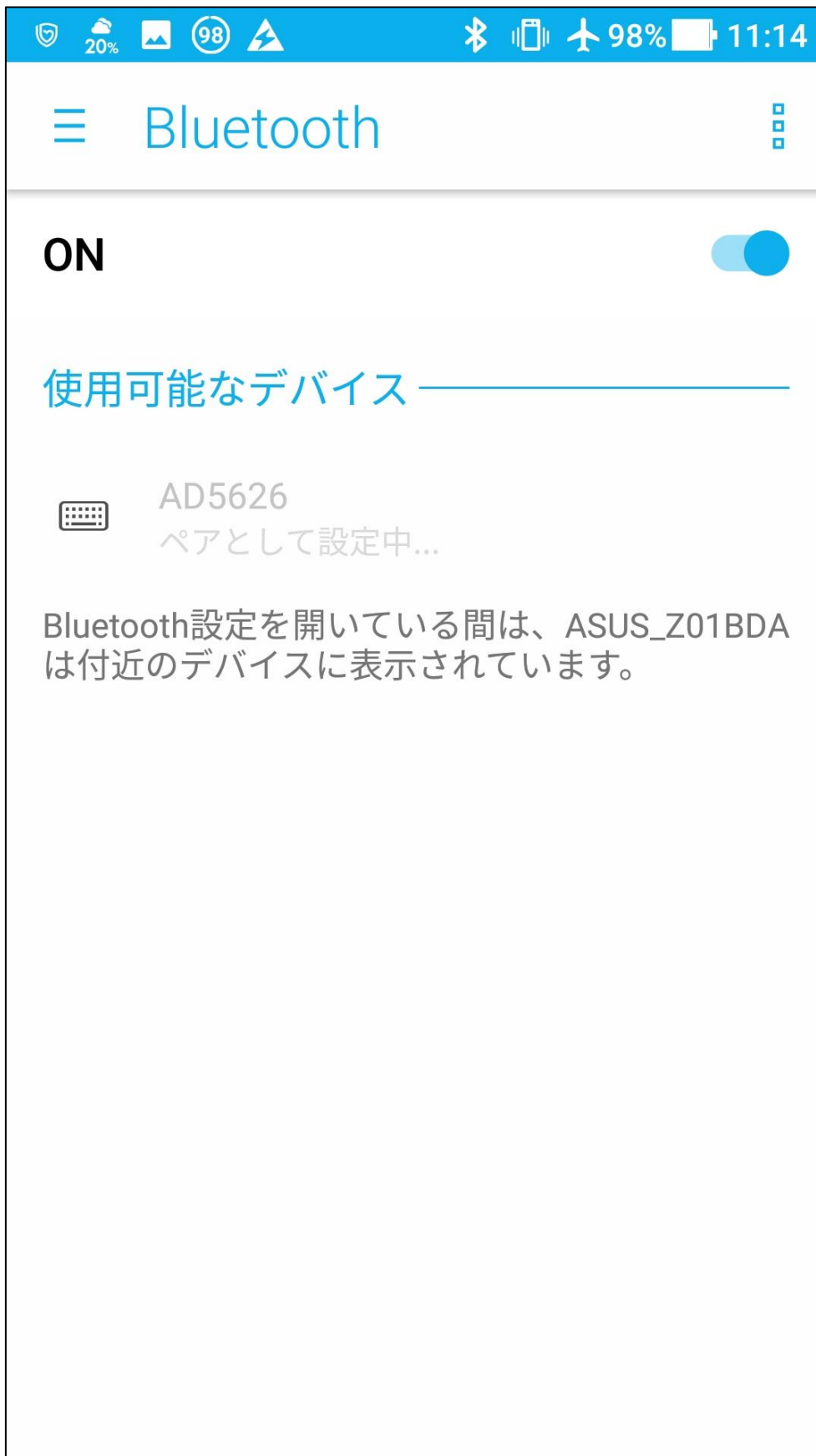


AD-5626 を「[11-3. ワイヤレス通信モードの設定](#)」を参照して、「ペアリング」の設定にしてください。画面に「Pair」と表示されます。

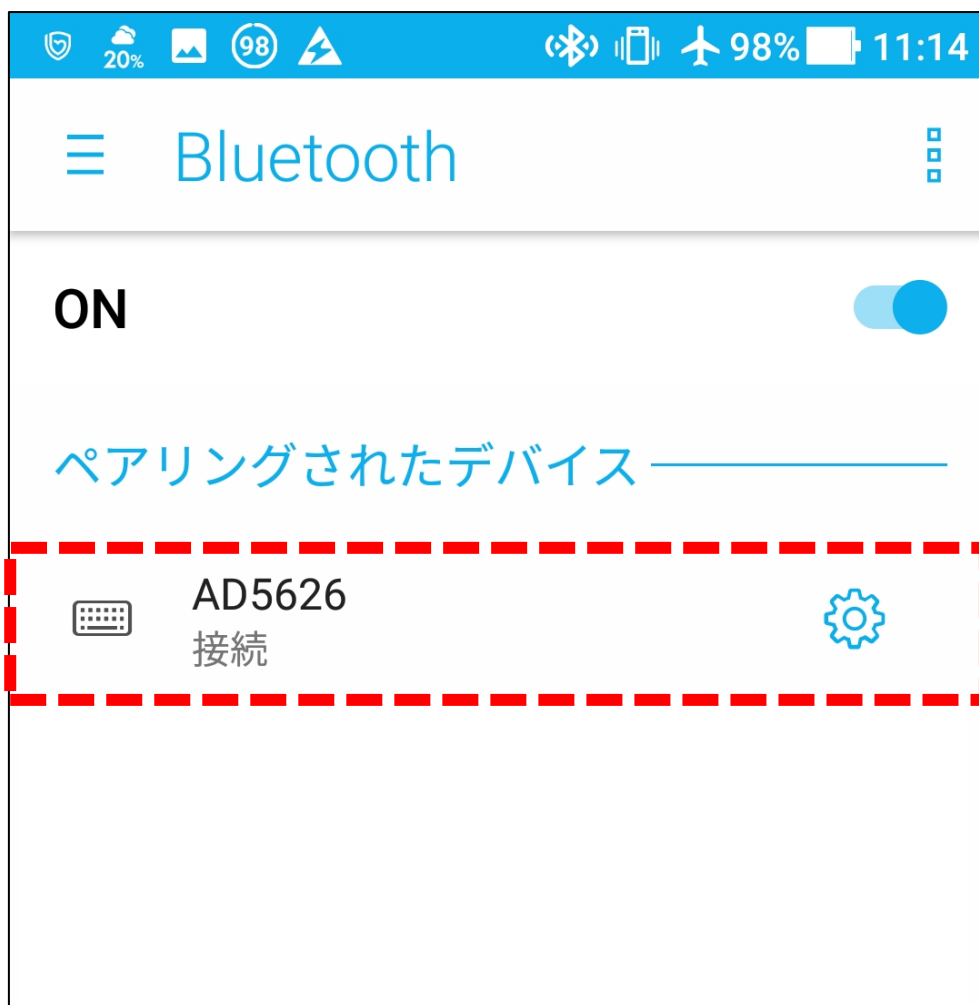
しばらくすると、下の図のように「AD5626」が表示されますので、「AD5626」を選択してください。



「AD5626」を選択すると接続試行します。しばらくそのままお待ちください。



ペアリングに成功すると「接続」と表示されます。



以上でペアリングの設定は終了です。

AD-5626 で、「[11-3. ワイヤレス通信モードの設定](#)」のキーボードの言語設定以降の内部設定をしてください。

13-5. Mac OS の設定

「システム環境設定」のアイコンをタップしてください



システム環境設定が表示されますので、「Bluetooth」を選択してください。

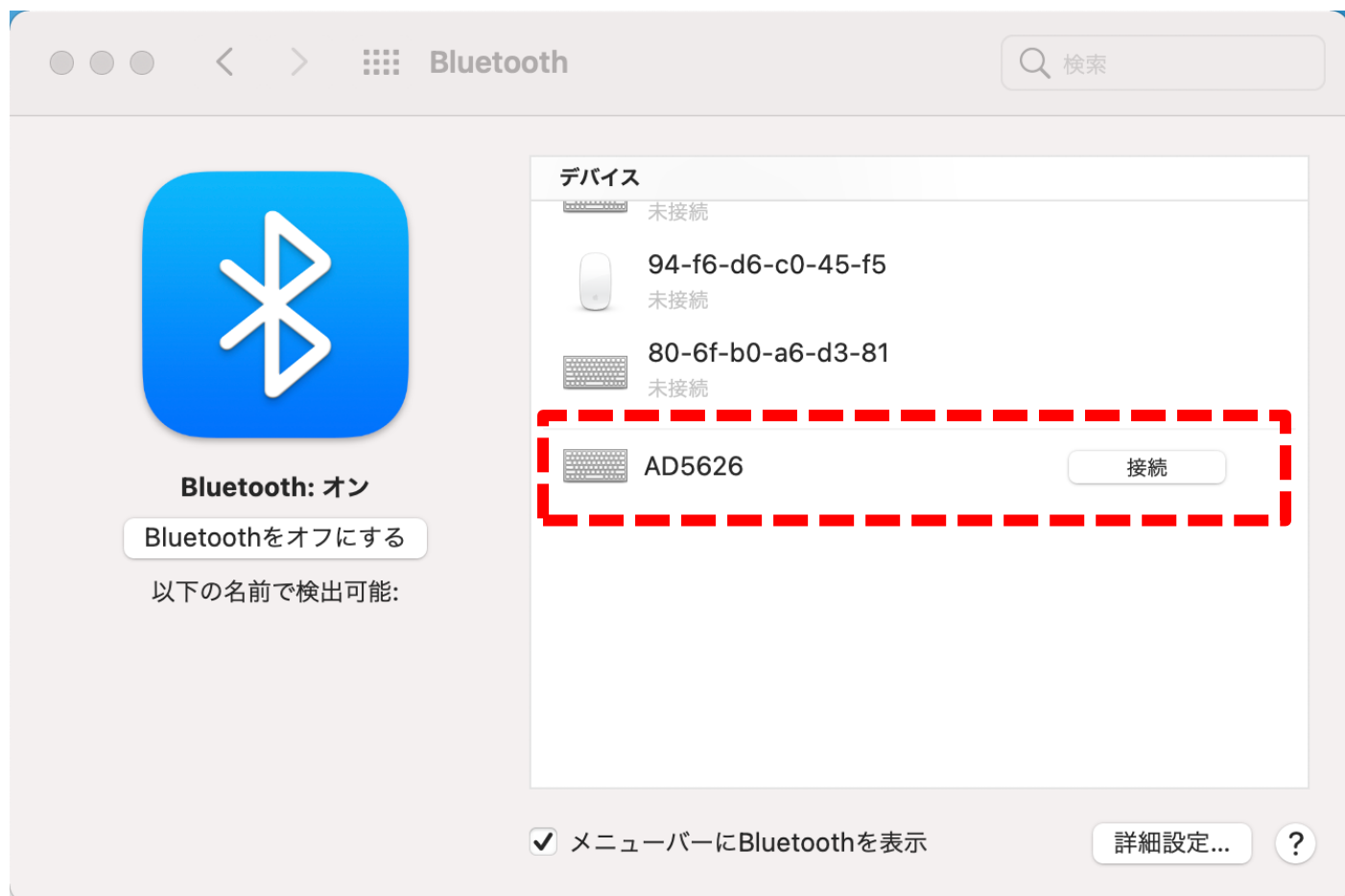


Bluetooth の設定画面が表示されますので、Bluetooth がオンになっていない場合、「Bluetooth」をオンしてください。



AD-5626 を「[11-3. ワイヤレス通信モードの設定](#)」を参照して、「ペアリング」の設定にしてください。画面に「PARlr」と表示されます。

しばらくすると、下の図のように「AD5626」が表示されますので、「AD5626」の「接続」を選択してください。



「AD5626」を選択すると接続試行します。しばらくそのままお待ちください。

ペアリングに成功すると「接続済み」と表示されます。



以上でペアリングの設定は終了です。

AD-5626 で、「[11-3. ワイヤレス通信モードの設定](#)」のキーボードの言語設定以降の内部設定をしてください。

13-6. ワイヤレス通信でデータ記録する

Microsoft Excel を起動します。

カーソルをデータ入力を行うセルに合わせます。

AD-5626 に Bluetooth マークが点灯していることを確認してください。

データ記録を開始すると、下図のように測定データを自動で入力します。

下図は送信データの内容を「4」に設定した時の例です。

The screenshot shows the Microsoft Excel interface with the following data table:

| | A | B | C | D | E | F |
|---|-----------|----------|---|------|---|---|
| 1 | 2021/3/31 | 10:57:27 | 3 | 26 | | |
| 2 | 2021/3/31 | 10:57:37 | 3 | 26.2 | | |
| 3 | 2021/3/31 | 10:57:47 | 3 | 26.2 | | |
| 4 | 2021/3/31 | 10:57:57 | 3 | 26.2 | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |
| ~ | | | | | | |

Red arrows point to the data in row 4, which is highlighted. Labels below the arrows identify the data as:

- 年月日 (Date)
- 時間 (Time)
- ID 番号 (ID Number)
- 温度 (Temperature)

14. 専用アプリ Probe Log について

Probe Log は、製品の設定、記録データをスマートフォンやタブレットに転送する専用アプリケーションです。

アプリをご使用になる前に、必ず製品情報ページに記載された「[利用規約](#)」をお読みください。(アプリの「情報」欄からもご覧になれます。)

14-1. アプリの対応 OS

アプリの対応 OS : iOS 11.0 以降または Android OS 6.0 以降

⚠ 注意

- ・ OS のバージョンや機種により、アイコンや表示画面が本取扱説明書と異なる場合があります。

14-2. アプリのインストール

お使いになる端末(iPhone、iPad、iPod Touch、Android)で、App Store または Google Play から「Probe Log」を検索し、端末にアプリをインストールしてください。(製品情報ページからもダウンロードできます。)



14-3. 端末の設定

アプリを起動する前に、端末の Bluetooth 機能を ON にしてください。

設定方法は、端末の取扱説明書をご参照ください。

端末の年月日時刻が正しい事を確認してください。本製品のデータ記録時の年月日時刻は、設定した端末の情報が使用されます。

14-4. アプリの起動

アプリを起動すると、初回起動時に以下の画面のような Bluetooth の使用許可を求める画面が出ることがあります。画面が表示されたら、「OK」をタップしてください。表示されない場合は、次のページにお進みください。

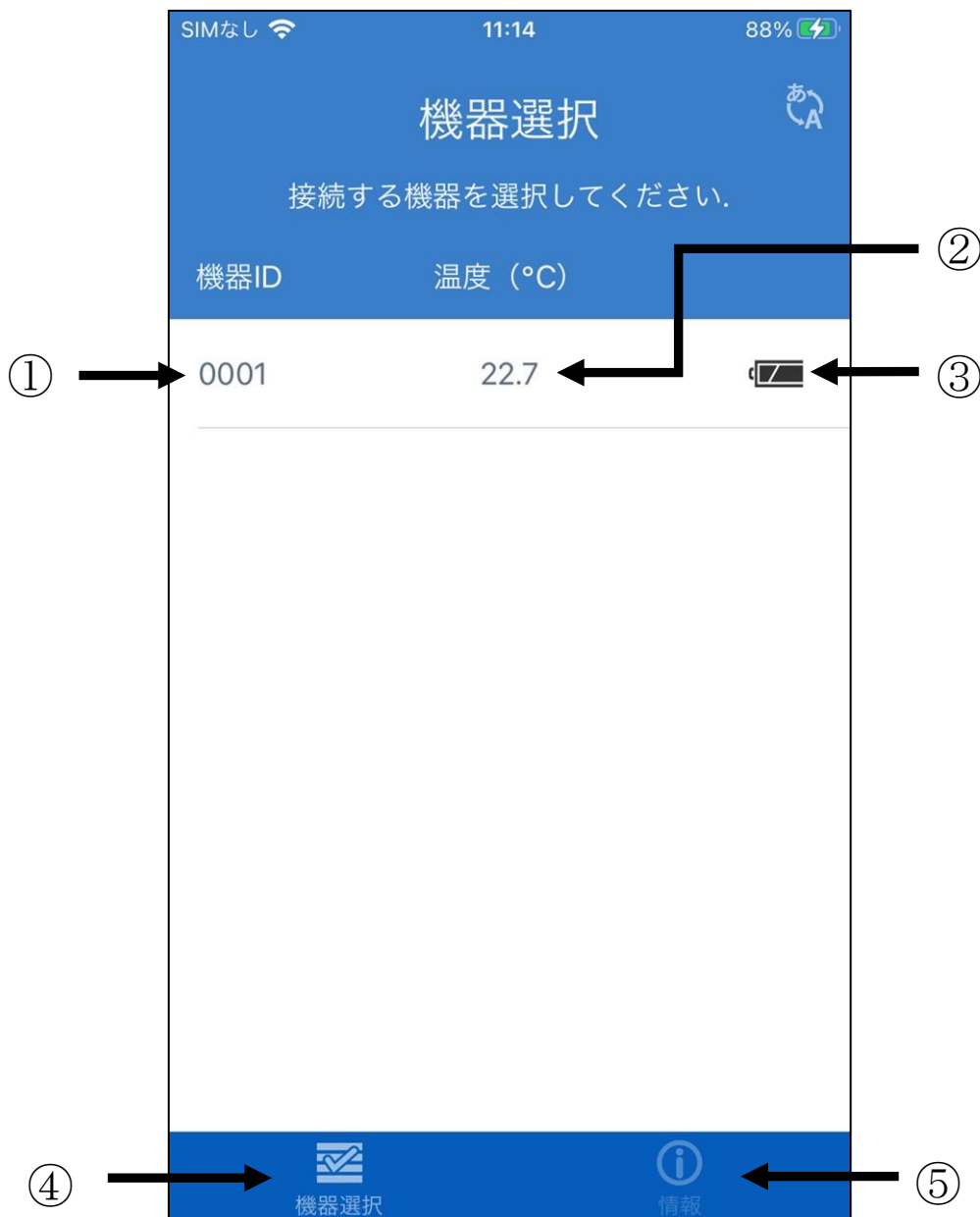


アプリを起動すると、以下の画面が表示されます。



近くに電源の入っている AD-5626 があれば、そのシリアル番号と測定値が表示されます。(複数台接続できます。10 台までの接続確認済)

1 台接続時の表示例



- ①機器名称を表示。機器名称を設定していない場合、機器番号が表示される。
- ②現在の温度測定値
- ③本体の電池残量
- ④機器選択の画面を表示
- ⑤情報画面の表示

複数台接続時の表示例



The screenshot shows an iPhone app interface with a blue header and a white list. The header contains the title '機器選択' (Device Selection) and a refresh icon. Below the header is the instruction '接続する機器を選択してください。' (Please select the device to connect to.). The list has two columns: '機器ID' (Device ID) and '温度 (°C)' (Temperature (°C)). Each row also includes a battery icon. The bottom of the screen has a blue bar with two icons: a checkmark and an information icon, labeled '機器選択' and '情報' (Information) respectively.

| 機器ID | 温度 (°C) | 電池 |
|------|---------|----|
| 0007 | 24.4 | 電池 |
| 0004 | 25.6 | 電池 |
| 9990 | 24.0 | 電池 |
| 0009 | 24.2 | 電池 |
| 0010 | 24.2 | 電池 |
| 0008 | 24.5 | 電池 |
| 0006 | 25.2 | 電池 |
| 0000 | 24.0 | 電池 |

iPhone 8 に複数台の AD-5626 を接続した場合の表示例です。
1 画面に 7 台分が同時に表示されます。8 台目以降は、画面を上
にスワイプすると表示することができます。
(画面サイズによっては、1 画面に表示される数が変わる場合が
あります。)

近くに電源の入っている AD-5626 がなかったり、「[ワイヤレス通信モード\(5-2.ワイヤレス通信モード参照\)](#)」でペアリングしていたり、通信が不安定だったりすると、機器が見つかりませんと表示されます。



画面を下にスワイプすると iOS の場合、「プルダウンで再検索します」と表示され、手を離すと再度検索が始まり、Android の場合、「🔄」マークが表示され、手を離すと再度検索が始まります。

iOS の場合



Android の場合



⚠ 注意

ペアリングができない場合は以下の事をお試しく下さい。

- AD-5626 の設定が「[ワイヤレス通信モード\(5-2.ワイヤレス通信モード参照\)](#)」になっている場合、「[11-1.データ記録モードの設定](#)」を参照して、「ログモード」に設定を変更してください。
- 端末に別の Bluetooth 機器が接続されている場合は、その機器の電源をオフします。
- アプリを終了し、端末の Bluetooth 機能を ON→OFF→ON にしてからアプリを起動する。
- 端末を再起動する。
- 本製品の電池を外して、30 秒程度経ってから電池を入れる。
- 近くに電波を発する機器があり、干渉している恐れがあります。場所を変えてお試しく下さい。
- 本製品を複数台使用されている場合は、ペアリングする製品以外の電源を OFF にするか、電波の届かない別の場所に移動してお試しく下さい。
- 上記で改善しない場合は、端末のメーカーに問い合わせるか、別の端末をお使いください。
- 起動画面が表示された場合も、設定やデータ読み出し時等に、通信が途切れたり遅くなったりする場合があります。そのような場合は、上記の事をお試しく下さい。

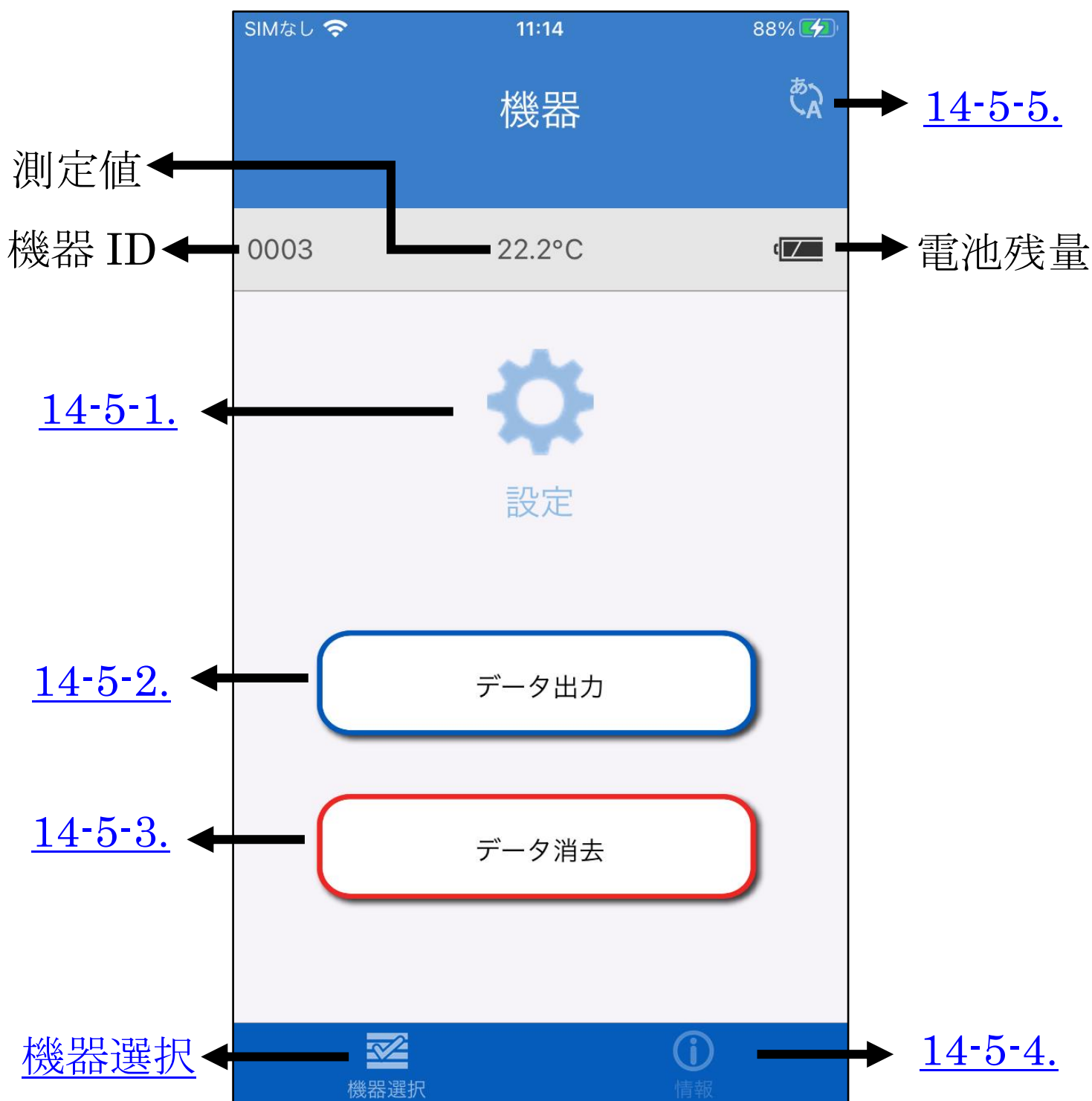
14-5. 操作メニュー

本体の設定、記録データの読み出し、記録データの消去、機器番号／機器名称／パスワードの設定を行います。

呼び出したい機器のシリアル番号が表示されたエリアをタップすると、その機器のメインメニューが表示されます。



設定メニュー



左上のをタップすると前の表示に戻ります。

14-5-1.等は、対応する機能の説明が記載された章番号です。

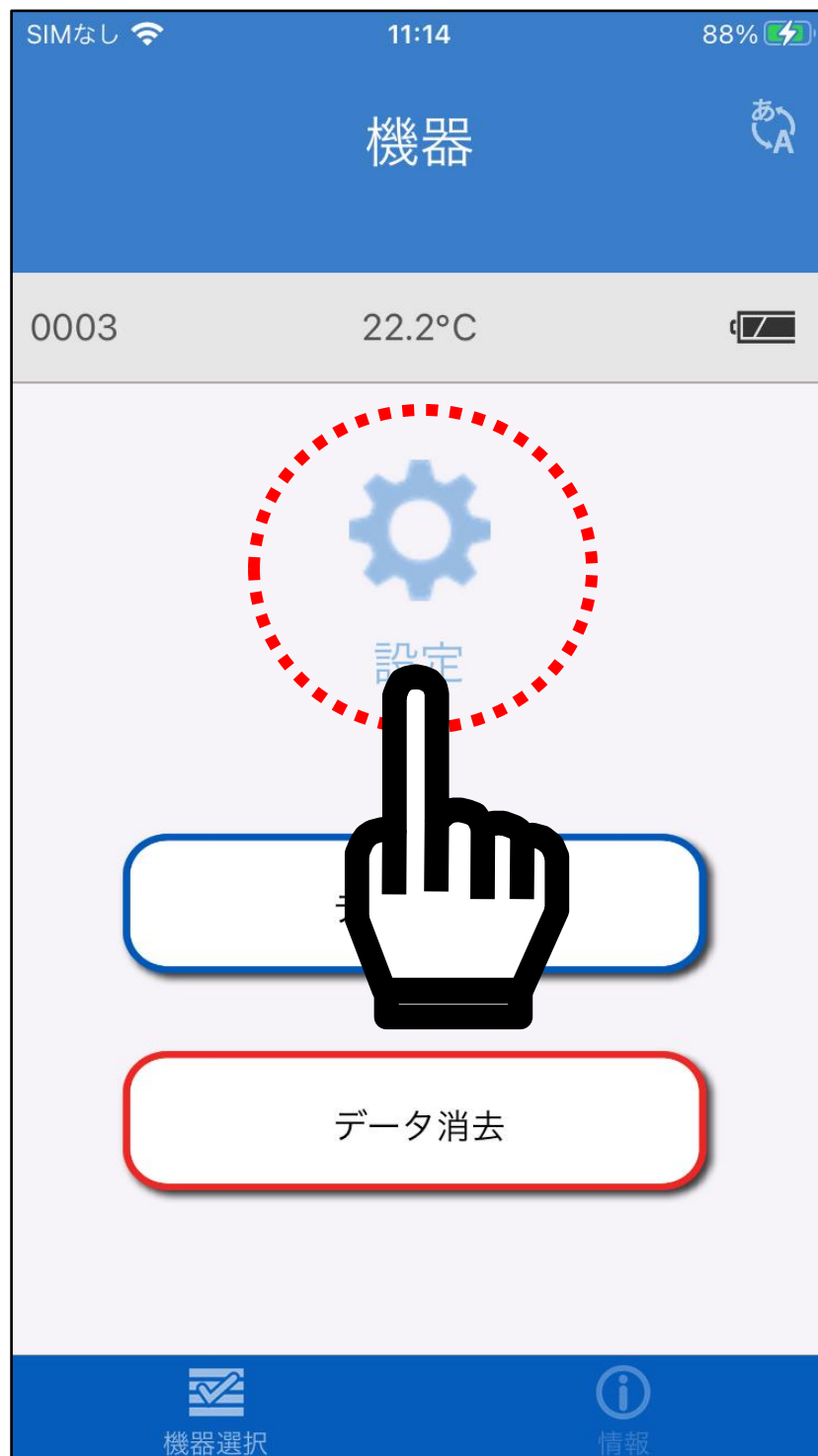
タップするとその章番号へジャンプします。

注：Bluetooth の通信の接続環境が悪化すると、自動で「[機器選択](#)」の画面に戻ることがあります。この場合、設定は保存されていないので、再度設定を行ってください。

14-5-1. データロガーの設定

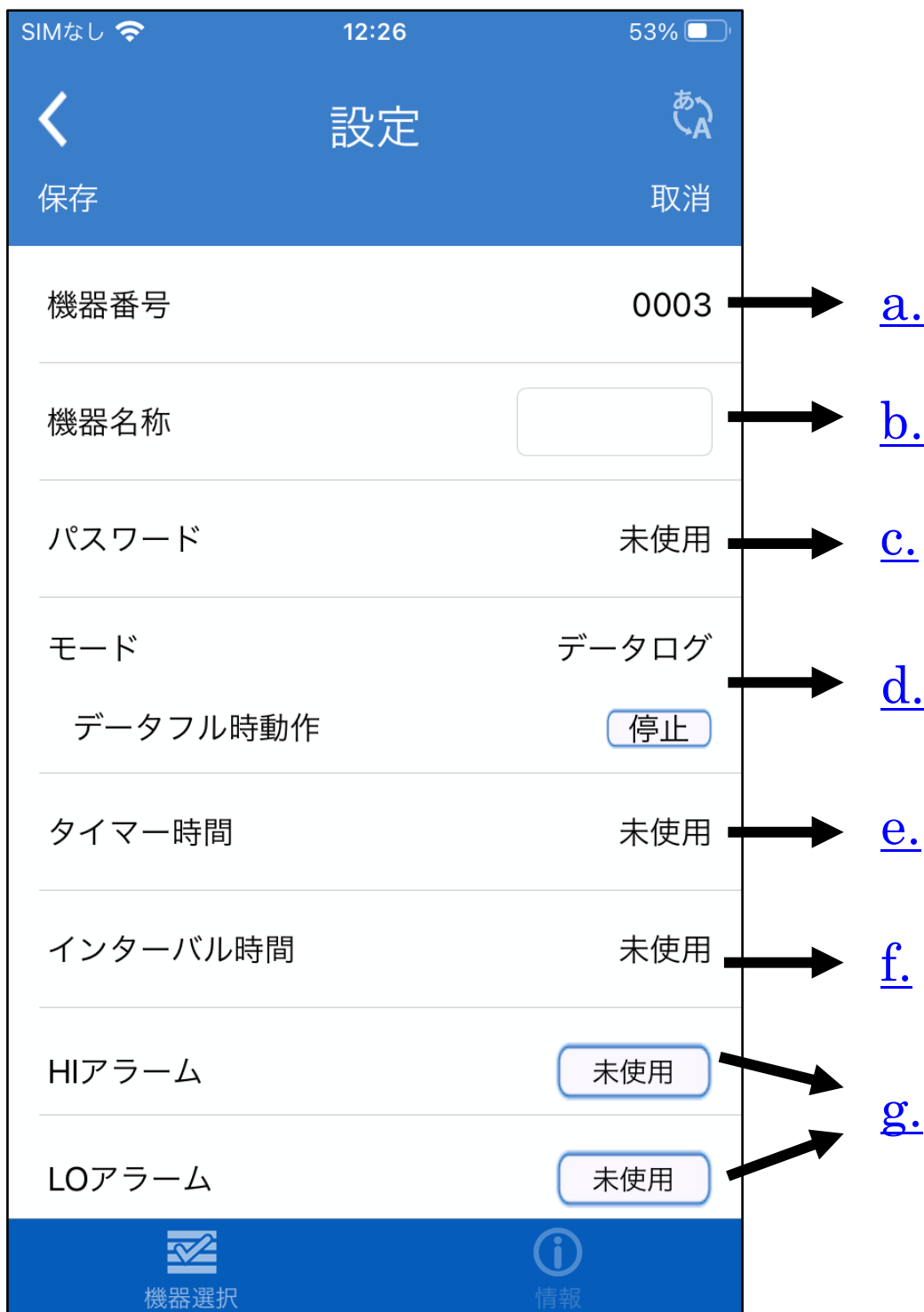
「設定」をタップすると、設定メニューが表示されます。
データロガーの設定は、必ずデータログがストップしている状態で行ってください。

データログ中は、設定の保存ができません。



[メインメニューに戻る](#)

データロガーの設定メニュー



設定メニューの各項目をタップして、各設定を行います。
設定が終了したら、左上の「保存」をタップしてください。
また、AD-5626 の年月日の時刻データは、「保存」をタップした時に端末の現在時刻に更新されます。

「保存」をタップしないと、設定データが更新されません。

注：Bluetooth の通信の接続環境が悪くなると、自動で「[接続機器](#)」の画面に戻ることがあります。この場合、設定は保存されていないので、再度設定を行ってください。

[メインメニューに戻る](#)

a. 機器番号

「機器番号」の部分をクリックします。

機器番号を 0000～9999 の範囲で設定できます。

設定後「完了」をクリックすると、「[データロガーの設定メニュー](#)」に戻ります。

設定しない場合、「取消」をクリックします。



[データロガーの設定メニューに戻る](#)

[メインメニューに戻る](#)

b. 機器名称

「機器名称」の部分をクリックすると、キーボードが表示されます。機器名称を半角英数字 5 桁の範囲で設定できます。設定後「完了」をクリックすると、「[データロガーの設定メニュー](#)」に戻ります。





[データロガーの設定メニューに戻る](#)
[メインメニューに戻る](#)

c. パスワード

「パスワード」の部分をクリックします。

パスワードを 0000～9999 の範囲で設定できます。

パスワード機能を使用するには、取消の下にある「」をクリックして、「」にしてください。



パスワードを 0000～9999 の範囲で設定してください。
設定後「完了」をタップすると、「[データロガーの設定メニュー](#)」
に戻ります。
設定しない場合、「取消」をタップします。



[データロガーの設定メニューに戻る](#)
[メインメニューに戻る](#)

d. モード

データログのデータ記録モードの設定をします。データの記録モードは「データログ」と「何もしない」から選択します。

データ記録モードの説明については、「[11-1.データ記録モードの設定](#)」をご参照ください。

「モード」の部分をクリックします。モードの種類を選択します。



[データロガーの設定メニューに戻る](#)

[メインメニューに戻る](#)

d-1. データログ

AD-5626 の本体内部のメモリーに測定値を記録します。「Probe Log」によって、記録データを取り出すことができます。

「データログ」を選択後、本体内部のメモリーが一杯になった時の動作を選択画面になります。

データが一杯になった時に記録を停止する場合、「停止」を選び、古いデータから上書きをする場合、「上書き」を選択してください。

| データフル時動作 | |
|----------|----------------------------------|
| 停止 | <input checked="" type="radio"/> |
| 上書き | <input type="radio"/> |
| 取消 | |

[データロガーの設定メニューに戻る](#)

[メインメニューに戻る](#)

d-2. 何もしない

AD-5626 の本体内部のメモリーに測定値を記録しません。
タイマー機能、アラーム機能は使用できます。

[データロガーの設定メニューに戻る](#)

[メインメニューに戻る](#)

e. タイマー時間



AD-5626にはタイマー機能があります。

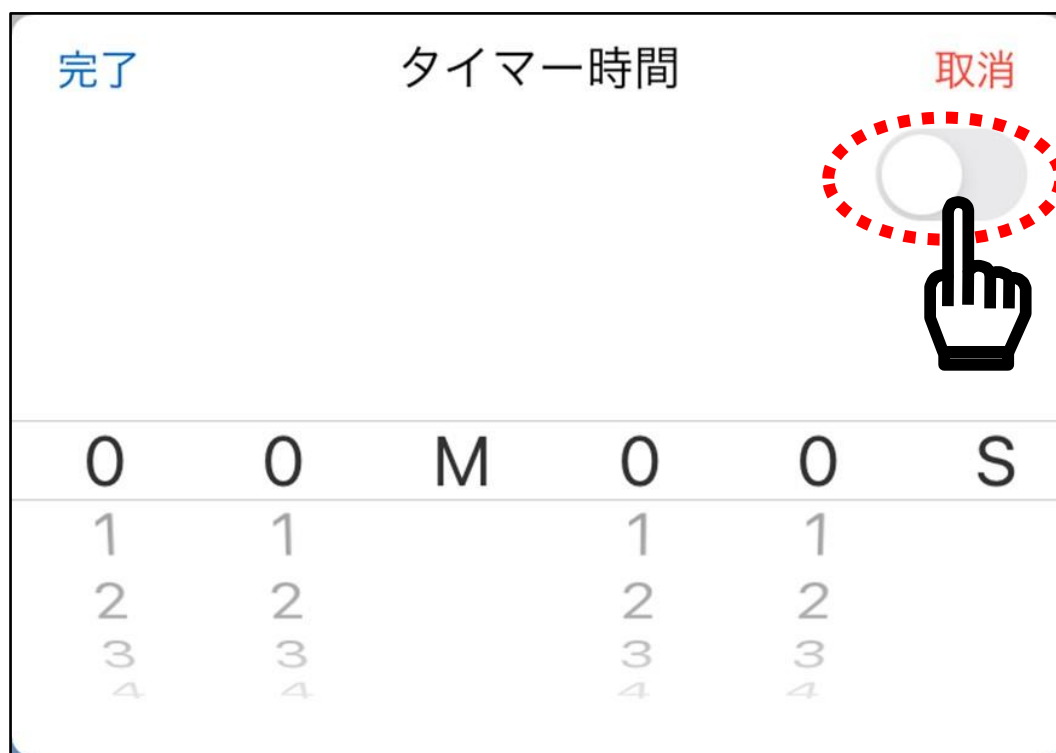
記録したい時間を設定して、データ記録を開始すると、カウントアップ表示になり、タイマーで設定した時間まで記録をして、設定した時間を過ぎると自動で記録を停止します。

詳しくは、「[15.便利な使用方法](#)」を参照してください。

「タイマー時間」の部分をクリックします。

タイマーは、0秒～99分59秒の間で設定できます。

タイマー機能を使用するには、取消の下にある「」をクリックして、「」にしてください。



タイマーを0秒～99分59秒の範囲で設定してください。
設定後「完了」をタップすると、「[データロガーの設定メニュー](#)」
に戻ります。

設定しない場合、「取消」をタップします。



[データロガーの設定メニューに戻る](#)

[メインメニューに戻る](#)

f. インターバル時間



AD-5626 にはインターバル機能があります。

記録したい間隔で時間を設定して、データ記録を開始すると、設定した間隔で温度測定データを本体内部メモリーに記録をします。また、設定時間を 0 秒に設定すると、**DATA** ボタンを押す度にデータを記録します。

詳しくは、「[15.便利な使用方法](#)」を参照してください。

「インターバル時間」の部分をクリックします。

インターバル時間は、0 秒～99 分 59 秒の間で設定できます。

インターバル機能を使用するには、取消の下にある「」をクリックして、「」にしてください。



インターバル時間を0秒～99分59秒の範囲で設定してください。
設定後「完了」をタップすると、「[データロガーの設定メニュー](#)」
に戻ります。

設定しない場合、「取消」をタップします。



[データロガーの設定メニューに戻る](#)

[メインメニューに戻る](#)

g. HI/LO アラーム



AD-5626 には、アラーム機能があります。

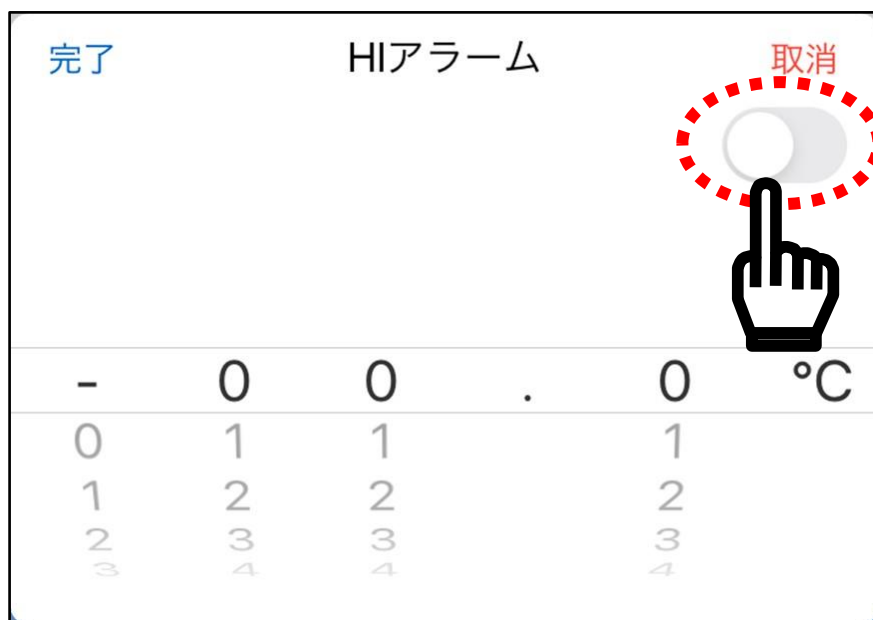
アラーム温度を設定できます。アラーム温度を設定すると、アラーム発生時に LED が 3 秒間隔で点滅します。

また自動タイマー機能をオンにすると、アラーム発生時に自動的にタイマーが動作します。アラームが止まるか設定したタイマー時間が経過した時に自動的に停止します。**DATA** ボタンで停止することもできます。

詳しくは、「[15.便利な使用方法](#)」を参照してください。

「HI アラーム」または「LO アラーム」の部分をクリックします。アラーム温度は -40.0°C ～ 260.0°C の範囲で設定できます。但し、HI アラームと LO アラームの温度差が 5.0°C 以上必要です。温度差が 5.0°C 以上ない場合、自動で温度差が 5.0°C になるように、調整されます。

アラーム機能を使用するには、取消の下にある「」をクリックして、「」にしてください。

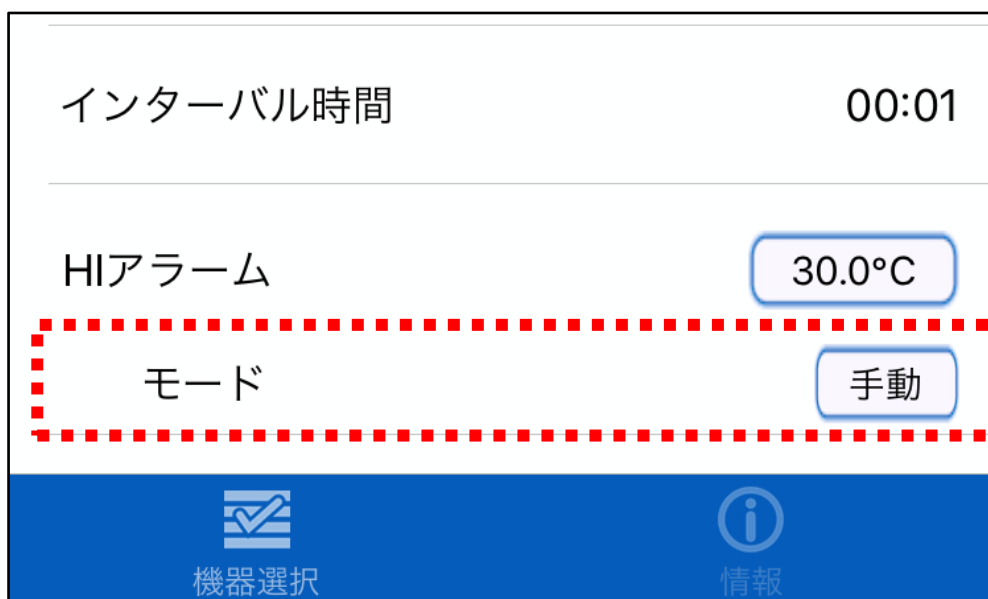


アラーム温度は-40.0°C~260.0°Cの範囲で設定してください。
設定後「完了」をタップすると、「[データロガーの設定メニュー](#)」
に戻ります。

設定しない場合、「取消」をタップします。

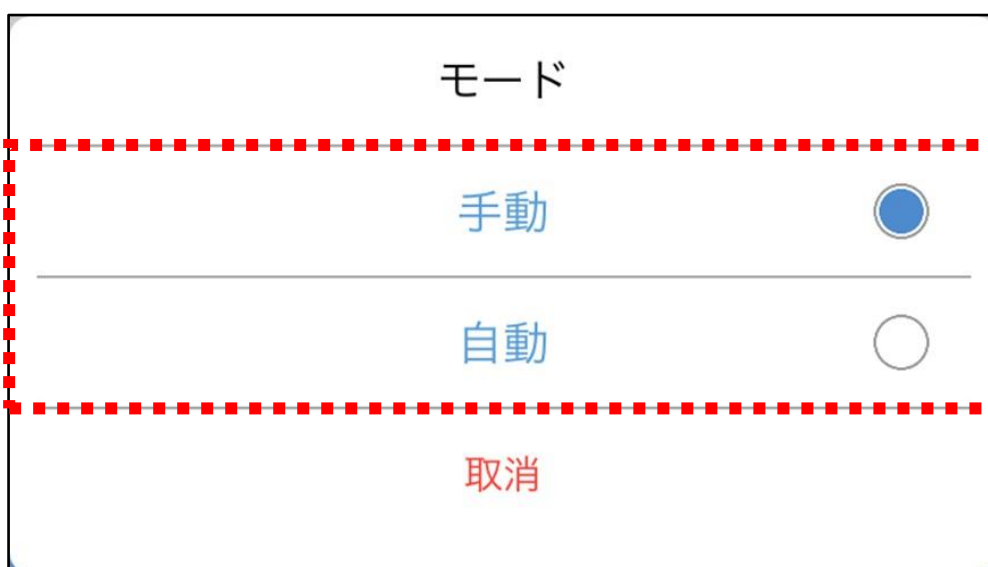


アラーム温度を設定すると、アラームの自動記録設定が設定できるようになり、アラームの下に「モード」が表示されます。

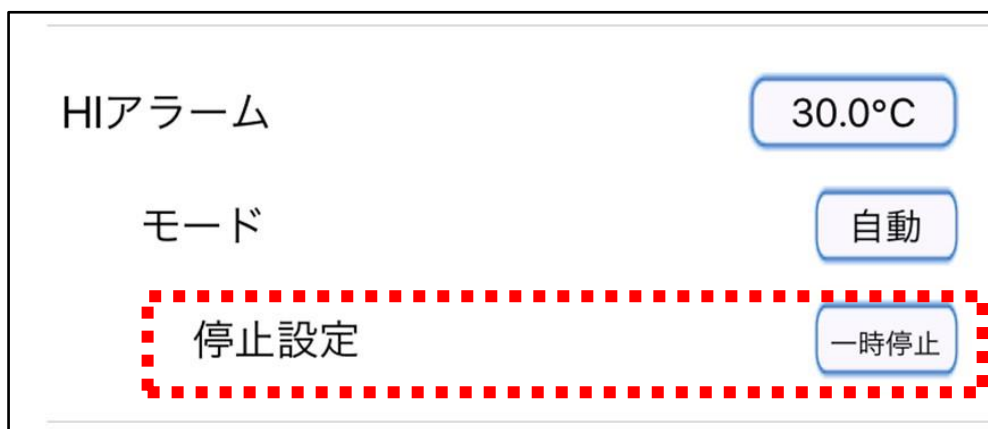


「モード」をタップすると、「手動」と「自動」を選択できます。アラーム発生時に自動で記録を開始したい場合、「自動」を選択し、**DATA** ボタンで記録を開始したい場合、「手動」を選択してください。

変更しない場合、「取消」をタップします。



アラーム発生時に自動で記録に設定すると、アラームの自動記録時の停止条件が設定できるようになり、モードの下に「停止設定」が表示されます。



「停止設定」をタップすると、「停止」と「一時停止」を選択できます。

アラーム発生温度を下回った時に自動で記録を停止したい場合、「停止」を選択し、アラーム発生温度を下回った時に自動で記録を一時停止して、再度アラーム温度を超えた時に再度自動で記録を開始したい場合、「一時停止」を選択してください。変更しない場合、「取消」をタップします。

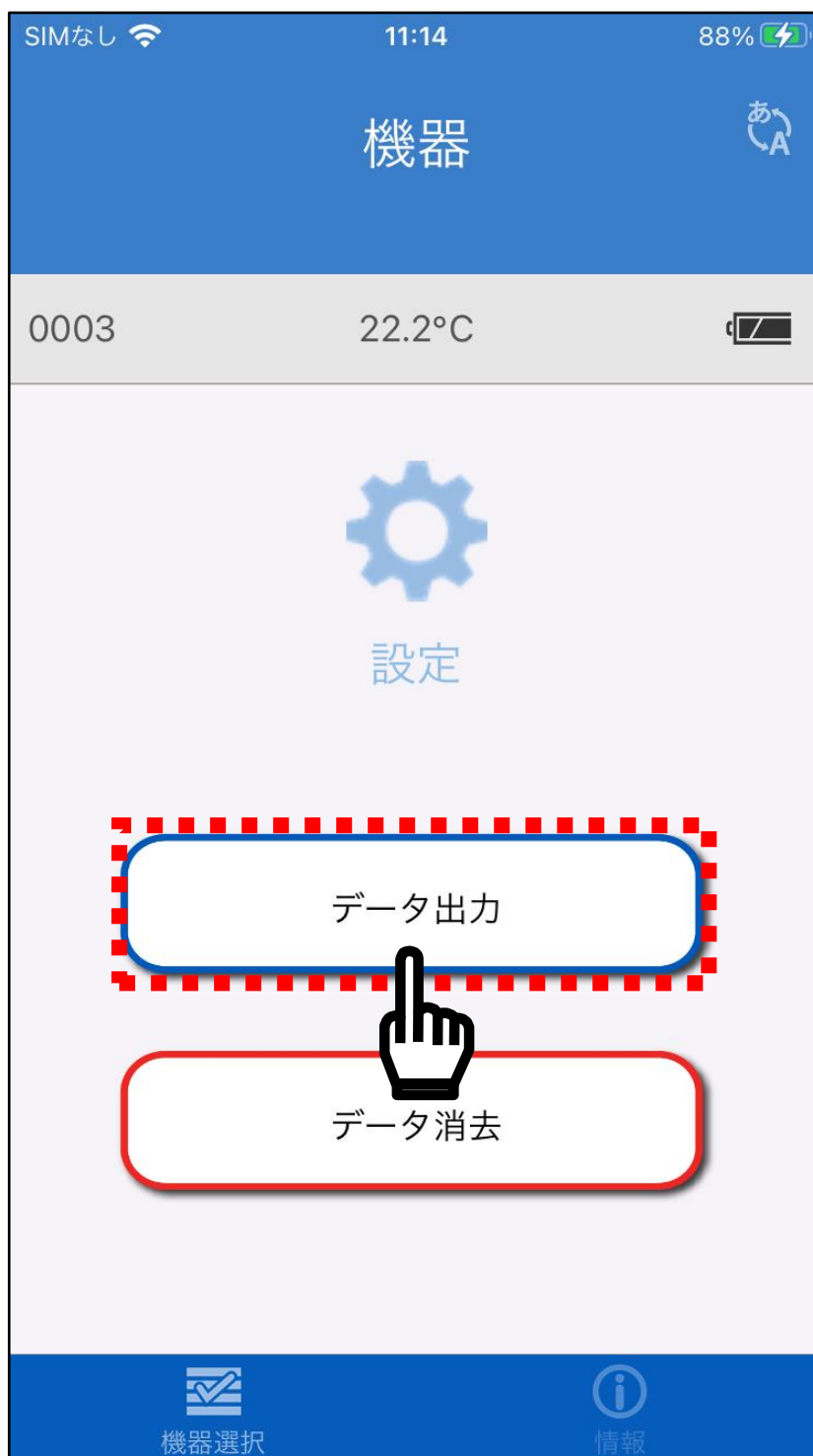


[データロガーの設定メニューに戻る](#)
[メインメニューに戻る](#)

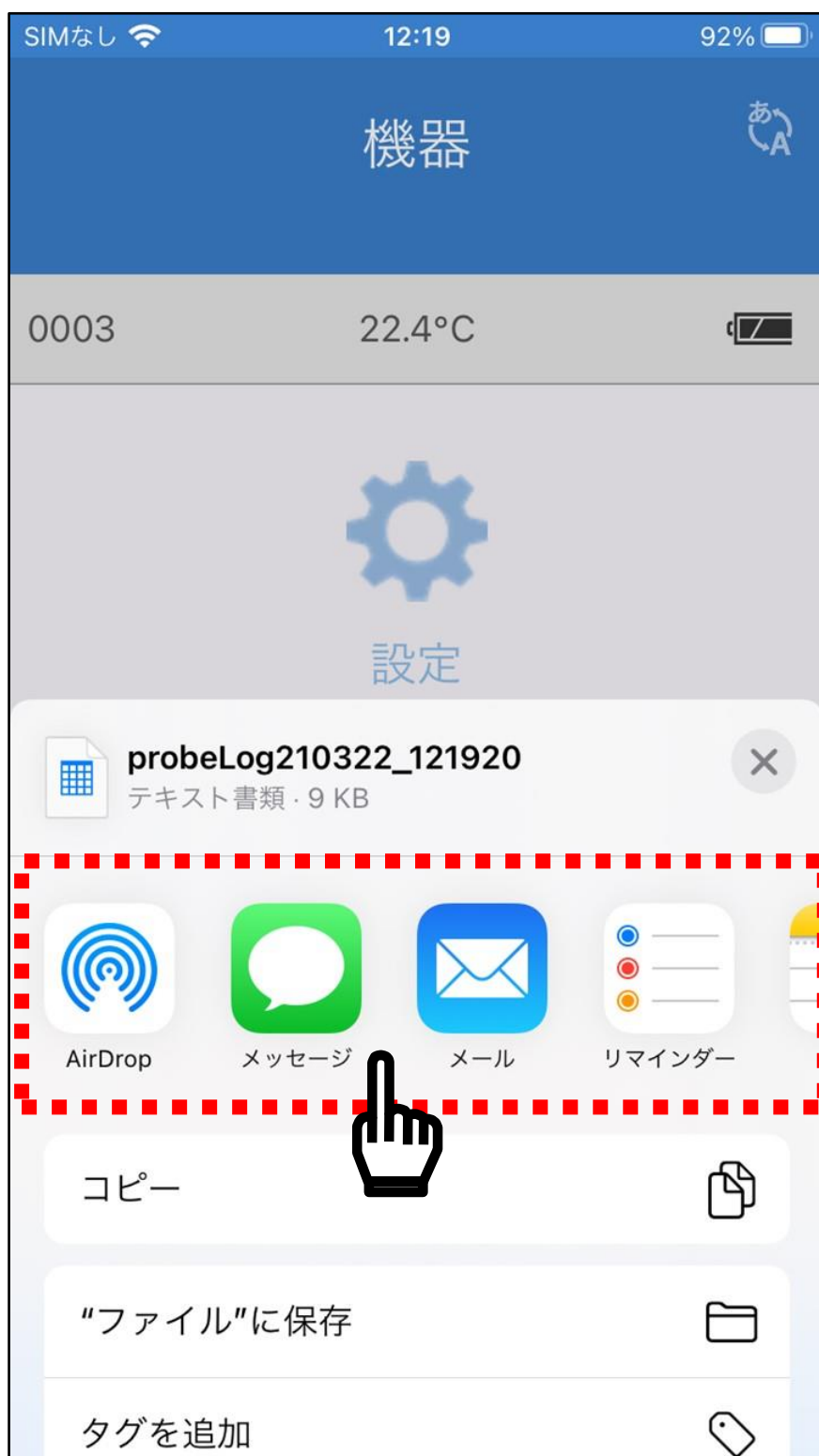
14-5-2. データの出力

データの出力機能があります。データの記録中はデータ出力ができませんので、データ記録の停止してから操作を行ってください。

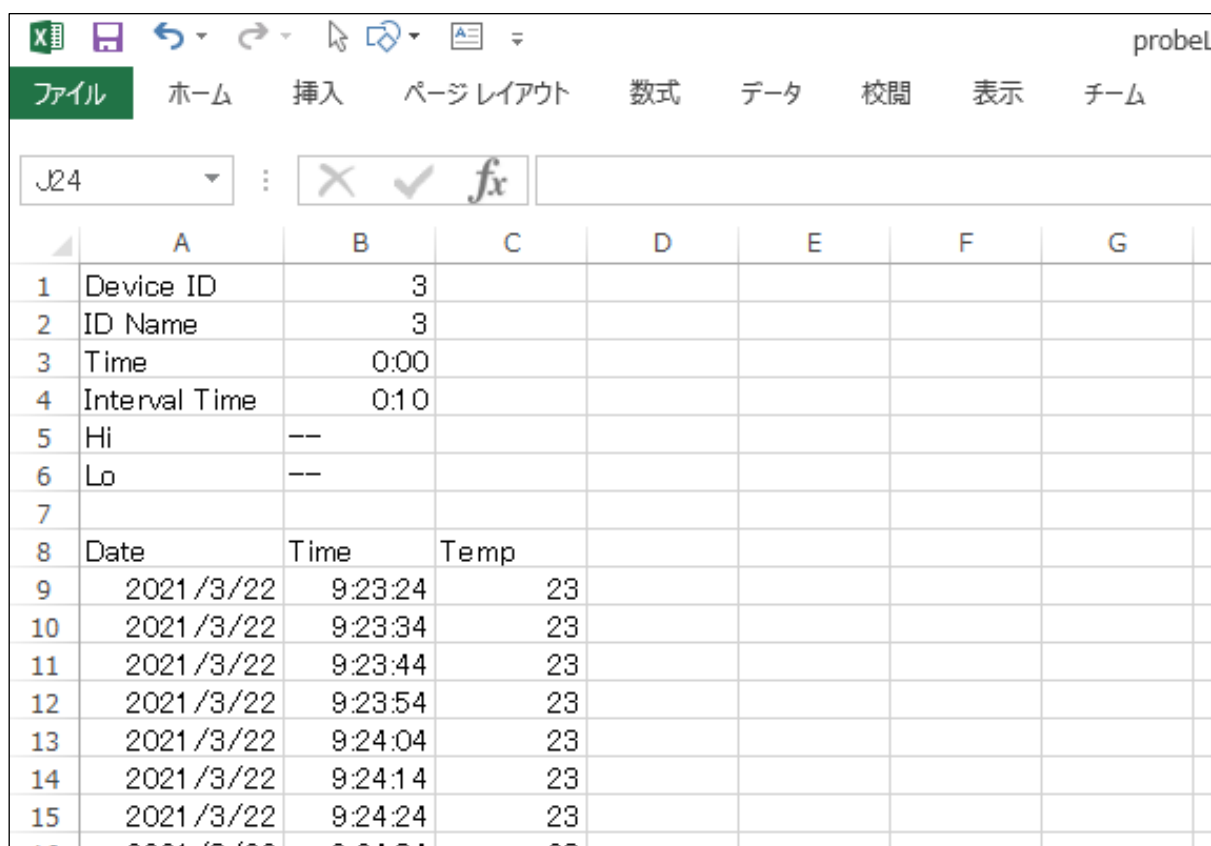
「データ出力」をタップすると、AD-5626 の液晶表示が「5End」と表示され記録したデータが送信されます。送信データが多い場合、送信に数分かかる場合があります。



送信が完了すると、保存方法の選択が画面に表示され、スマホ本体に保存や、クラウド保存、メールで送信などがあります。使用する送信方法を選択してください。



パソコンに記録データを送信して、Excel でファイルを開くと以下ようになります。



| | A | B | C | D | E | F | G |
|----|---------------|---------|------|---|---|---|---|
| 1 | Device ID | 3 | | | | | |
| 2 | ID Name | 3 | | | | | |
| 3 | Time | 0:00 | | | | | |
| 4 | Interval Time | 0:10 | | | | | |
| 5 | Hi | -- | | | | | |
| 6 | Lo | -- | | | | | |
| 7 | | | | | | | |
| 8 | Date | Time | Temp | | | | |
| 9 | 2021/3/22 | 9:23:24 | 23 | | | | |
| 10 | 2021/3/22 | 9:23:34 | 23 | | | | |
| 11 | 2021/3/22 | 9:23:44 | 23 | | | | |
| 12 | 2021/3/22 | 9:23:54 | 23 | | | | |
| 13 | 2021/3/22 | 9:24:04 | 23 | | | | |
| 14 | 2021/3/22 | 9:24:14 | 23 | | | | |
| 15 | 2021/3/22 | 9:24:24 | 23 | | | | |

[データロガーの設定メニューに戻る](#)

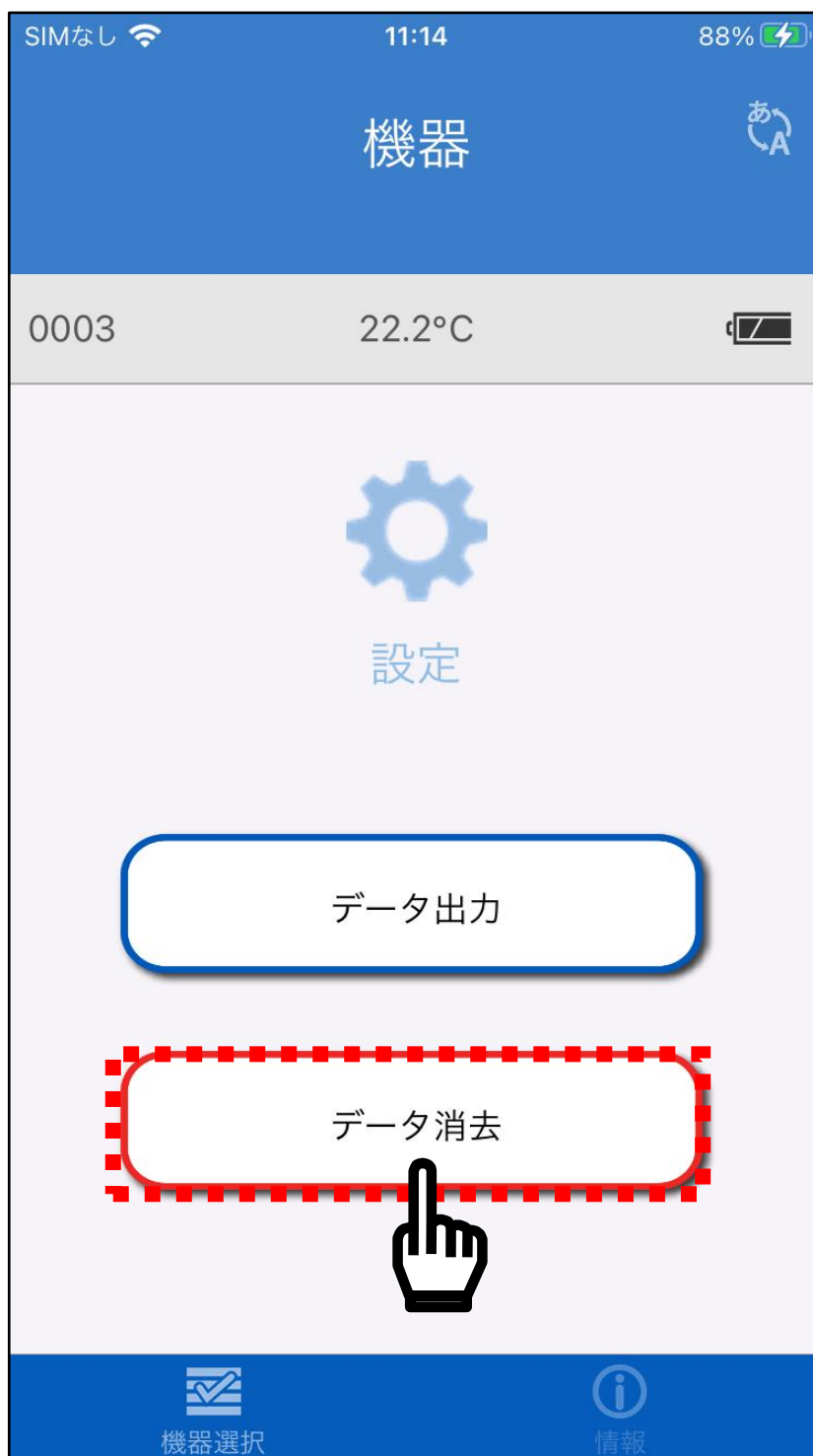
[メインメニューに戻る](#)

14-5-3. データ消去

ログモードで本体内部のメモリーに記録した測定値を消去します。

本体内部のメモリーは、このデータ消去の操作を行わない限りデータが保存されています。

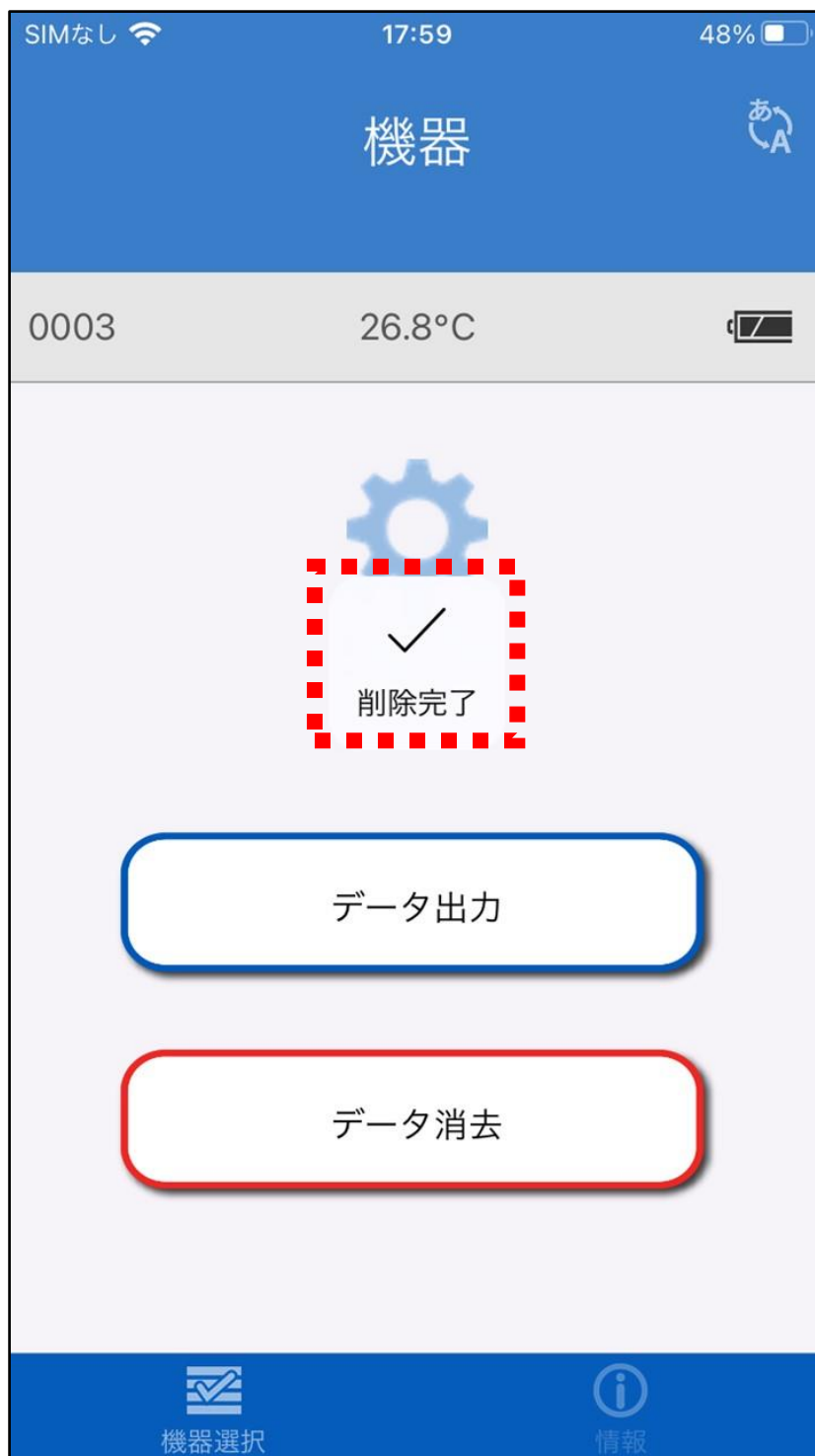
「データ消去」をタップすると、消去の確認画面が表示されます。



消去の確認画面で、「はい」を選択してください。なお、一度消去してしまいますと、データの復元はできませんので注意してください。



データの消去が完了すると、「削除完了」と表示され、本体内部のメモリーの保存データ消去が完了します。消去のデータが多い場合、本体の液晶表示に「busy」と表示されます。



[データロガーの設定メニューに戻る](#)

[メインメニューに戻る](#)

14-5-4. 情報

アプリの下部の「情報」をタップすると、「アプリ名」「バージョン」および「AD-5626 の製品ページ」「取扱説明書」「利用規約」「A&D ホームページ」へのリンクが表示されます。



[データロガーの設定メニューに戻る](#)

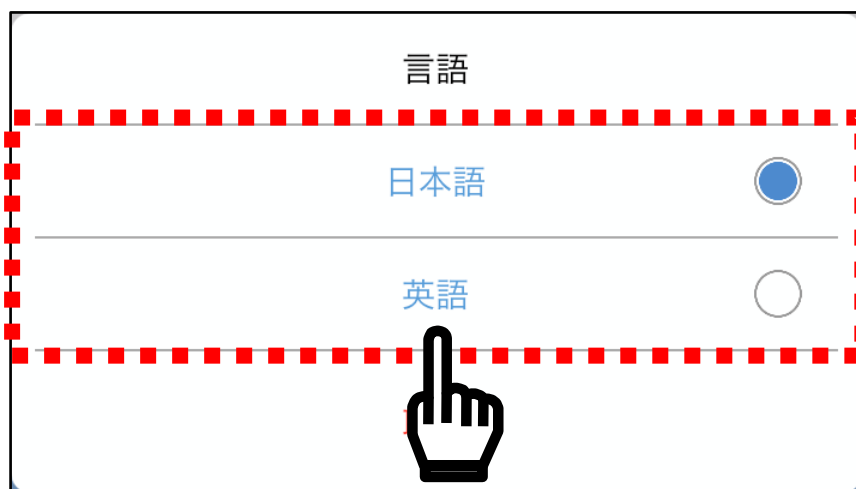
[メインメニューに戻る](#)

14-5-5. 言語切り替え

アプリ右上の「あA」マークをタップすると、日本語と英語の言語切り替えができます。



「日本語」か「英語」のどちらかを選んでください。



[データロガーの設定メニューに戻る](#)

[メインメニューに戻る](#)

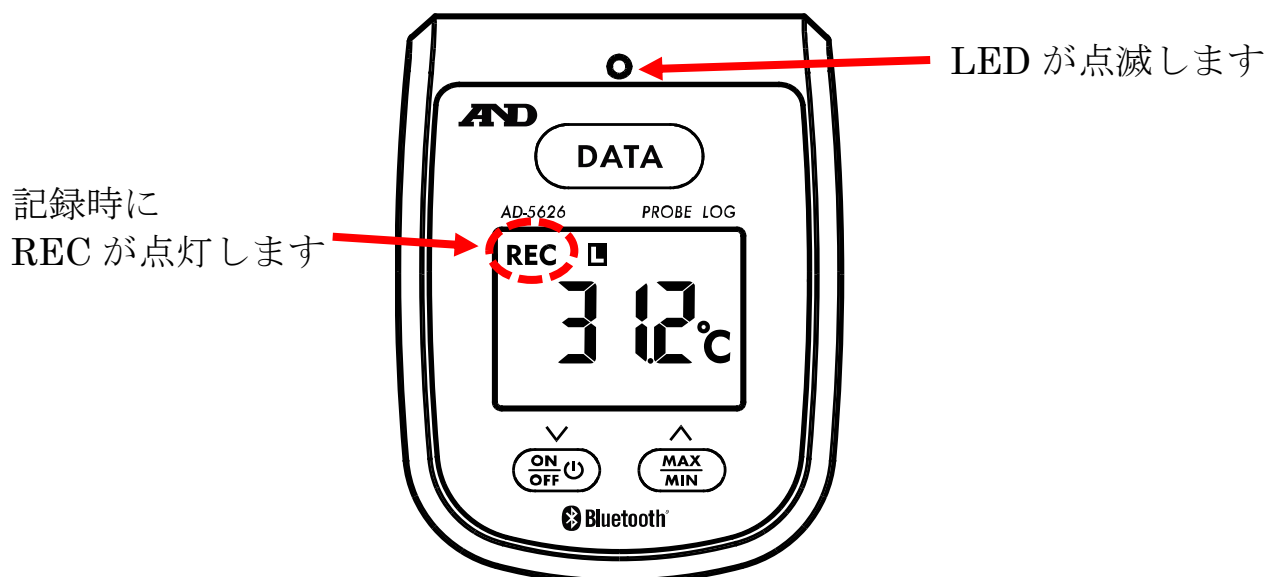
15. 便利な使用方法

AD-5626 の便利な使用方法について説明します。内部設定の詳細については、「[11.内部設定](#)」を参照してください。
ここで紹介している方法は、すべて「[ログモード](#)」の機能を使用しています。

15-1. **DATA** ボタンを押すごとにデータを記録したい内部設定を以下の表のように設定して下さい。

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------------|--------|
| タイマーの設定 | 00:00 |
| インターバル間隔の設定 | 00:00 |
| 高温アラームの温度設定 | ---:°C |
| 低温アラームの温度設定 | ---:°C |

DATA ボタンを押した時の温度を記録できます。データ記録時に液晶表示に「REC」が点灯し、LED ランプが点滅します。

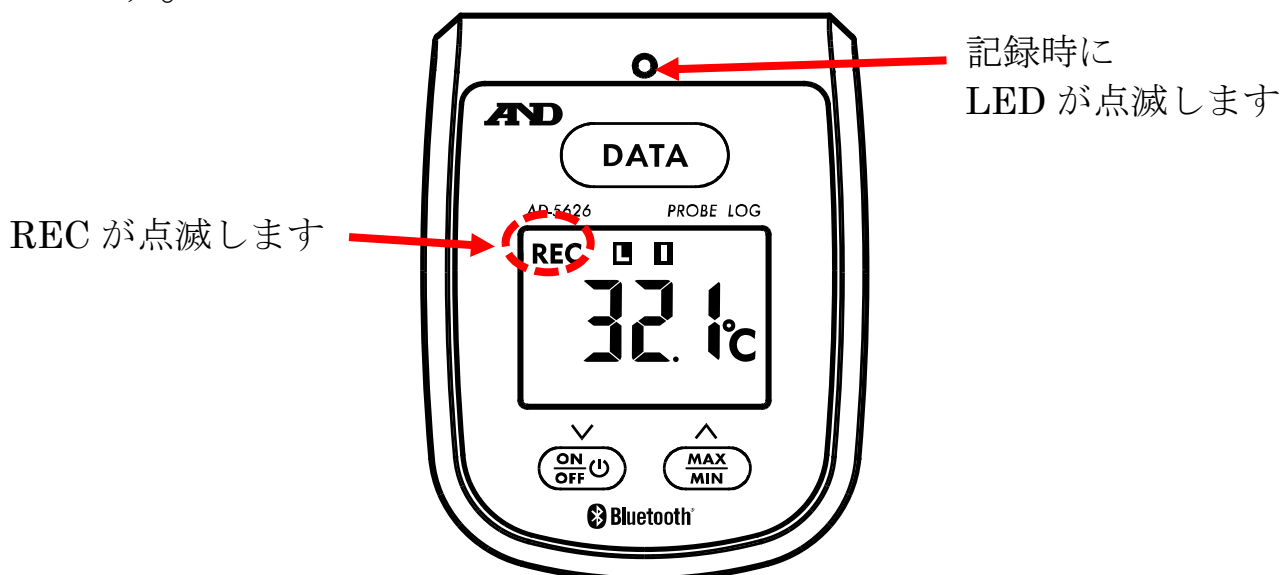


15-2. 一定間隔でデータを記録したい

内部設定を以下の表のように設定して下さい。

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------------|-----------|
| タイマーの設定 | 00:00 |
| インターバル間隔の設定 | 記録したい測定間隔 |
| 高温アラームの温度設定 | ---.°C |
| 低温アラームの温度設定 | ---.°C |

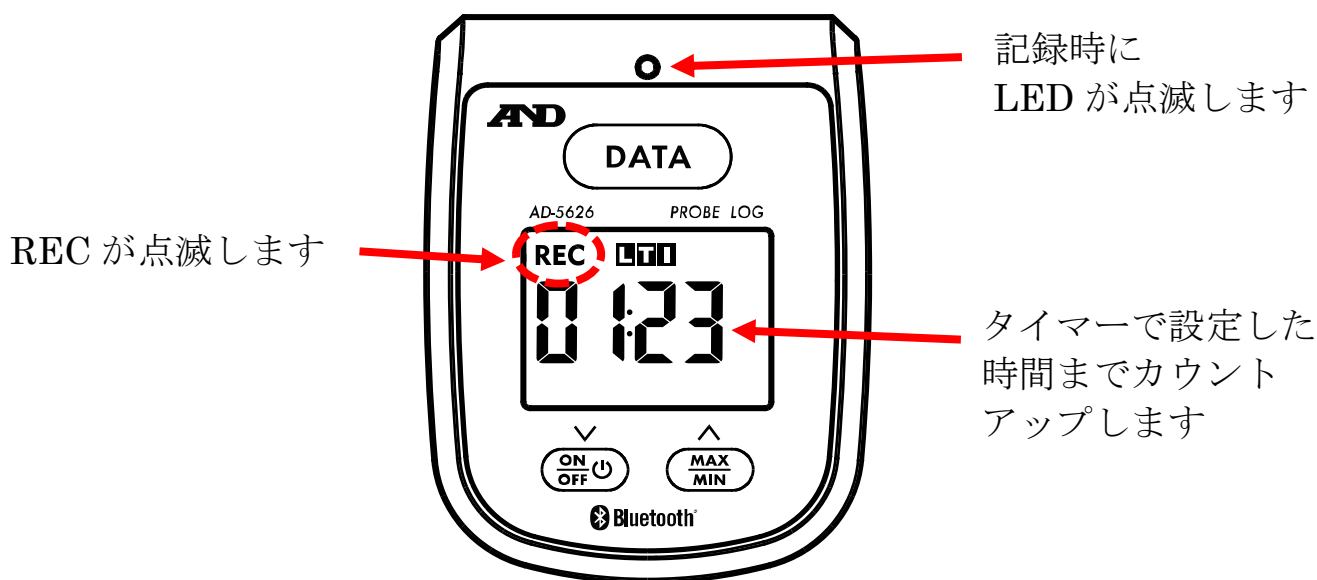
データの記録を開始する時は、**DATA** ボタンを押してください。**REC** マークが点滅して、指定した間隔でデータを記録します。データ記録を停止するには、再度 **DATA** ボタンを押してください。**REC** マークが消灯します。データ記録時に **LED** ランプが点滅します。



15-3. 一定期間、一定間隔でデータを記録したい
内部設定を以下の表のように設定して下さい。

| 設定項目 | 設定内容 |
|-------------|-----------|
| タイマーの設定 | 測定したい時間 |
| インターバル間隔の設定 | 記録したい測定間隔 |
| 高温アラームの温度設定 | ---:--°C |
| 低温アラームの温度設定 | ---:--°C |

データの記録を開始する時は、**DATA** ボタンを押してください。表示がカウントアップに変わり、**REC** マークが点滅して、指定した間隔でデータを記録します。タイマーで設定した時間が経過すると自動で停止し、**REC** マークが消灯します。データ記録時に **LED** ランプが点滅します。



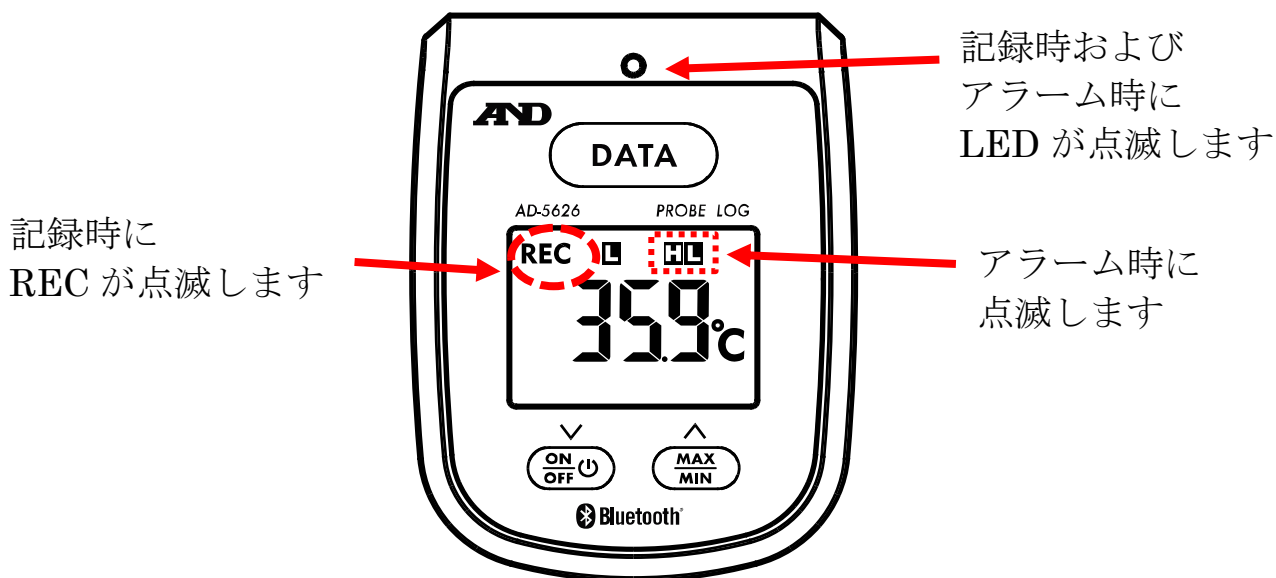
15-4. Hi/Lo アラームを使用したい

内部設定を以下の表のように設定して下さい。

| 設定項目 | 設定内容 |
|--------------|-----------|
| タイマーの設定 | 00:00 |
| インターバル間隔の設定 | 00:00 |
| 高温アラームの温度設定 | アラーム発生の温度 |
| 高温アラーム自動記録設定 | HRnd |
| 低温アラームの温度設定 | アラーム発生の温度 |
| 低温アラーム自動記録設定 | HRnd |

測定した温度がアラームの温度設定値を超えてアラームが発生した時に、アラームマークが点滅します。設定温度を下回りアラームが停止するとアラームマークの点滅が止まり点灯します。アラーム発生時に LED ランプが点滅します。

また **DATA** ボタンを押した時の温度を記録できます。データ記録時に LED ランプが点滅します。



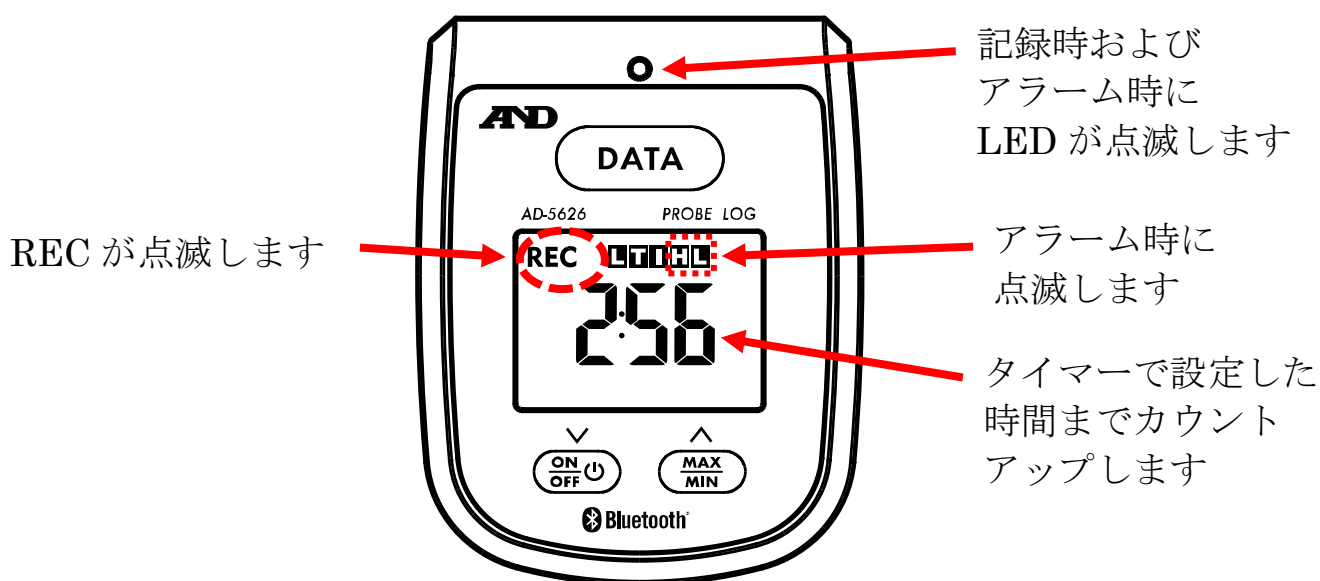
15-5. Hi/Lo アラームを使用して、一定期間、一定間隔でデータを記録したい

内部設定を以下の表のように設定して下さい。

| 設定項目 | 設定内容 |
|--------------|-----------|
| タイマーの設定 | 測定したい時間 |
| インターバル間隔の設定 | 記録したい測定間隔 |
| 高温アラームの温度設定 | アラーム発生の温度 |
| 高温アラーム自動記録設定 | HRnd |
| 低温アラームの温度設定 | アラーム発生の温度 |
| 低温アラーム自動記録設定 | HRnd |

測定した温度がアラームの温度設定値を超えてアラームが発生した時に、アラームマークが点滅します。設定温度を下回りアラームが停止するとアラームマークの点滅が止まり点灯します。アラーム発生時に LED ランプが点滅します。

また、データの記録を開始する時は、**DATA** ボタンを押して下さい。表示がカウントアップに変わり、**REC** マークが点滅して、指定した間隔でデータを記録します。タイマーで設定した時間が経過すると自動で停止し、**REC** マークが消灯します。データ記録時に LED ランプが点滅します。

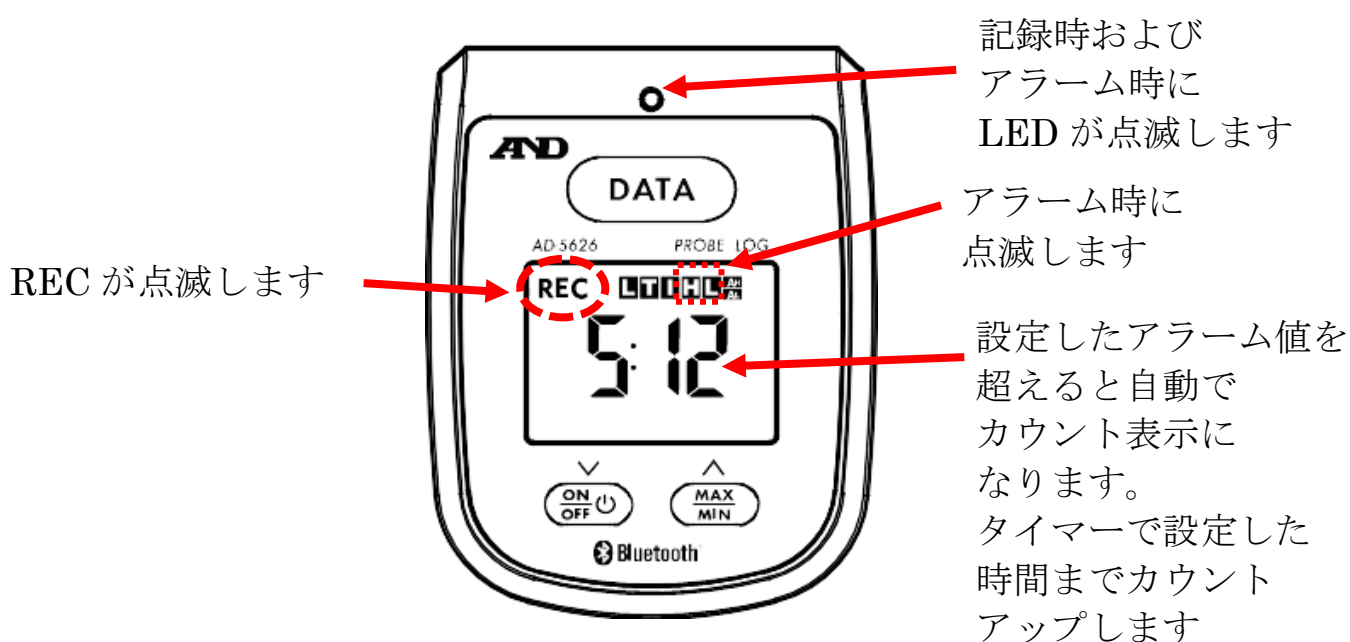


15-6. Hi/Lo アラーム発生時に自動的にデータ記録を開始したい
内部設定を以下の表のように設定して下さい。

| 設定項目 | 設定内容 |
|-----------------|-----------|
| タイマーの設定 | 測定したい時間 |
| インターバル間隔の設定 | 記録したい測定間隔 |
| 高温アラームの温度設定 | アラーム発生の温度 |
| 高温アラーム自動記録設定 | Auto |
| 高温アラーム自動記録の停止条件 | Stop |
| 低温アラームの温度設定 | アラーム発生の温度 |
| 低温アラーム自動記録設定 | Auto |
| 低温アラーム自動記録の停止条件 | Stop |

測定した温度がアラームの温度設定値を超えてアラームが発生した時に、自動で表示がカウントアップに変わり、REC マークが点滅して、指定した間隔でデータ記録を開始します。設定温度を下回りアラームが停止するか、タイマーで設定した時間が経過すると自動で停止し、REC マークが消灯します。データ記録時に LED ランプが点滅します。

再度アラームが発生すると、カウントアップをリセットして 00:00 秒からカウントが始まります。

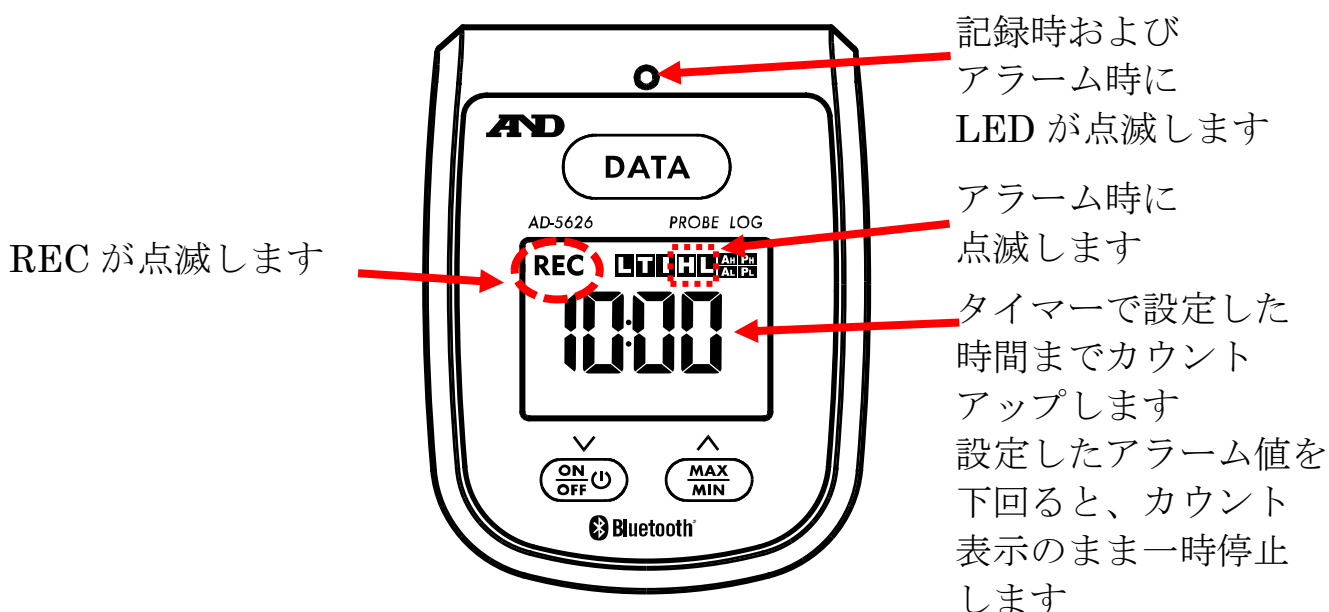


15-7. Hi/Lo アラーム発生時に自動的にデータ記録を開始し、アラーム発生時の積算時間を記録したい

内部設定を以下の表のように設定して下さい。

| 設定項目 | 設定内容 |
|-----------------|------------|
| タイマーの設定 | 測定したい時間 |
| インターバル間隔の設定 | 記録したい測定間隔 |
| 高温アラームの温度設定 | アラーム発生時の温度 |
| 高温アラーム自動記録設定 | Auto |
| 高温アラーム自動記録の停止条件 | PRUS |
| 低温アラームの温度設定 | アラーム発生時の温度 |
| 低温アラーム自動記録設定 | Auto |
| 低温アラーム自動記録の停止条件 | PRUS |

測定した温度がアラームの温度設定値を超えてアラームが発生した時に、自動で表示がカウントアップに変わり、REC マークが点滅して、指定した間隔でデータ記録を開始します。設定温度を下回りアラームが停止すると、データ記録が一時停止し、カウントアップも止まります。再びアラームが発生すると自動でデータ記録を再開します。データ記録を停止するには、**DATA** ボタンを押してください。REC マークが消灯します。データ記録時に LED ランプが点滅します。



16. 本製品のお手入れ

本製品を清掃する際には、濡らした柔らかい布を固く絞り、軽く拭いてください。

清掃の際に、スプレーなどを使用すると故障の原因になります。また、シンナー、ベンジン類似の揮発性溶剤、または研磨剤等は使用しないでください。

17. エラー表示

| 液晶表示 | 内容 |
|---|--|
|  | 測定温度が 260°C を超えています。 速やかに測定を中止してください。 センサーが破損する可能性があります。 |
|  | 測定温度が -40°C を下回っています。 |
|  | 電池が消耗しました。新しい CR2450 コイン型電池に交換してください。 |
|  | センサー故障の可能性があります。 |
|  | センサー故障の可能性があります。 |
|  | 本体内部のメモリーが一杯です。「 14-5-3.データ消去 」の手順を行ってください。 |

18. こんなときには

| | |
|---------------------------|--|
| 何も表示されていない。 | 電池の残量を確認してください。 |
| 表示が薄くなり、見にくい。 | 電池の残量を確認してください。また低温下では、液晶表示が薄くなりますが、故障ではありません。 |
| 正常な動作をしない。 | 何らかの原因で内部回路の動作が停止している可能性があります。電池を外して1分程度経ってから、電池を入れて製品をリセットしてください。また電池残量が少なくなると、正常に動作しない場合もあります。新しい電池と交換してください。 |
| 電池寿命が短い。 | 本製品の電池寿命は、新品の電池使用の場合で周囲温度 25℃、連続使用の場合で、1年と規定しています。周囲温度が極端に低かったり、高かったりする環境下では、電池寿命が極端に短くなる場合があります。 |
| 記録データが正常に記録されていない。 | 強い磁場や電界がある等、使用環境によっては様々な要因により、記録データや測定値等が不安定になることがまれに起こります。 |
| 記録データの年月日や時刻がずれている。 | 本製品は、「 11.内部設定 」での年月日、時刻の設定以外に、専用アプリ「Probe Log」で設定を行った時に使用した端末のタイムゾーン(年月日、時刻)の年月日、時刻に更新します。専用アプリ「Probe Log」のアプリを使用前に端末の年月日、時刻が正しい事を確認してください。 |
| 高温アラームの温度設定値が自動で変わってしまう。 | 低温アラームの温度設定を行った時に、高温アラーム設定温度と低温アラーム設定温度の差が 5℃未満、又は低温アラームの設定温度が高温アラームの設定温度よりも高い場合、低温アラームで設定した温度+5℃された温度が、自動で高温アラームの設定温度となります。 |
| 液晶表示に「FULL」と表示され、操作ができない。 | 本体内部のメモリーが一杯です。「 14-5-3.データ消去 」の手順を行ってください。 |

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>専用アプリ「Probe Log」で本製品が検出できない。</p> | <p>「11-1. データ記録モードの設定」が、「ワイヤレス通信モード」になっているか、確認してください。「ワイヤレス通信モード」では、専用アプリ「Probe Log」で設定を変更することができません。設定を「ログモード」か「記録なしモード」に設定してください。</p> |
| <p>Bluetooth で端末と本製品が接続できない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末に別の Bluetooth 機器が接続されている場合は、その機器の電源をオフしてください。 ・ アプリを終了し、端末の Bluetooth 機能を ON→OFF→ON にしてから、アプリを起動してください。 ・ 端末を再起動してください。 ・ 本体の電池を外して、30 秒程度経ってから電池を入れてください。 ・ 近くに電波を発する機器があり、干渉している恐れがあります。場所を変えてお試しください。 ・ 本製品を複数台使用されている場合は、他の製品の電源を OFF にするか、電波の届かない別の場所に移動してお試しください。 ・ 上記で改善しない場合は、端末メーカーに問い合わせるか、別の端末をお使いください。 ・ 接続された場合でも、途中から通信が途切れたり遅くなったり、動作しなくなる場合があります。このような場合は、上記の事をお試しください。 |

19. 仕様

| | | |
|-----------------|---|--------------------------|
| 項目 | 内容 | |
| 温度測定範囲 | -40.0～260.0℃ | |
| 温度表示範囲 | -40.0～260.0℃ | |
| 表示分解能 | 0.1℃ | |
| 測定精度 | ±1.0℃(-9.9～59.9℃) ±2.0℃(-19.9～-10℃、60～99.9℃) ±3.0℃(-29.9～-20.0℃、100～199.9℃) ±4.0℃(-40.0～-30.0℃、200～260℃) | |
| 表示更新間隔 | 1 秒毎 | |
| センサ | サーミスタ | |
| データログ 機能 | 記録データ | 年月日、時分秒、温度測定値 |
| | データ記録数 | 12,000 データ |
| | 記録間隔 | 1 秒～99 分 59 秒 |
| | 出力形式 | CSV 形式 |
| データ通信モード | ログモード、ワイヤレス通信モード、記録なしモード | |
| 対応 OS | ログモード | iOS11.0 以降、Android6.0 以降 |
| | ワイヤレス通信 | Windows、MAC、iOS、Android |
| Bluetooth バージョン | Bluetooth Low Energy (BLE) 4.2 | |
| 通信距離 | 見通し距離で最大 10m、障害物がある場合や周囲環境により短くなります | |
| カウントアップタイマ | 00:00～99:59(99 分 59 秒) | |
| インターバルタイマ | 00:00～99:59(99 分 59 秒) | |
| タイマ精度 | ±30 秒/月 | |
| 表示更新間隔 | 1 秒毎 | |
| オートパワーオフ機能 | 約 10 分 | |
| 防水レベル | IPX7 相当（水深 1m にて 30 分間耐水、常温の静水） | |
| 電源 | CR2450×1 個 | |
| 電池寿命 | 約 1 年（周囲温度 25℃で連続使用時） | |
| 動作温湿度範囲 | 0～50℃、95%RH 以下(結露しない事) (シース部を除く) | |
| 保存温湿度範囲 | -10～55℃、95%RH 以下(結露しない事) | |

| | |
|--------|--|
| シース部寸法 | Φ3mm／長さ 110mm（先端はΦ2mm／長さ 18mm） |
| 本体寸法 | 92(W)×36(H)×57(L)mm |
| 本体質量 | 約 66g（電池、シースホルダ含む） |
| 標準付属品 | シースホルダ、電池（モニタ用）、取扱説明書 |
| 材質 | ケース／電池フタ／シースホルダ：ABS シース：SUS304 表示窓：アクリル キーシート：PET |
| 別売品 | 電池フタ：AXP-AD5626-1 シースホルダ：AXP-AD5626-2 |